

統合型会計情報システム

FX4 クラウド

TKC 経理業務 効率化セミナーテキスト

セミナー内容

- 第 1 部 FX4 クラウドのインボイス制度対応
- 第 2 部 仕訳連携機能に関する設定の見直し
- 第 3 部 証憑保存機能の 6 月版レベルアップ
- 第 4 部 FX4 クラウドの便利な機能
- 特別編 証憑保存機能とインボイス・マネジャーの新機能

目次

はじめに	1
第1部 FX4クラウドのインボイス制度対応	4
第1章 取引先情報の事業者登録番号一括登録	6
第2章 消費税情報の設定確認	13
第3章 仕訳連携機能に関する設定の見直し	20
第4章 課税区分の見直し	22
第5章 入力仕訳の整合性チェック	24
第2部 仕訳連携機能に関する設定の見直し	32
第1章 見直しが必要な理由	34
第2章 【まとめ】仕訳連携に関する設定の見直し	37
第3章 「仕訳読込テンプレート設計機能」の修正手順	40
第4章 「Excelからの仕訳計上機能」の修正手順	64
第5章 「TKC標準読込レイアウト」の修正手順	69
第3部 証憑保存機能の6月版レベルアップ	72
第1章 証憑保存機能について	73
第2章 レベルアップ内容（2023年06月版）	74
第3章 メニューの改訂	75
第4章 「記録項目」の追加	79
第5章 「仕訳連携」機能の強化	84
第6章 インボイス・マネジャー（FX4クラウド）	91
第4部 FX4クラウドの便利な機能	96
第1章 FX4クラウドの機能一覧	97
第2章 「経営者の経営判断」を支援	98
第3章 「経理担当者の経理業務効率化」を支援	100
第4章 「会社の内部統制構築」を支援	103
(ご案内) TKCシステムまいサポート	105

特別編 証憑保存機能とインボイス・マネジャーの新機能 107

第1章 証憑保存機能の新機能.....	110
第2章 インボイス・マネジャーの新機能.....	125

F X 4クラウドシステム解説書・操作説明書

セミナーでご紹介した機能にかかる「F X 4クラウドシステム解説書(第 39 版)」と

「F X 4クラウド操作説明書(第 39 版)」の抜粋を掲載します。

(注)項目名、章及び項番はそのままとしています。

なお、「F X 4クラウドシステム解説書(第 39 版)」および「F X 4クラウド操作説明書(第 39 版)」は、F X 4クラウドの「ヘルプ」メニューにある「システム解説書」ならびに「操作説明書」をクリックで確認いただけます。

操作説明書

第10章 「会社情報」タブ

4. マスター情報の登録・修正

4. 1 「31 入力制御情報」	136
4. 2 「32 取引先名の登録」	136

システム解説書

第1章 システム解説

20. インボイス制度における仕訳チェック機能

20. 1 機能概要	141
20. 2 事前準備	141
20. 3 仕訳チェック	143

21. 月次決算準備機能

21. 1. 1 事前設定	146
21. 1. 2 月次締切業務サブメニュー	149

操作説明書

第4章 「日常業務」タブ

1. 取引の入力

1. 9 「8 レシート入力方式」	154
-------------------------	-----

システム解説書

第2章 仕訳の入力

2. 他システムとの仕訳連携

2. 1 機能概要.....	160
2. 2 仕訳連携処理の流れ.....	165
2. 3 自動仕訳ファイルの形式	167
2. 4 仕訳読込テンプレートの設計機能.....	170
2. 5 コード変換表機能	173
2. 6 データ作成上の注意.....	179

操作説明書

第5章 「仕訳連携」タブ

4. 事前準備（仕訳読込）

4. 1 「31 業務システムの登録」	181
4. 2 「32 ファイルレイアウト設定」	184
4. 3 「33 読込フォルダの設定」	200
4. 4 「34 業務システム情報の印刷」	201

システム解説書

第2章 仕訳の入力

7. Excel からの仕訳計上

7. 1 機能概要.....	202
7. 2 事前準備.....	203
7. 3 仕訳計上.....	207
7. 4 仕訳の洗い替え計上.....	208
7. 5 計上仕訳の確認.....	210
7. 6 利用上のご注意.....	210

巻末資料

2. 自動仕訳データレイアウト<レイアウト1：単純仕訳形式>	211
3. 自動仕訳データレイアウト<レイアウト2：複合仕訳形式>	221

第2章 仕訳の入力

5. 証憑保存機能

5. 1 機能概要.....	230
5. 2 利用の流れ.....	231
5. 3 その他の機能	256

はじめに

セミナー資料

TKC 経理業務 効率化セミナー (2023夏)

©TKC 2023

はじめに

FX4クラウドは、インボイス制度に完全対応

FX4クラウドは、

令和5年6月のレベルアップで**インボイス対応を完了**しました。

10月から大きく変わる請求業務・会計業務に万全の備えを

仕入先が適格請求書発行事業者かどうかを取引先名や住所から判断。
既存の取引先に事業者登録番号を1件1件手入力する必要はありません。

すべての課税仕入れを自動でチェック。経過措置の適用となる仕訳や、
誤って経過措置を適用した仕訳を見つけ、修正が必要な仕訳を一覧表示。

©TKC 2023

1

FX4クラウドは、インボイス制度に完全対応

FX4クラウドは、
令和5年6月のレベルアップで**インボイス対応を完了**しました。

この1冊ですべてわかる / TKCシステムのインボイス制度対応パンフレット(PDF) [無料]

今すぐ始める! ペーパーレス・インボイス対応 ~システム操作を動画等で解説~ [無料]

企業グループ
あなたのID インボイス制度・電帳法対応済

TKCからのお知らせ

【銀行]→受信] 東日本電信網、北海道電信網のデータ受信等を6月12日午後3時30分から午後5時30分まで一時休止します。
2023/06/08 09:50 | 詳細

令和5年6月12日(月)午後3時30分から午後5時30分まで東日本電信網(個人)、北海道電信網(個人)のデータ受信及び口座登録を一時休止します。なお、サービス再開後は、正常にデータ受信及び口座登録を行えます。詳しくは、[詳細]をクリックしてください。

【銀行]→受信] GMOあおぞらネット銀行(法人・個人)のデータ受信及び口座登録を再開しました。
2023/06/07 13:00 | 詳細

令和5年6月5日付け「TKCからのお知らせ」でご案内のとおり、GMOあおぞらネット銀行(法人・個人)のデータ受信及び口座登録を一時休止していました。本日(6月7日)午前9時頃、両行のデータ受信及び口座登録を再開しました。

セミナー情報 過去のオンデマンドセミナーご視聴は [こちら](#)

配信開始 TKC経理業務効率化セミナー2023夏

インボイス制度開始に向けた準備を3ステップでご説明
FX4クラウドのインボイス制度対応 詳細は動画で [ここをクリック](#)

パスワード変更 ログアウト

Copyright © 2011 TKC Corporation

インボイス制度・電帳法対応済
と表示されていればOK♪



TKC経理業務 効率化セミナー (2023夏)

■目次

- 第1部 FX4クラウドのインボイス制度対応
- 第2部 仕訳連携機能に関する設定の見直し
- 第3部 証憑保存機能の6月版レベルアップ
- 第4部 FX4クラウドの便利な機能

第1部

F X 4クラウドのインボイス制度対応

セミナー資料

第1部

FX4クラウドのインボイス制度対応

■内容

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録
2. 消費税情報の設定確認
3. 仕訳連携機能に関する設定の見直し
4. 課税区分の見直し
5. 入力仕訳の整合性チェック
(ご案内) レシート入力方式

第1部でお伝えしたいこと

FX4クラウドは、
令和5年6月のレベルアップでインボイス制度に完全対応しました。

第1部では、インボイス制度開始までの準備を**3つのステップ**でご説明します。

令和5年10月1日
インボイス制度
開始前

01 取引先情報の事業者登録番号一括登録

02 消費税情報の設定確認

03 仕訳連携機能に関する設定の見直し

第1部でお伝えしたいこと

また、インボイス制度開始後に実施いただきたい「課税区分の見直し」や「入力仕訳のチェック」についてもご説明します。

令和5年10月1日
インボイス制度
開始後

課税区分の見直し

入力仕訳の整合性チェック

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

ステップ1

取引先マスターに「事業者登録番号」を登録

令和5年10月1日
インボイス制度
開始前

01 取引先情報の事業者登録番号一括登録

02 消費税情報の設定確認

03 仕訳連携機能に関する設定の見直し

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

インボイス制度が開始となる令和5年10月以降、消費税の「仕入税額控除」を受けるためには、一定の事項を記載した帳簿と**適格請求書発行事業者が発行したインボイス（適格請求書）の保存が必要**です。

仕入税額控除

インボイス制度導入後、買手側は、原則としてインボイスまたは簡易インボイスの保存が仕入税額控除の要件となります。

インボイス（適格請求書）を発行するには、**適格請求書発行事業者**となる必要があります。



仕入税額控除を受けるには**インボイス（適格請求書）の保存が必要**。

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

インボイス制度開始から6年間は、**免税事業者等からの課税仕入れであっても、一定割合の仕入税額控除が受けられる経過措置**が設けられています。

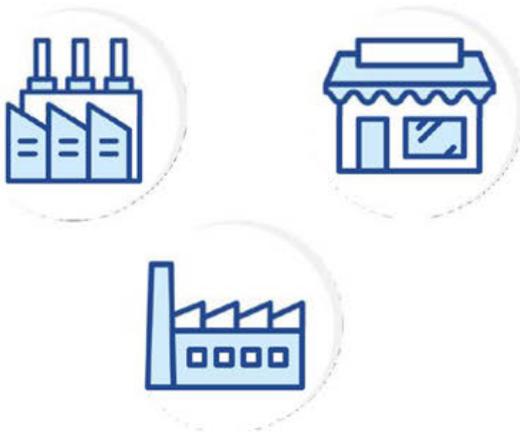
仕入税額控除の経過措置



※この経過措置による仕入税額控除の適用に当たっては、免税事業者等から受領する区分記載請求書等と同様の事項が記載された請求書等の保存と、この経過措置の適用を受ける旨（80%控除・50%控除の特例を受ける課税仕入れである旨）を記載した帳簿の保存が必要です。

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

そのため、仕訳入力時に取引先が適格請求書発行事業者かどうか確認する必要があります。



適格請求書発行事業者？
免税事業者？



1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

適格請求書発行事業者かどうか確認するには、
国税庁「適格請求書発行事業者公表サイト」に事業者登録番号13桁を入力
する必要がありますが、FX4クラウドなら取引先名で確認ができます。



国税庁



事業者登録番号の確認、
13桁の入力は大変・・・



1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

F X 4クラウドは、仕訳入力時、月次決算時、年次決算時など複数回にわたって**取引先が適格請求書発行事業者かどうかをチェック**します。



- 取引先登録時
- 仕訳入力時
- 月次決算時
- 年次決算時



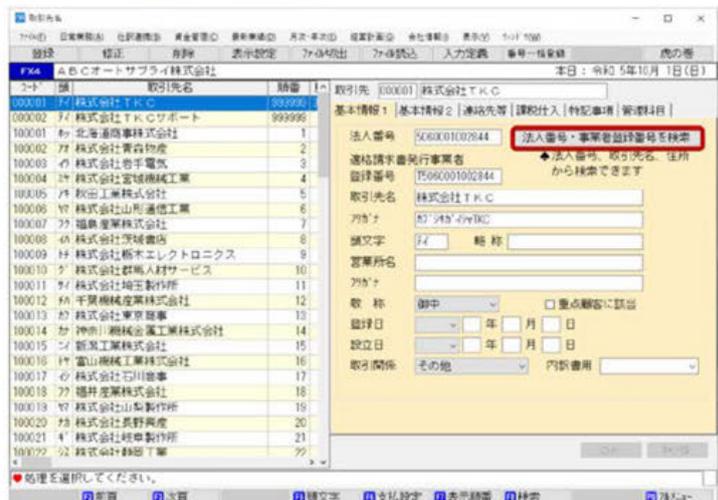
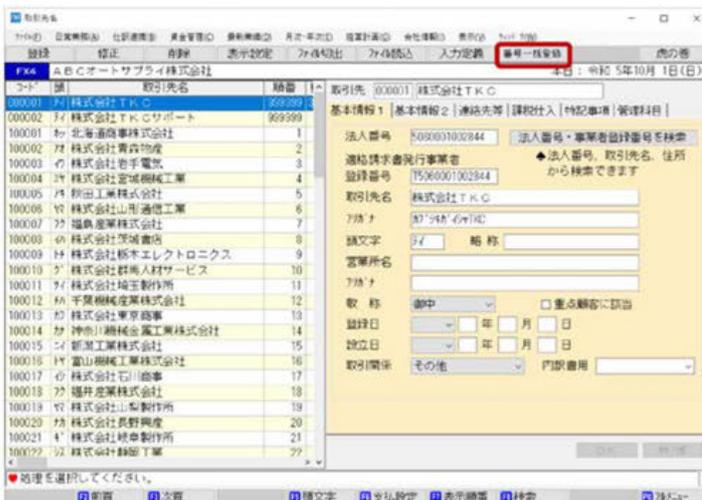
Check 適格請求書発行事業者のチェック機能

- 適格請求書発行事業者の情報（事業者登録番号・発行日・失効日）
- 「免税事業者等からの課税仕入れ」について、取引先が適格請求書発行事業者ではないか？
- 「適格請求書発行事業者からの課税仕入れ等」について、事業者登録番号が有効か？

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

取引先マスターに事業者登録番号を登録する方法は、次の2パターンです。

- (1) 取引先マスターに「事業者登録番号」を一括登録
- (2) 取引先マスターに「事業者登録番号」を1件ずつ登録



※取引先情報に法人番号が登録されている取引先は、適格請求書発行事業者の登録番号を直接入力できません。法人番号から適格請求書発行事業者の登録番号を自動更新します。

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

(1) 取引先マスターに「事業者登録番号」を一括登録



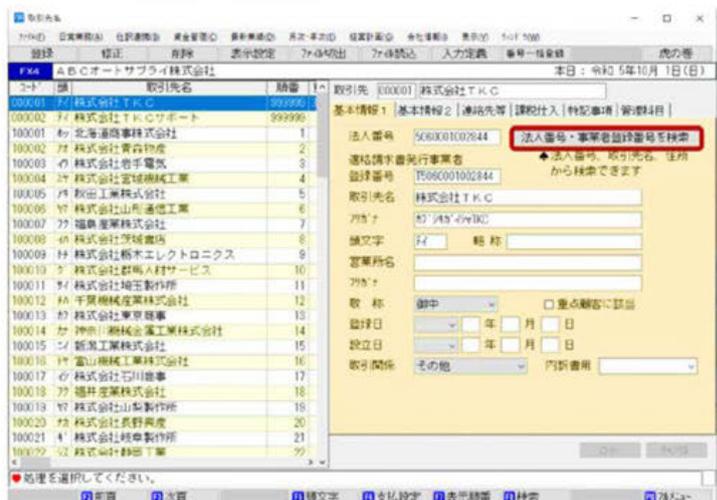
デモンストレーション

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

取引先マスターに事業者登録番号を登録する方法は、次の2パターンです。

(1) 取引先マスターに「事業者登録番号」を一括登録

(2) 取引先マスターに「事業者登録番号」を1件ずつ登録



※取引先情報に法人番号が登録されている取引先は、適格請求書発行事業者の登録番号を直接入力できません。
法人番号から適格請求書発行事業者の登録番号を自動更新します。

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

(2) 取引先マスターに「事業者登録番号」を1件ずつ登録



デモンストレーション

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

【補足】

取引先マスターに取引先を登録せず、仕訳に取引先名を「随時入力」する場合

次のような理由から、FX4クラウドに取引先を登録していない場合でも**事業者登録番号を入力することで、適格請求書発行事業者かどうかを確認**することができます。

- ・販売管理システム等で取引先を管理しているため
- ・単発の取引が多いため、取引先を登録していない

仕訳番号	仕訳科目	仕訳内容	金額	単位
5211	商品仕入	2112 買掛金	1,000,000	円
計			1,000,000	
借			1,000,000	
貸			1,000,000	

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

【補足】

取引先マスターに取引先を登録せず、仕訳に取引先名を「随時入力」する場合

- ①課税区分[5]等の取引で取引先名を直接入力した場合、事業者登録番号の入力画面が表示されます。
- ②受領したインボイスに記載された事業者登録番号を入力してください。
- ③国税庁の公表サイトを検索し、適格請求書発行事業者かチェックします。
- ④氏名または名称が受領したインボイスの記載と異なる場合は、Web検索を利用して取引先が正しいことを確認することができます。

The screenshot illustrates the workflow for entering a supplier's registration number. It starts with an invoice entry screen where a supplier name is entered. A dialog box prompts the user to input the registration number. A second dialog box shows the search results from the tax authority's website, confirming the supplier's details.

1. 取引先情報の事業者登録番号一括登録

【補足】

取引先マスターに取引先を登録せず、仕訳に取引先名を「随時入力」する場合



デモンストレーション

2. 消費税情報の設定確認

ステップ2

インボイス制度の経過措置に対応するため、必要に応じて次の設定を確認

- ・インボイス保存免除科目
- ・基準期間課税売上高が1億円以下等
- ・売上に係る消費税額等の端数処理

令和5年10月1日
インボイス制度
開始前

01 取引先情報の事業者登録番号一括登録

02 消費税情報の設定確認

03 仕訳連携機能に関する設定の見直し

2. 消費税情報の設定確認

インボイス制度開始から6年間は、経過措置に配慮する必要があります。

経過措置	令和5年10月1日～令和8年9月30日	令和8年10月1日～令和11年9月30日	令和11年10月1日～
免税事業者等からの課税仕入れ	80%控除	50%控除	0%控除
小規模事業者に対する納税額に係る軽減措置	売上税額の2割に軽減	-	-
中小企業者に対する事務負担の軽減措置	1万円未満の課税仕入れはインボイス不要		-
返還インボイス交付義務免除	売上に係る対価の返還等が税込1万円未満は返還インボイス不要		

2. 消費税情報の設定確認

(1) 「インボイス保存免除科目」の設定

免税事業者等からの課税仕入れであっても、仕入税額相当額の一定割合を仕入税額とみなして控除できる経過措置が設けられています。

経過措置	令和5年10月1日～令和8年9月30日	令和8年10月1日～令和11年9月30日	令和11年10月1日～
免税事業者等からの課税仕入れ	80%控除	50%控除	0%控除
小規模事業者に対する納税額に係る軽減措置	売上税額の2割に軽減	-	-
中小企業者に対する事務負担の軽減措置	1万円未満の課税仕入れはインボイス不要		-
返還インボイス交付義務免除	売上に係る対価の返還等が税込1万円未満は返還インボイス不要		

2. 消費税情報の設定確認

(1) 「インボイス保存免除科目」の設定

この経過措置に対応するため、次の6つの課税区分を追加しました。

課税区分	課税取引の内容
[52]	免税事業者等からの課税仕入れ（課税売上げ）
[53]	同課税仕入れ（免税事業者等）に係る対価の返還
[62]	免税事業者等からの課税仕入れ（非課税売上げ）
[63]	同課税仕入れ（免税事業者等）に係る対価の返還
[72]	免税事業者等からの課税仕入れ（売上げ共通）
[73]	同課税仕入れ（免税事業者等）に係る対価の返還

2. 消費税情報の設定確認

(1) 「インボイス保存免除科目」の設定

仕訳に課税区分[52]等が入力された場合、「実際の仕入年月日」をもとに控除割合を自動判定し、仮払消費税額等を自動計算します。

入力期間	税額控除割合	消費税額等の計算（消費税10%の場合）
令和5年10月1日から 令和8年9月30日まで	80%	取引金額（税込み） $\times \frac{10}{110} \times 80\%$
令和8年10月1日から 令和11年9月30日まで	50%	取引金額（税込み） $\times \frac{10}{110} \times 50\%$
令和11年10月1日以降	0%	取引金額（税込み） $\times \frac{10}{110} \times 0\%$

2. 消費税情報の設定確認

(1) 「インボイス保存免除科目」の設定

不特定多数の者や一般消費者との取引の場合は、**一定事項を記載した帳簿のみの保存で仕入税額控除が認められる**ケースがあります。

国税庁「インボイス制度に関するQ & A」問92

適格請求書等保存方式の下では、帳簿及び請求書等の保存が仕入税額控除の要件とされます。（新消法30⑦）

ただし、請求書等の交付を受けることが困難であるなどの理由により、次の取引については、**一定の事項を記載した帳簿のみの保存で仕入税額控除が認められます**（新消法49①、新消規15の4）。

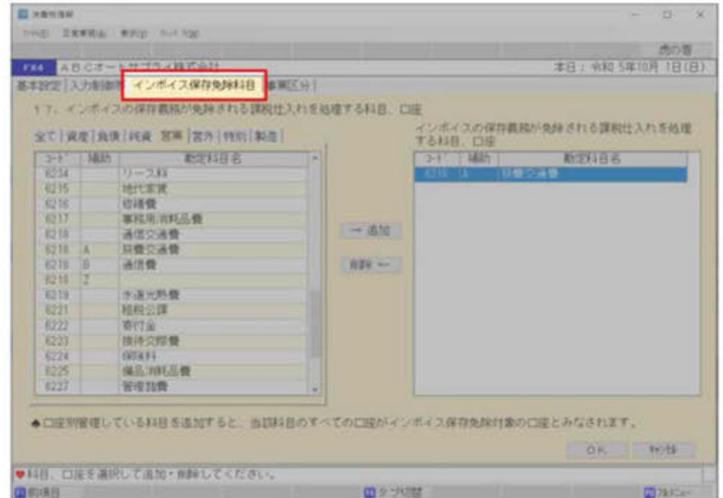
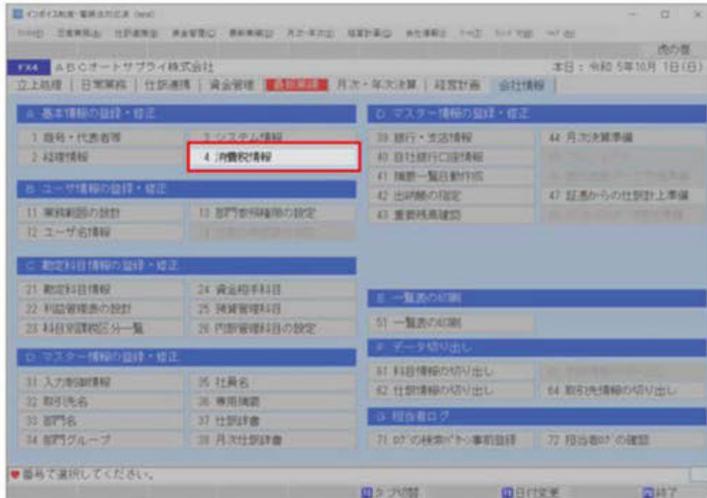
- ① 適格請求書の交付義務が免除される3万円未満の公共交通機関による旅客の運送
- ② 適格簡易請求書の記載事項（取引年月日を除きます）が記載されている入場券等が使用の際に回収される取引（①に該当するものを除きます。）
- ③ 古物営業を営む者の適格請求書発行事業者でない者からの古物（古物営業を営む者の棚卸資産に該当するものに限り）の購入
- ④ 質屋を営む者の適格請求書発行事業者でない者からの質物（質屋を営む者の棚卸資産に該当するものに限り）の購入
- ⑤ 宅地建物取引業を営む者の適格請求書発行事業者でない者からの建物（宅地建物取引業を営む者の棚卸資産に限り）の購入
- ⑥ 適格請求書発行事業者でない者からの再生資源及び再生部品（購入者の棚卸資産に該当するものに限り）の購入
- ⑦ 適格請求書の交付義務が免除される3万円未満の自動販売機及び自動サービス機からの商品の購入
- ⑧ 適格請求書の交付義務が免除される郵便切手額のみを対価とする郵便・貨物サービス（郵便ポストに差し出されたものに限り）
- ⑨ 従業員等に支給する通常必要と認められる出張旅費等（出張旅費、宿泊費、日当及び通勤手当）

2. 消費税情報の設定確認

(1) 「インボイス保存免除科目」の設定

インボイス保存免除科目として設定した勘定科目と口座の取引では、**適格請求書発行事業者のチェックを行いません。**

また、当設定を行った勘定科目の課税仕入れ取引時に、課税区分[52]等を入力すると確認メッセージを表示します。



2. 消費税情報の設定確認

(1) 「インボイス保存免除科目」の設定

【設定例】

適格請求書の交付義務が免除される3万円未満の公共交通機関による旅客の運送
例) 営業担当者の旅費、交通費

6 2 1 8 通信交通費 A 1 ○○○○
6 1 1 2 販売員旅費 B 2 △△△△



2. 消費税情報の設定確認

(1) 「インボイス保存免除科目」の設定



2. 消費税情報の設定確認

(2) 「基準期間課税売上高が1億円以下等」の設定

基準期間の課税売上高が1億円以下の事業者は、1万円未満の課税仕入れについて、インボイスの保存が無くても一定事項が記載された帳簿のみで仕入税額控除を受けられます。

経過措置	令和5年10月1日～令和8年9月30日	令和8年10月1日～令和11年9月30日	令和11年10月1日～
免税事業者等からの課税仕入れ	30%控除	50%控除	0%控除
小規模事業者に対する納税額に係る軽減措置	売上税額の2割に軽減	—	—
中小企業者に対する事務負担の軽減措置	1万円未満の課税仕入れはインボイス不要		—
返還インボイス交付義務免除	売上に係る対価の返還等が税込1万円未満は返還インボイス不要		

2. 消費税情報の設定確認

(2) 「基準期間課税売上高が1億円以下等」の設定

基準期間の課税売上高が1億円以下の事業者は、1万円未満の課税仕入れについて、インボイスの保存が無くても一定事項が記載された帳簿のみで仕入税額控除を受けられます。

免税事業者等からの1万円未満の仕入れについても全額仕入税額控除の対象※



貴社
(基準期間の売上高が1億円以下等)

取引先
(免税事業者)



課税区分	借方	貸方	取引先
52 (免税事業者等からの課税仕入れ)	接待交際費 8,800円	現金 8,800円	取引先



課税区分	借方	貸方	取引先
5 課税売上にかかる課税仕入れ	接待交際費 8,800円	現金 8,800円	取引先

※令和5年10月1日～令和11年9月30日

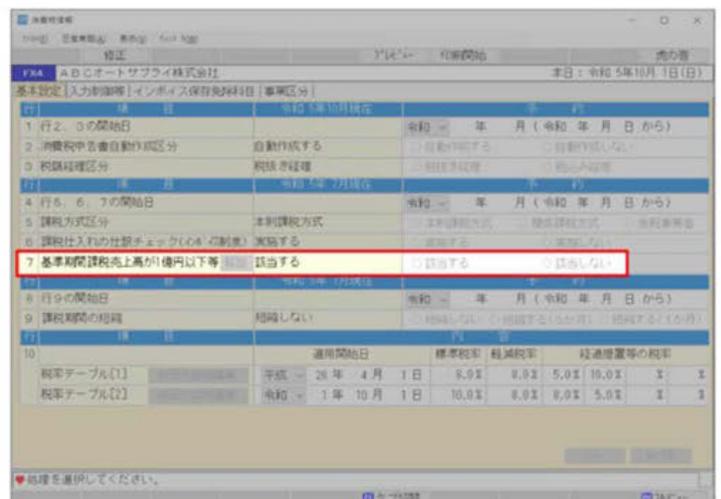
©TKC 2023

26

2. 消費税情報の設定確認

(2) 「基準期間課税売上高が1億円以下等」の設定

基準期間の課税売上高が1億円以下に該当「する・しない」を設定します。6月版レベルアップ後、初めての月次更新時に表示される設定画面から「該当する」「該当しない」を設定してください。



©TKC 2023

27

2. 消費税情報の設定確認

(2) 「基準期間課税売上高が1億円以下等」の設定

【「該当する」とした場合】

- 1万円未満の通常の課税仕入れ（課税区分[5]等）の場合は、適格請求書発行事業者の登録番号の入力は不要で、当該番号の有効性チェック等は行われません。
- 1万円未満にもかかわらず免税事業者等からの課税仕入れ（課税区分[52]等）を選択した場合は、警告メッセージが表示されます。



2. 消費税情報の設定確認

(3) 「売上に係る消費税額等の端数処理」の設定

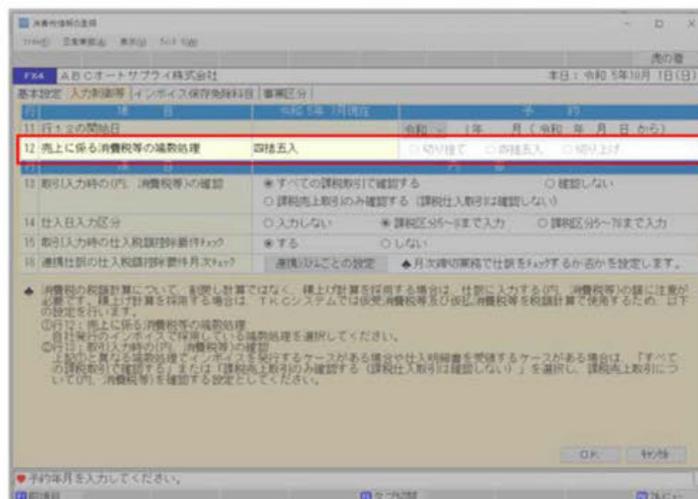
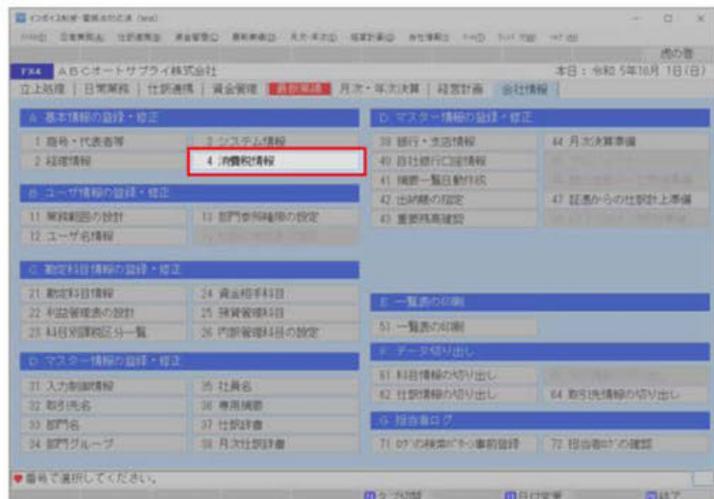
売上税額で積上げ計算を採用する場合、売上インボイスに記載した消費税額等と同額を仕訳に入力する必要があります。

売上税額	仕入税額
請求書等積上げ計算 (一部、割戻し計算を選択可)	請求書等積み上げ計算
	帳簿積上げ計算
割戻し計算	

2. 消費税情報の設定確認

(3) 「売上に係る消費税額等の端数処理」の設定

そのため、**売上インボイスの消費税額等とFX4クラウドで自動計算される消費税額等が異なる場合は、「売上に係る消費税額等の端数処理」の設定を確認および修正してください。**



3. 仕訳連携機能に関する設定の見直し

ステップ3

仕訳連携機能に関する設定の見直しが必要か確認
見直しが必要な場合は、第2部をご視聴ください。

令和5年10月1日
インボイス制度
開始前

01 取引先情報の事業者登録番号一括登録

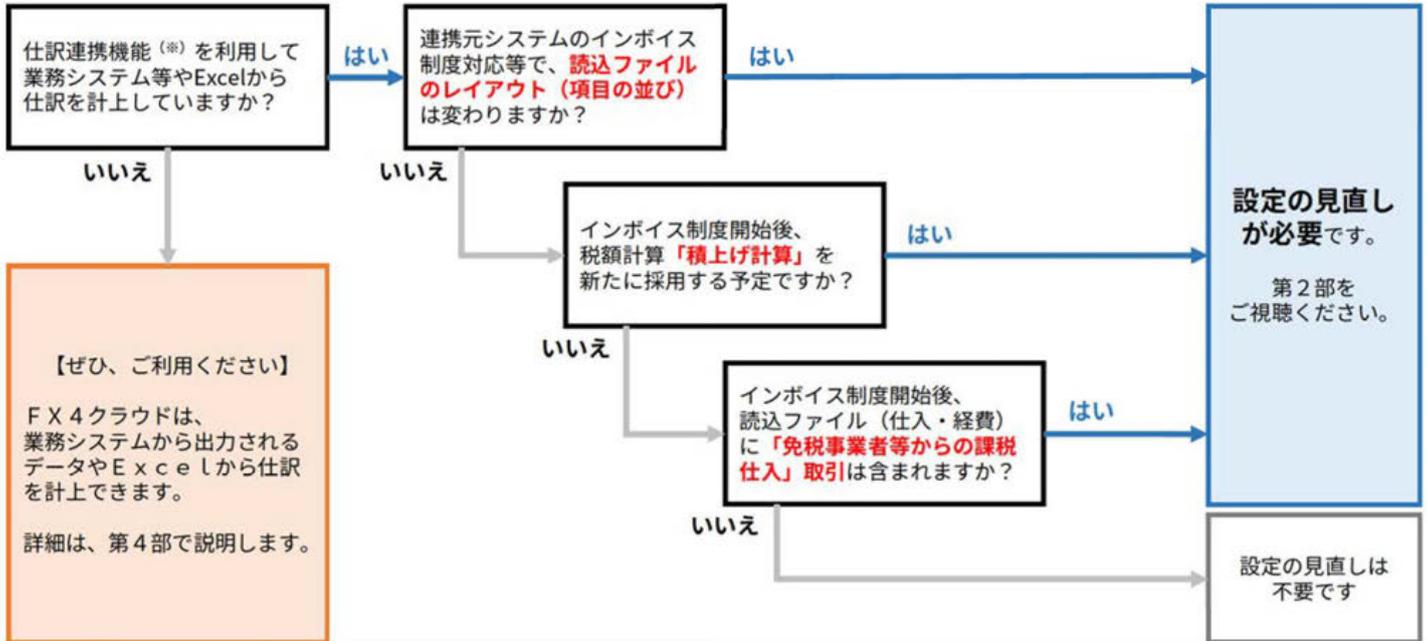
02 消費税情報の設定確認

03 仕訳連携機能に関する設定の見直し

3. 仕訳連携機能に関する設定の見直し

ステップ3

仕訳連携機能に関する設定の見直しが必要か確認



※仕訳読込テンプレート設計機能、Excelからの仕訳計上機能

©TKC 2023

32

01 取引先情報の事業者登録番号一括登録

02 消費税情報の設定確認

03 仕訳連携機能に関する設定の見直し

4. 課税区分の見直し

インボイス制度開始後に実施

次の機能に登録されている課税区分を確認

- ・ 仕訳辞書
- ・ 銀行信販データ受信機能
- ・ 支払管理機能

令和5年10月1日
インボイス制度
開始後

課税区分の見直し

入力仕訳の整合性チェック

4. 課税区分の見直し

仕訳辞書・銀行信販データ受信機能・支払管理機能をご利用の場合、それぞれに**登録している課税区分の見直しが必要**です。

免税事業者等からの課税仕入れに該当する取引は、課税区分[52]等に修正してください。

また、振込手数料に該当する取引は、課税区分[11]がおすすめです。

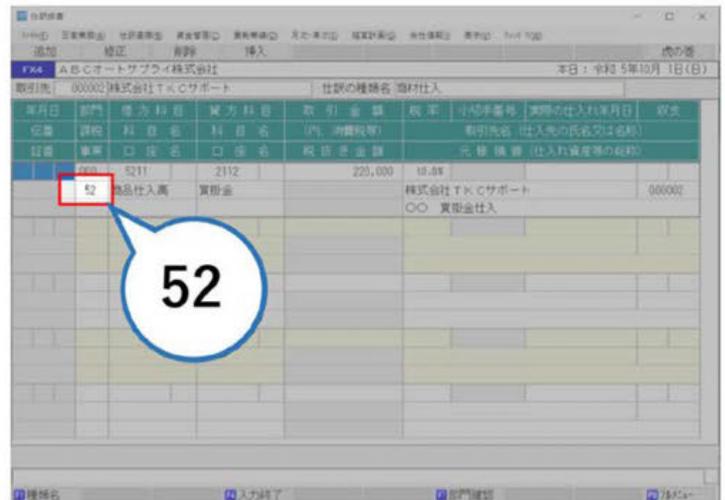
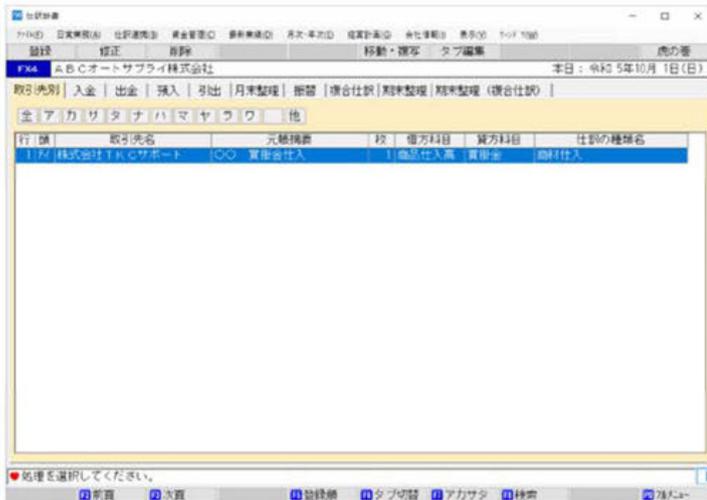
課税区分	課税取引の内容
[52]	免税事業者等からの課税仕入れ（課税売上げ）
[53]	同課税仕入れ（免税事業者等）に係る対価の返還
[62]	免税事業者等からの課税仕入れ（非課税売上げ）
[63]	同課税仕入れ（免税事業者等）に係る対価の返還
[72]	免税事業者等からの課税仕入れ（売上げ共通）
[73]	同課税仕入れ（免税事業者等）に係る対価の返還



4. 課税区分の見直し

(1) 仕訳辞書

免税事業者等に該当する取引先の仕訳辞書を登録している場合、**課税区分[5]等から[52]等に変更**する必要があるかご確認ください。



4. 課税区分の見直し

(2) 銀行信販データ受信機能

銀行信販データ受信機能も消費税が発生する取引の仕訳ルールを見直す必要があります。

免税事業者等からの課税仕入れだけでなく、**課税区分[5]等で登録している振込手数料の取引**もご確認ください。



振込手数料が差し引かれて入金される取引は、**課税区分[11]（課税売上に係る対価の返還）**の選択をおすすめ^(※)します。

※

[0] 普通預金1113 / 1122売掛金
[5] 雑費 6231 /

これまでこのような仕訳を計上しているケースもあると思います。

「売上げに係る対価の返還等」について、税込1万円未満であれば交付義務が免除されます。

この仕訳では、課税仕入れということになるため、インボイスが必要となります。

そのため、表示科目については雑費であったとしても課税区分は[11]を選択することをおすすめします。

4. 課税区分の見直し

(3) 支払管理機能

定期支払の登録など、登録されている仕訳パターンに免税事業者等との取引がある場合は、課税区分の見直しが必要です。



定期支払の登録

取引先: ABCオートサプライ株式会社

令和5年7月以降の定期支払を表示

コード	支払先	摘要	1回の支払額	支払期間 開始月/終了月	支払日	収支区分	内訳区分	支払方法
	TKCサービス	現金支払 ホームページ	44,000	5/4/6/3	末日	経常支出	半払費用	現金振込

定期支払の修正

支払先: TKCサービス

振替 現金支払 ホームページ運用費

1回の支払額: 44,000 (税込み)

支払期間: 令和5年4月 ~ 令和6年3月

支払日: 末日 支払サイクル: 1 か月

課税区分: **5 課税仕入(課税)**

税率: 日付判定(標準税率)

行	支払年月日	支払金額
1	令和5年7月31日(月)	44,000
2	令和5年8月31日(木)	44,000
3	令和5年9月30日(土)	44,000
4	令和5年10月31日(火)	44,000
5	令和5年11月30日(木)	44,000
6	令和5年12月31日(日)	44,000
7	令和6年1月31日(水)	44,000
8	令和6年2月29日(木)	44,000
9	令和6年3月31日(日)	44,000

52

5. 入力仕訳の整合性チェック

インボイス制度開始後に実施
入力された仕訳（課税仕入れ）の課税区分が正しいか自社でチェック

令和5年10月1日
インボイス制度
開始後

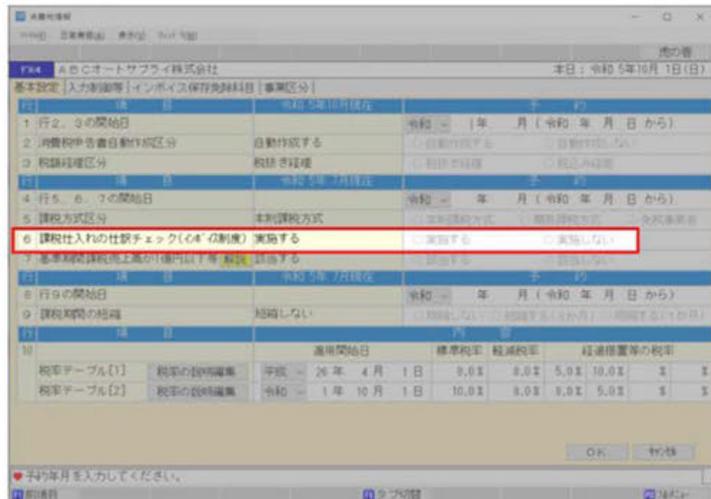
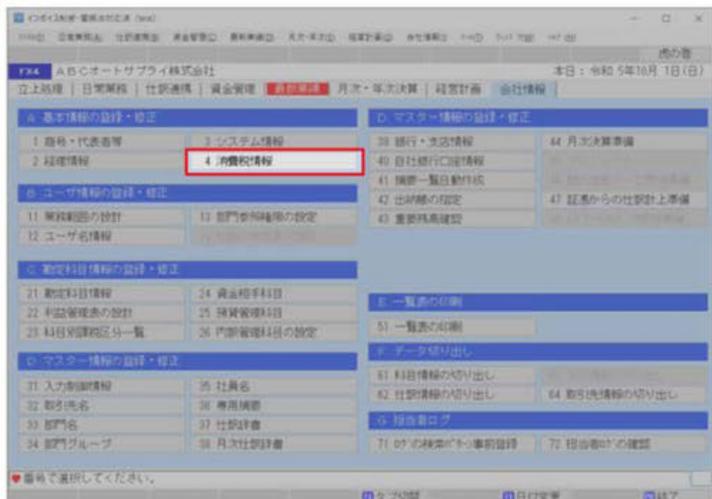
課税区分の見直し

入力仕訳の整合性チェック

5. 入力仕訳の整合性チェック

(1) 課税仕入れの仕訳チェック (インボイス制度)

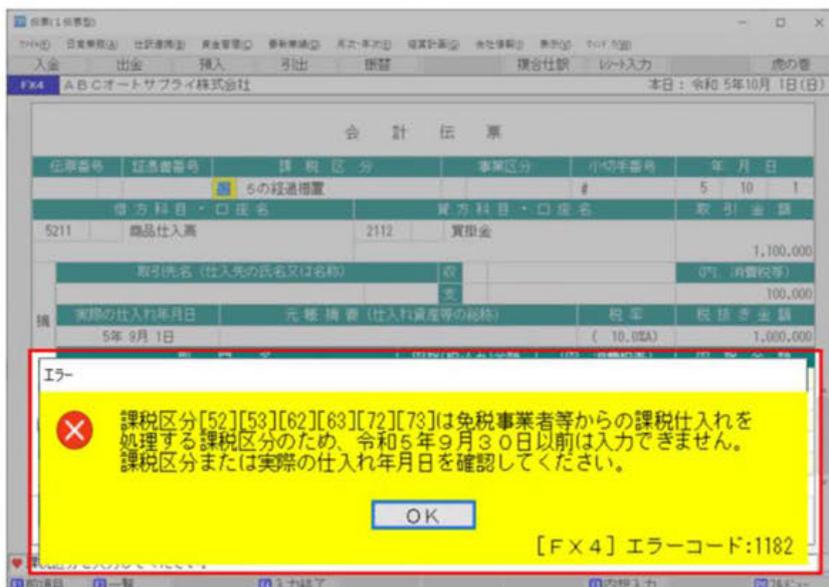
仕訳に入力された事業者登録番号や課税区分等の条件によって、**修正が必要な場合は、その旨を仕訳入力画面に表示**させます。



5. 入力仕訳の整合性チェック

(1) 課税仕入れの仕訳チェック (インボイス制度)

- ① 「課税区分[52]等 (免税事業者等からの課税仕入れを処理)」
「実際の仕入れ年月日または取引年月日が令和5年9月30日以前の年月日」



5. 入力仕訳の整合性チェック

(1) 課税仕入れの仕訳チェック (インボイス制度)

- ② 「課税区分[52]等 (免税事業者等からの課税仕入れを処理)」
「事業者登録番号が登録されている取引先コードを選択」

The screenshot shows the '会計伝票' (Accounting Voucher) screen for 'ABCオートサプライ株式会社'. The voucher details include:

伝票番号	証券番号	課税区分	事業区分	小切手番号	年月日
	52	5の経過措置			5/10/1
借方科目・口座名		貸方科目・口座名		取引金額	
5211	商品仕入高	2112	買掛金		1,100,000
取引先名 (仕入先の氏名又は名称)		収	内:消費税等		
株式会社TKC		00001	支	100,000	
実際の仕入れ年月日		元帳構築 (仕入れ確定等の処理)		税率	税抜き金額
5年10月1日				(10.0%)	1,020,000

A confirmation dialog box is displayed with the following text:

課税区分[52][62][72] (免税事業者等からの課税仕入れ) が入力されていますが、当取引先には事業者登録番号が登録されています。適格請求書発行事業者からの課税仕入れの場合は、課税区分[5][6][7]を入力してください。
課税区分を修正しますか？

Buttons: はい(Y) いいえ(N) [FX4]

5. 入力仕訳の整合性チェック

(1) 課税仕入れの仕訳チェック (インボイス制度)

- ③ 「課税区分[5]等 (課税売上げに係る課税仕入れを処理)」
「事業者登録番号が登録されていない取引先コードを選択」

The screenshot shows the '会計伝票' (Accounting Voucher) screen for 'ABCオートサプライ株式会社'. The voucher details include:

伝票番号	証券番号	課税区分	事業区分	小切手番号	年月日
	5	課税仕入(課税)			5/10/1
借方科目・口座名		貸方科目・口座名		取引金額	
5211	商品仕入高	2112	買掛金		1,100,000
取引先名 (仕入先の氏名又は名称)		収	内:消費税等		
株式会社TKCサポート		00002	支	100,000	
実際の仕入れ年月日		元帳構築 (仕入れ確定等の処理)		税率	税抜き金額
5年10月1日				(10.0%)	1,000,000

A confirmation dialog box is displayed with the following text:

課税区分[5][6][7]が入力されていますが、当取引先には事業者登録番号が登録されていません。免税事業者等からの課税仕入れの場合は、課税区分[52][62][72]を入力してください。
課税区分を修正しますか？

Buttons: はい(Y) いいえ(N) 事業者登録番号を登録(R)

5. 入力仕訳の整合性チェック

(1) 課税仕入れの仕訳チェック (インボイス制度)

- ④ 「基準期間課税売上高が1億円以下等の設定：該当する」
「課税区分[52]等 (免税事業者等からの課税仕入れを処理)」
「取引金額1万未満」

The screenshot shows the 'FX4' accounting software interface. A transaction entry screen is visible with a table of account entries. A confirmation dialog box is overlaid on the screen, asking for confirmation regarding the tax treatment of a transaction amount under 10,000 yen.

伝票番号	証券番号	課税区分	事業区分	小切手番号	年月日
	52	5の経過措置			5/10/1
借方科目・口座名	貸方科目・口座名	取引金額			
5211 商品仕入れ	2112 買掛金	8,900			
取引先名 (仕入れの氏名又は名称)		印内消費税等			
		640			
実際の仕入れ年月日		元帳構成 (仕入れ資産等の総称)		税率	税抜き金額
				(10.0%)	8,160

確認

? 取引金額1万円未満の場合、仕入税額を全額控除できるとされています。このため、免税事業者等からの課税仕入れであっても、仕入税額を全額控除できる場合は、課税区分[5][6][7]を入力してください。課税区分を修正しますか？

[FX4]

5. 入力仕訳の整合性チェック

(2) 月次締切業務

月次締切業務の「残高・仕訳等自動チェック」にインボイス経過措置のチェック項目を追加しました。

The screenshot shows the 'FX4' accounting software interface with the '月次・年次決算' (Monthly/Annual Closing) menu open. The '7 月次締切業務' (7 Monthly Closing Tasks) item is highlighted with a red box.

A 月次決算	D 貸借対照表・損益計算書の作成
1 月次仕訳詳書	31 貸借対照表・損益計算書科目体系の登録
2 共通費の配賦	32 貸借対照表・損益計算書の作成
3 従業員数等の登録	33 貸借対照表・損益計算書の印刷
4 重要科目の仕訳一覧	E 株主資本等変動計算書作成
5 重要残高の確認	41 株主資本等変動計算書設計
6 要修正仕訳一覧	42 変動事由の事前登録・確認
	43 株主資本等変動計算書作成
	44 株主資本等変動計算書確認
	45 株主資本等変動計算書印刷
B 期末整理仕訳の入力	F 4ヶ月・70-計算書の作成
11 科目内訳書の作成	51 4ヶ月・70-計算書の設計
12 期末整理仕訳入力	52 4ヶ月・70-計算書の作成
13 期末整理仕訳(複合)入力	53 4ヶ月・70-計算書精算表
14 期末整理仕訳詳書	54 4ヶ月・70-計算書の確認
15 仕訳統合(期末整理分)	55 4ヶ月・70-計算書の印刷
C 期末整理仕訳(会計事務所入力分)の確認	G 個別注記表の作成
21 期末整理仕訳(会計事務所入力分)の確認	61 個別注記表の作成・印刷
	H 電子申告準備
	101 eCA-DRIVER
	I 経営分析報告書の印刷
	J R-簿入/簿入ソフト
	81 経営分析報告書の印刷
	K aCA-DRIVER
	L 電子帳簿の作成
	101 aCA-DRIVER連携ファイル作成
	111 電子帳簿ファイルの作成

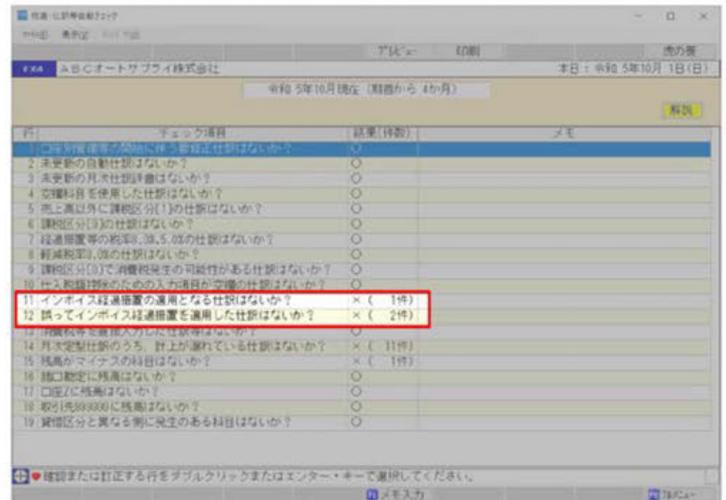
5. 入力仕訳の整合性チェック

(2) 月次締切業務

【追加チェック項目】

「インボイス経過措置の適用となる仕訳がないか」

「誤ってインボイス経過措置を適用した仕訳がないか」



5. 入力仕訳の整合性チェック

(2) 月次締切業務

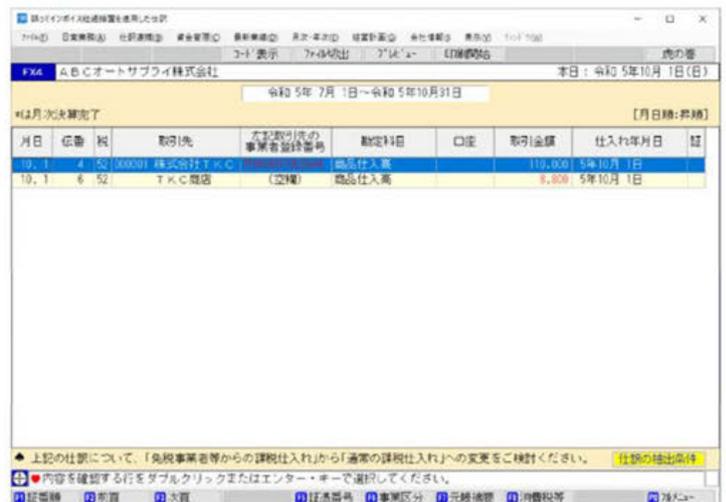
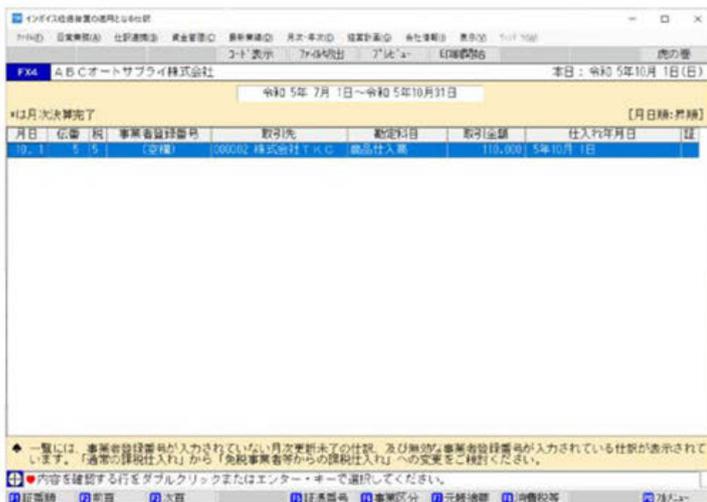
「インボイス経過措置の適用となる仕訳がないか」

→課税区分[5]、事業者登録番号の登録なし

「誤ってインボイス経過措置を適用した仕訳がないか」チェックします。

→課税区分[52]、事業者登録番号の登録あり

→課税区分[52]、取引金額1万円未満



5. 入力仕訳の整合性チェック

(2) 月次締切業務

「インボイス経過措置の適用となる仕訳がないか」

→課税区分[5]、事業者登録番号の登録なし

「誤ってインボイス経過措置を適用した仕訳がないか」チェックします。

→課税区分[52]、事業者登録番号の登録あり

→課税区分[52]、取引金額1万円未満

月日	伝番	税	事業者登録番号	取引先	勘定科目	取引金額	仕入れ年月日
0.1	5	5	(空欄)	ABCオートサプライ株式会社	商品仕入高	110,000	5年10月1日

月日	伝番	税	事業者登録番号	取引先
0.1	5	5	(空欄)	000002 株式

5. 入力仕訳の整合性チェック

(2) 月次締切業務

「インボイス経過措置の適用となる仕訳がないか」

→課税区分[5]、事業者登録番号の登録なし

「誤ってインボイス経過措置を適用した仕訳がないか」チェックします。

→課税区分[52]、事業者登録番号の登録あり

→課税区分[52]、取引金額1万円未満

月日	伝番	税	事業者登録番号	取引先	勘定科目	取引金額	仕入れ年月日
0.1	52	52	115400001002844	ABCオートサプライ株式会社	商品仕入高	8,800	5年10月1日

5. 入力仕訳の整合性チェック

(2) 月次締切業務



デモンストレーション

(ご案内) レシート入力方式

インボイス制度に対応した新たな入力画面「**レシート入力方式**」を搭載しました。

仕入先から受領したレシート等を、税抜き、税込み問わず金額をそのまま入力することで仕訳が計上できます。

複数税率、複数科目が混在しても手元に電卓を用意する必要はありません。

勘定科目/口座名	課	税率	元帳摘要(仕入行資産等の名称)	税引金額	部門
1 5211 商品仕入高	5	10.0%	原則 (課税商品・サービス等の仕入高)	6,500,000	共通部門
2 6217 事務用消耗品	5	10.0%	事務用消耗品費	1,700,000	共通部門

勘定科目/口座名	課	税率	元帳摘要(仕入行資産等の名称)	税引金額	部門
1 5211 商品仕入高	5	10.0%	原則 (課税商品・サービス等の仕入高)	3,500	
2				2,000	
3				1,500	
4				3,000	

(ご案内) レシート入力方式

レシート入力方式の詳細は、こちらの動画をご覧ください。
 インボイス制度に対応した新たな入力画面「レシート入力方式」を
 ぜひ、ご活用ください。



TKC
 今すぐ始める!
ペーパーレス・インボイス対応

- TKCシステムの対応
- TKCシステムの対応
 - ・電子取引データの保存
- インボイス制度
- もっと知りたい
 - ・電子取引・インボイス制度
 - ・ワークブック関連資料
- 関連サイト
- 「戦略経営者」特集記事

電卓いらずの新しい仕訳入力画面「レシート入力方式」の7つの特長を確認 ▶▶▶

インボイス制度の導入によって複雑になる仕訳の入力をラクにする、新たな仕訳入力画面「レシート入力方式」を令和5年6月に提供します。
 令和5年10月のインボイス制度開始に向けて、このレシート入力方式の7つの特長をご確認ください。



レシート入力方式のご紹介

※レシート入力方式を搭載するシステム
 FX2クラウド、FX2クラウド(個人用)、FXまいスタークラウド、FXまいスタークラウド(個人用)、DAC2クラウド、FX2産業会計クラウド、FX2、FX2個人事業用、#21まいスター(しゅかり会計)、#21まいスター個人事業用(しゅかり会計)、FX4クラウド、DAC2、DAC3クラウド、FX産業会計、FX産業会計個人事業用

FXシリーズをご利用のお客様は、制度対応の準備は万全です

E N D

第2部

仕訳連携機能に関する設定の見直し

セミナー資料

第2部

仕訳連携機能に関する設定の見直し

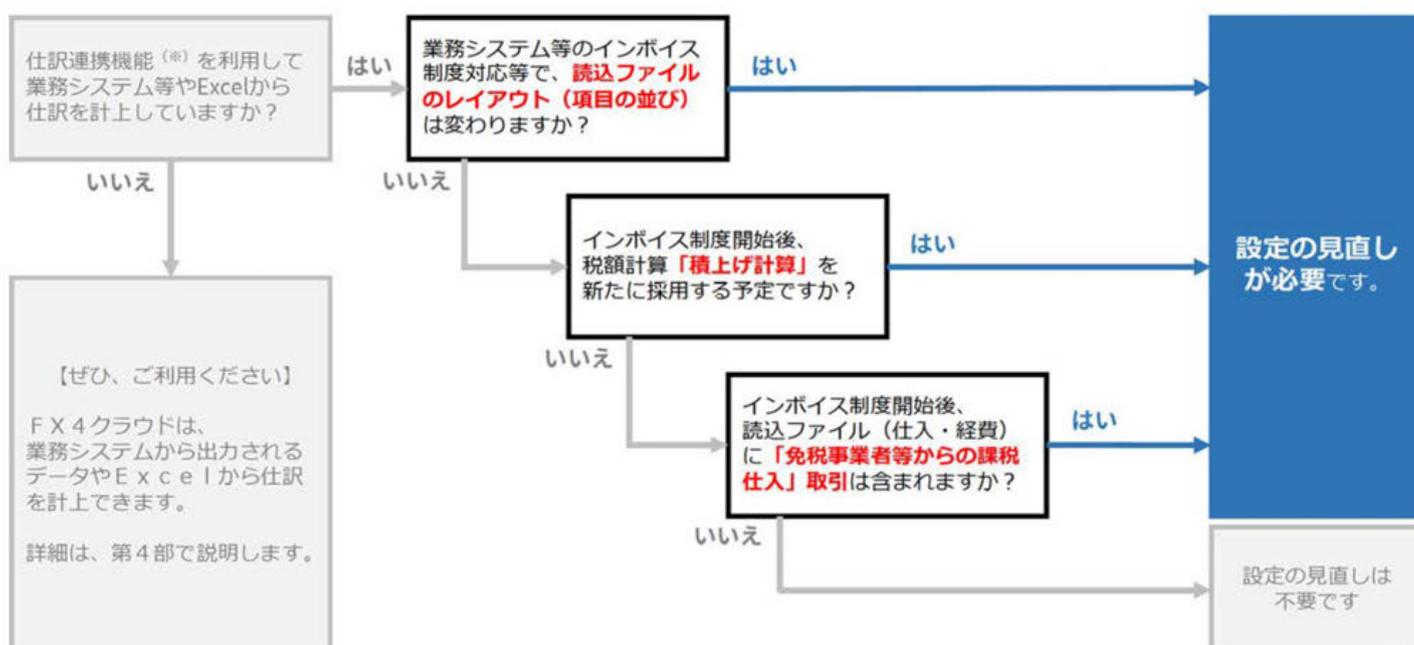
■内容

1. 見直しが必要な理由
2. 【まとめ】仕訳連携に関する設定の見直し
3. 「仕訳読込テンプレート設計機能」の修正手順
4. 「Excelからの仕訳計上機能」の修正手順
5. 「TKC標準読込レイアウト」の修正手順

第2部 仕訳連携機能に関する設定の見直し

設定の見直しが必要か確認

次のいずれかが「はい」の場合、現在の設定を見直してください。
読込レイアウトの再登録や仕訳連携項目の修正が必要な場合があります。

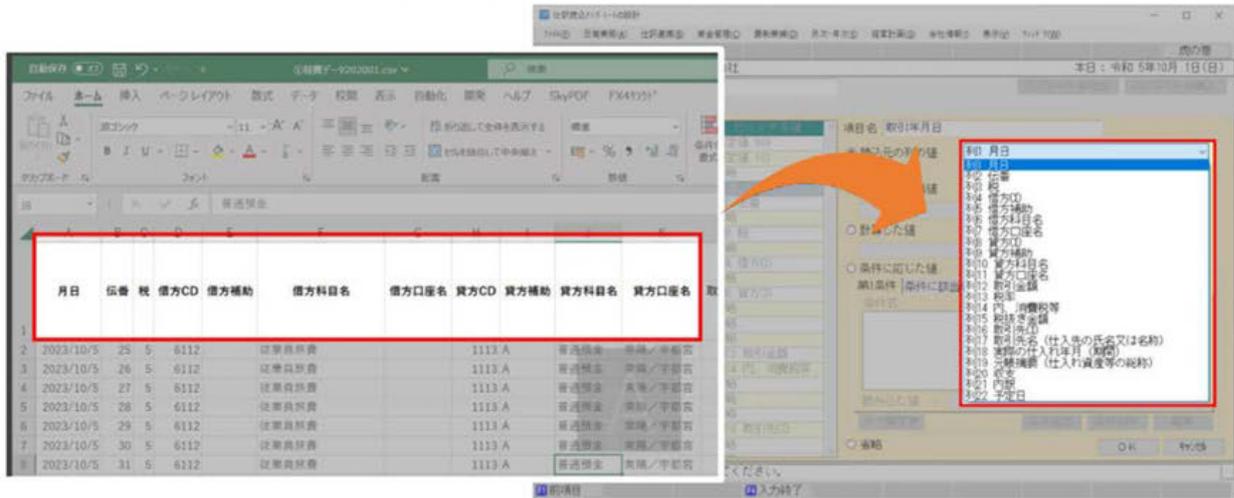


1. 見直しが必要な理由

(1) 「読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる」場合

仕訳連携機能は、読込ファイルのレイアウトを登録しています。

そのため、**レイアウトが変更になると読込エラー**となる可能性があります。



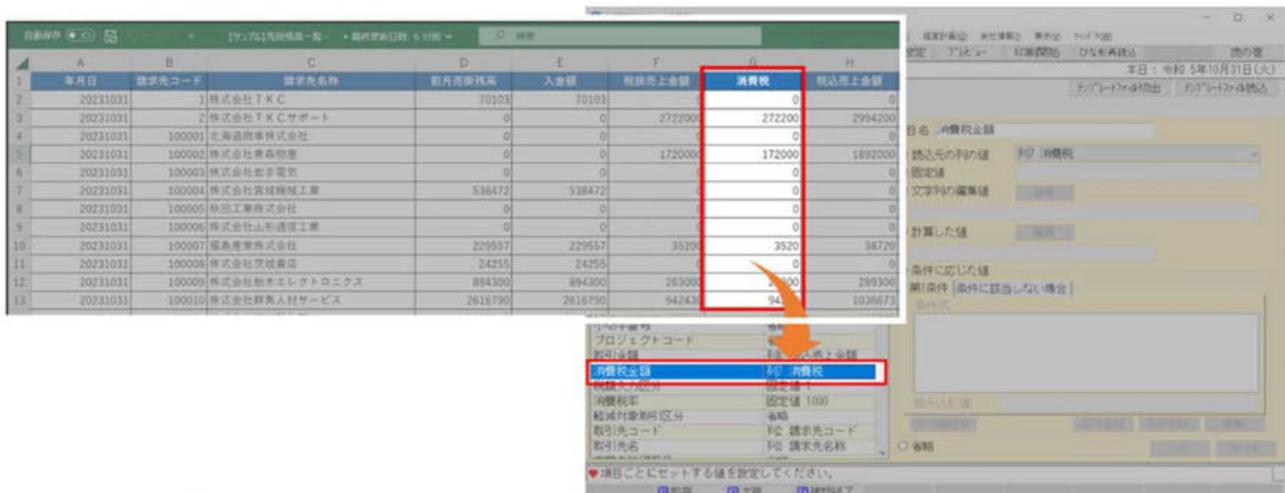
業務システム等のインボイス制度対応に伴い、読込ファイルのレイアウトが変更になった場合、**「FX4クラウドにレイアウトの再登録」**が必要です。

1. 見直しが必要な理由

(2) 「インボイス制度開始後から積上げ計算を採用する」場合

新たに積上げ計算※を採用する場合、

適格請求書に記載された消費税金額と同額の消費税金額を計上する必要があります。



※仕入税額で「帳簿積上げ計算」を採用する場合を除く

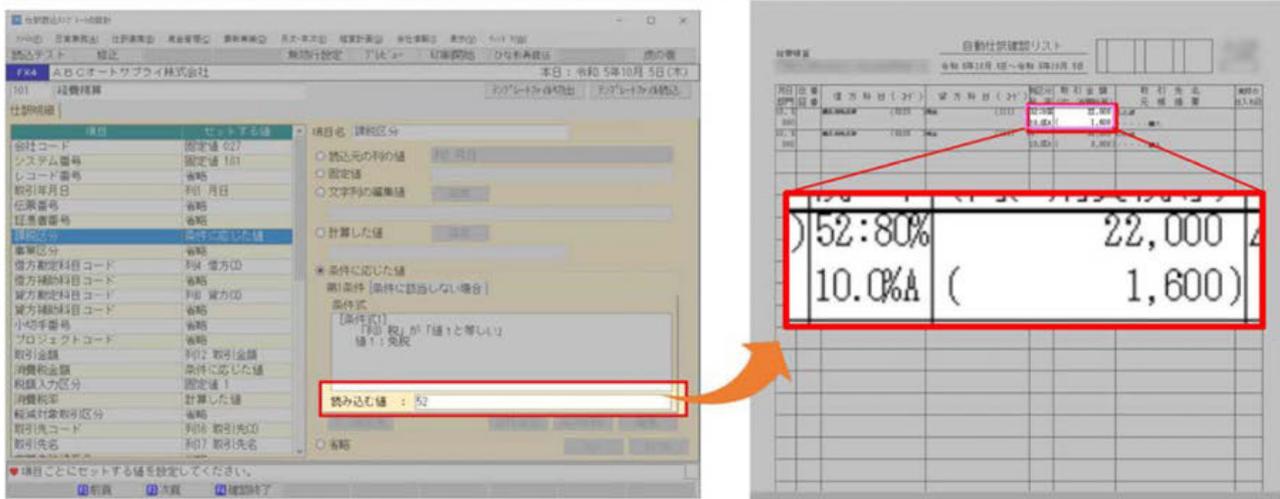
読込ファイルの消費税金額が適格請求書と同額か確認し、

仕訳連携項目(消費税金額)に**「適格請求書と同額の消費税金額を計上」**する設定が必要です。

1. 見直しが必要な理由

(3) 「免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む」場合

免税事業者等からの課税仕入れの場合は、**経過措置の控除割合に基づいた仮払消費税等**を計上する必要があります。



免税事業者等からの課税仕入れに係る経過措置に対応するため、**「仕訳連携項目(課税区分・消費税金額・税額入力区分)」**の修正が必要です。

1. 見直しが必要な理由

(3) 「免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む」場合

FX4クラウドで対応

<仕訳連携項目の設定>

- ・課税区分 [52]等
- ・消費税金額 0
- ・税額入力区分 1

自動計算あり

取引金額 × 10(8) ÷ 110(108) × 控除割合
※端数は四捨五入

【例】
課税区分52、税率10%、税額入力区分1
取引金額1,100円 消費税金額0円
↓
取引金額1,100 消費税金額80

業務システム等で対応

<仕訳連携項目の設定>

- ・課税区分 [52]等
- ・消費税金額 業務システムで計算した値
- ・税額入力区分 1または0

自動計算なし

【例】
課税区分52、税率10%、税額入力区分0
取引金額1,100円 消費税金額80円
↓
取引金額1,100 消費税金額80

控除割合に基づいた仮払消費税等を、**「FX4クラウド・業務システム等のどちらで計算するか」**で修正内容は異なります。

1. 見直しが必要な理由

(1) 「読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる」場合

【対応不要】

仕訳連携機能は、読込ファイルのレイアウトを登録しています。

そのため、レイアウトが変更になると読込エラーとなる可能性があります。

「インボイス制度とは関係のない項目」を「最後列以降」に追加

	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U
1	貸方補助	貸方科目名	貸方口座名	取引金額	税率	内、消費税等	税抜き金額	取引先CD	取引先名	元帳摘要	入力者	入力年月日	
2		現金		22,000	10	2,000	20,000		△△店	・・・購入			
3		現金		33,000	10	3,000	30,000		〇〇店	・・・購入			
4													
5													
6													
7													
8													

読込ファイルのレイアウトが変更となった場合でも、インボイス制度とは関係のない項目を最後列以降に追加したときは対応不要です。

1. 見直しが必要な理由

(2) 「インボイス制度開始後から積上げ計算を採用する」場合

【対応不要】

新たに積上げ計算※を採用する場合、

適格請求書に記載された消費税金額と同額の消費税金額を計上する必要があります。

現在も発行（受領）した請求書に記載された消費税金額と同額を計上

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	年月日	請求先コード	請求先名称	前月発掛残高	入金額	税抜売上金額	消費税	税込売上金額
2	20231031	1	株式会社TKC	70103	70103	0	0	0
3	20231031	2	株式会社TKCサポート	0	0	2722000	272200	2994200
4	20231031	100001	北海道商事株式会社	0	0	0	0	0
5	20231031	100002	株式会社青森物産	0	0	1720000	172000	1892000
6	20231031	100003	株式会社若手電気	0	0	0	0	0
7	20231031	100004	株式会社宮城機械工業	538472	538472	0	0	0
8	20231031	100005	林田工業株式会社	0	0	0	0	0
9	20231031	100006	株式会社山形通信工業	0	0	0	0	0
10	20231031	100007	福島産業株式会社	229557	229557	35200	3520	38720
11	20231031	100008	株式会社宮城建設	24255	24255	0	0	0
12	20231031	100009	株式会社栃木エレクトロニクス	894300	894300	263000	26300	289300

新たに積上げ計算を採用した場合でも、現在も請求書に記載された消費税金額と同額を計上しているときは対応不要です。

1. 見直しが必要な理由

(3) 「免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む」場合

【対応不要（一例）】

免税事業者等からの課税仕入れの場合は、経過措置の控除割合に基づいた仮払消費税等を計上する必要があります。

免税事業者等との取引件数が数件で仕訳連携後に伝票訂正で対応する

免税事業者等からの課税仕入れ取引がある場合でも、取引件数が少ないため、仕訳連携後に課税区分と消費税金額を訂正することで当該対応をしない方法も考えられます。

2. 【まとめ】仕訳連携に関する設定の見直し

(1) 業務システム等のインボイス制度対応に伴い、現在の読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる。

例) 「事業者登録番号」「適格請求書発行事業者と免税事業者の区分」などの項目が追加された

F X 4クラウドに**新しい読込ファイルレイアウトの登録**が必要

仕訳計上に利用しない項目が**最後列に追加**される場合は対応不要です

2. 【まとめ】仕訳連携に関する設定の見直し

- (2) インボイス制度開始後、現在の税額計算「割戻し計算」から「積上げ計算（請求書等積上げ計算）」に変更する。



インボイスの消費税金額と同額の消費税金額の計上が必要

※読込ファイルの消費税金額がインボイスと一致していることが前提です。
また、仕入税額「帳簿積上げ計算」を除きます

これまでも請求書と同額の消費税金額を計上している場合は対応不要です

2. 【まとめ】仕訳連携に関する設定の見直し

- (3) 仕入・経費の読込ファイルに「免税事業者等からの課税仕入れ」取引が含まれる。（経過措置※への対応）

※控除割合に基づく仮払消費税等の計算



①課税区分	[52] 等
②仮払消費税等を「FX4クラウド」で計算する場合	
1)消費税金額	0
2)税額入力区分	1
③仮払消費税等を「業務システム」で計算する場合	
1)消費税金額	業務システムの計算結果
2)税額入力区分	0 または 1

連携後に当該仕訳を伝票訂正（課税区分・消費税）する場合は対応不要です。

2. 【まとめ】仕訳連携に関する設定の見直し

連携種類		税額計算	割戻し計算	積上げ計算	
				請求書等 積上げ計算	帳簿 積上げ計算
売上			対応不要	要修正 ※新たに積上げ計算を採用する場合のみ ・仮受消費税等 売上インボイスと同額を計上	選択不可
仕入 (経費)	適格請求書 発行事業者 からの 課税仕入れ		対応不要	要修正 ※新たに積上げ計算を採用する場合のみ ・仮払消費税等 仕入インボイスと同額を計上	対応不要
	免税事業者等 からの 課税仕入れ		要修正 ・課税区分 [52]等 ・仮払消費税等(経過措置)、税額入力区分 FX4クラウドで対応: 仮払消費税等 0、税額入力区分 1 業務システムで対応: 仮払消費税等 業務システムの出力値、税額入力区分 0または1 ・計上単位 積上げ計算を採用される場合は、取引単位で計上してください		

仕訳連携方法別に修正手順をご説明します

仕訳読込テンプレートの設計機能
 業務システム等の出力データを加工することなく仕訳を計上する方法

スライド
15～

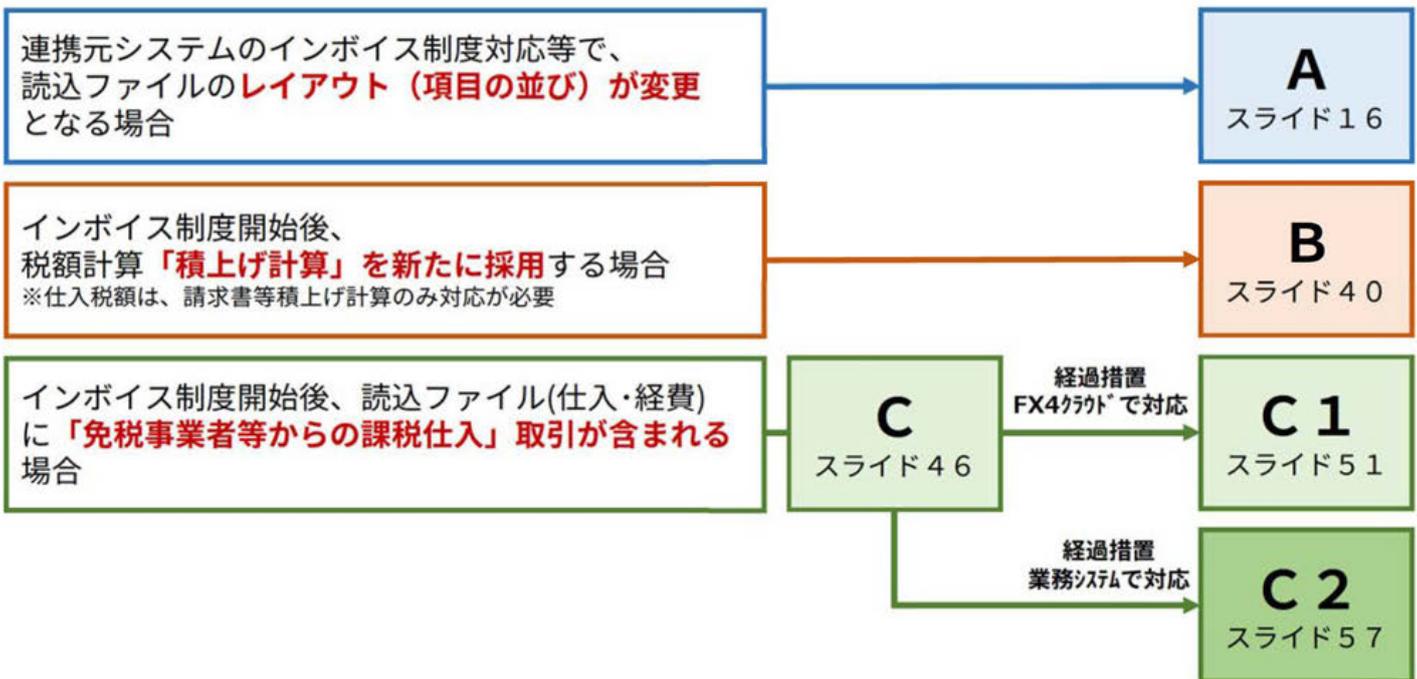
Excelからの仕訳計上機能
 Excelで作成した管理資料等から直接仕訳を計上する方法

スライド
64～

TKC標準読込レイアウト
 業務システム等で作成したFX4クラウド標準読込レイアウトデータ(SLP)から仕訳を計上する方法

スライド
74～

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

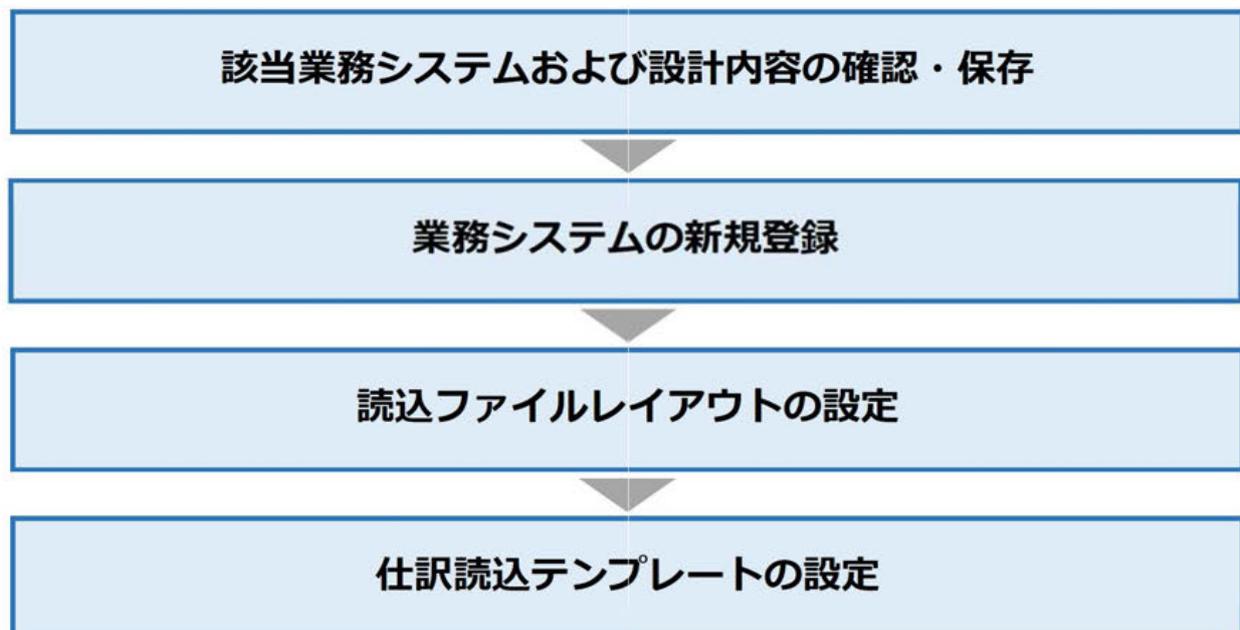


例) 仕入データ（免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む）の読込ファイルレイアウトが変更となる場合
※仮払消費税等は、FX4クラウドで自動計算「A」と「C1」の対応パターンをご確認ください。

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

A

(1) 読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる場合



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(1) 読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる場合

該当業務システムおよび設計内容の確認・保存

業務システムの新規登録

読込ファイルレイアウトの設定

仕訳読込テンプレートの設定

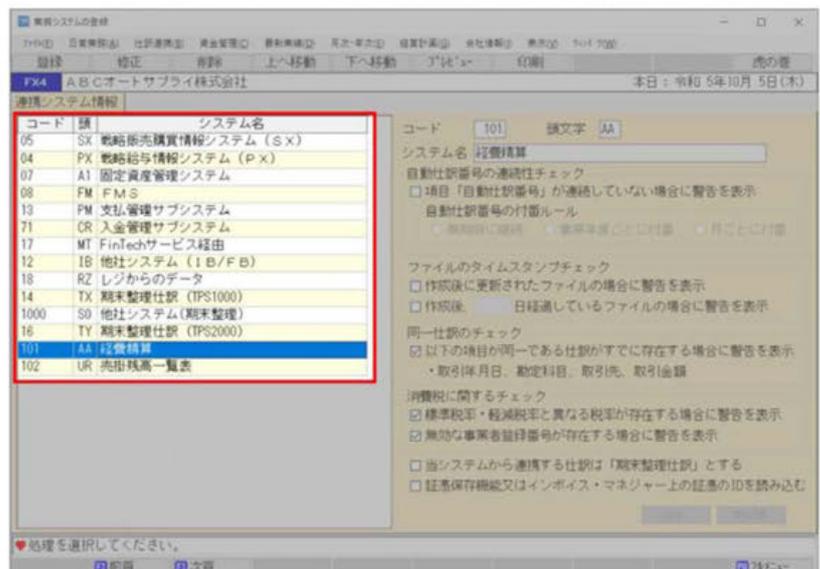
3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

① 該当する業務システムの確認

FX4クラウドに登録している業務システム名から、

読込ファイルのレイアウトが変更となる業務システム名を確認します。

※業務システム名では判断できない場合、「仕訳読込履歴」の連携月日やファイル名、「読込フォルダの設定」のファイル格納先から確認します。

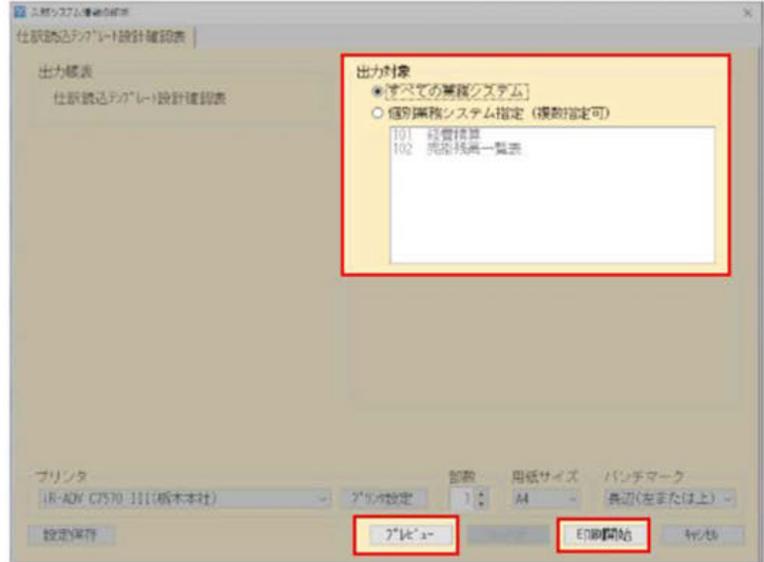
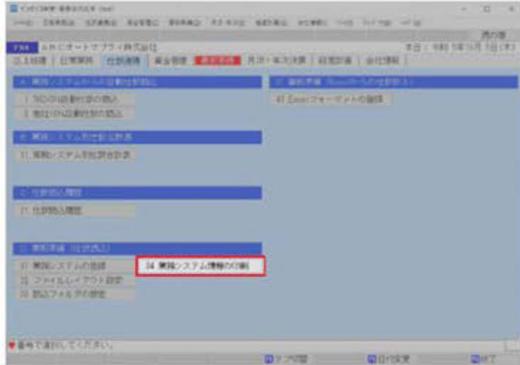


3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

②設計内容の確認・保存

レイアウトが変更となる業務システム名の

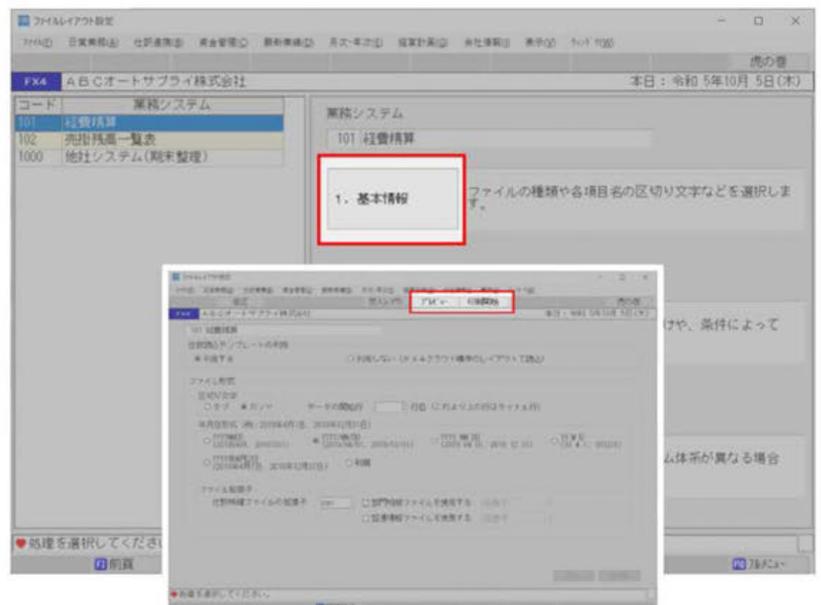
「仕訳読込テンプレート設計確認表」を任意の箇所に保存（印刷）します。



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

②設計内容の確認・保存

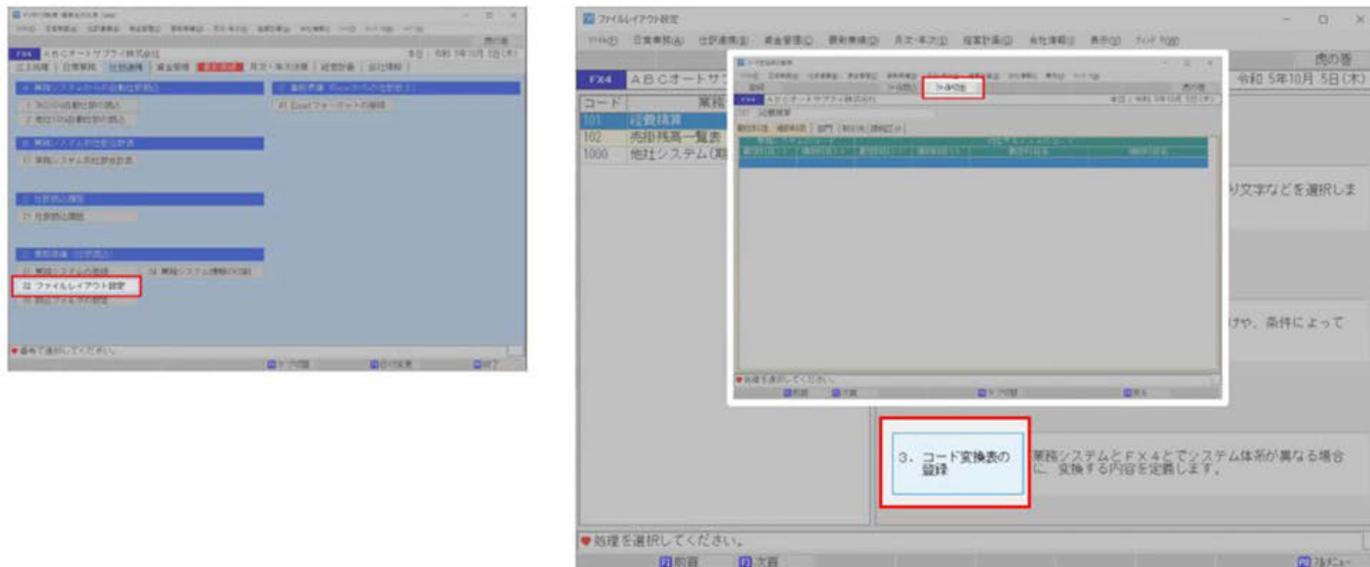
続いて、**基本情報も保存（印刷）**します。



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

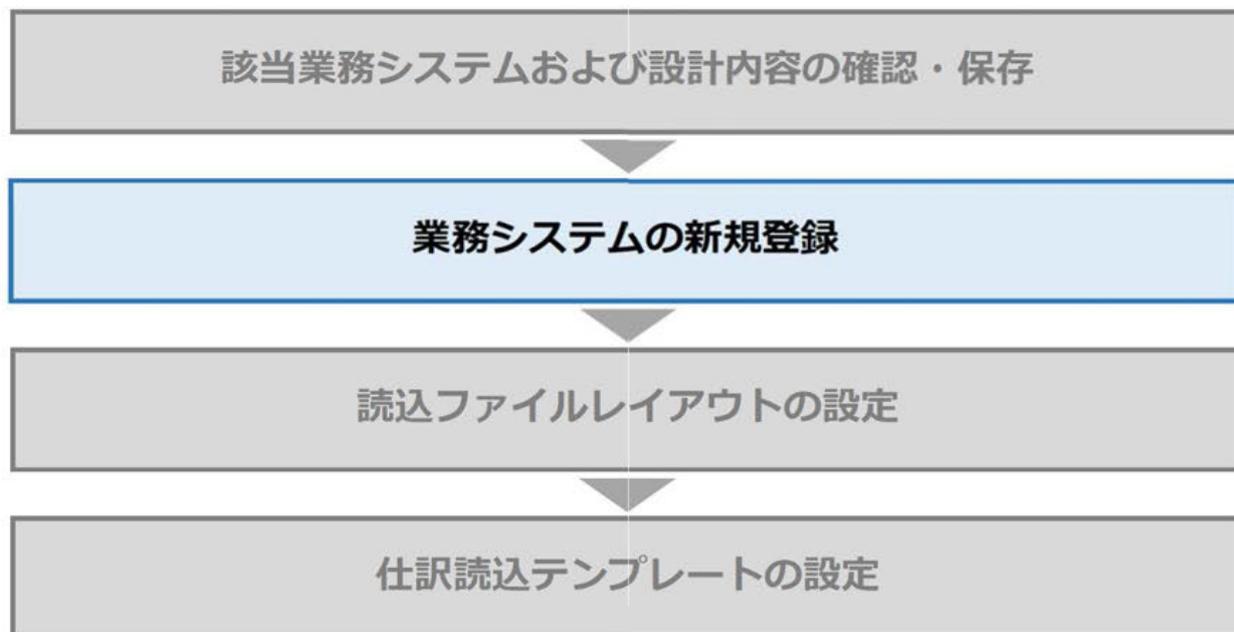
②設計内容の確認・保存

コード変換表を利用している場合は、
変換表（勘定科目・補助科目、部門、取引先、課税区分）も保存します。



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

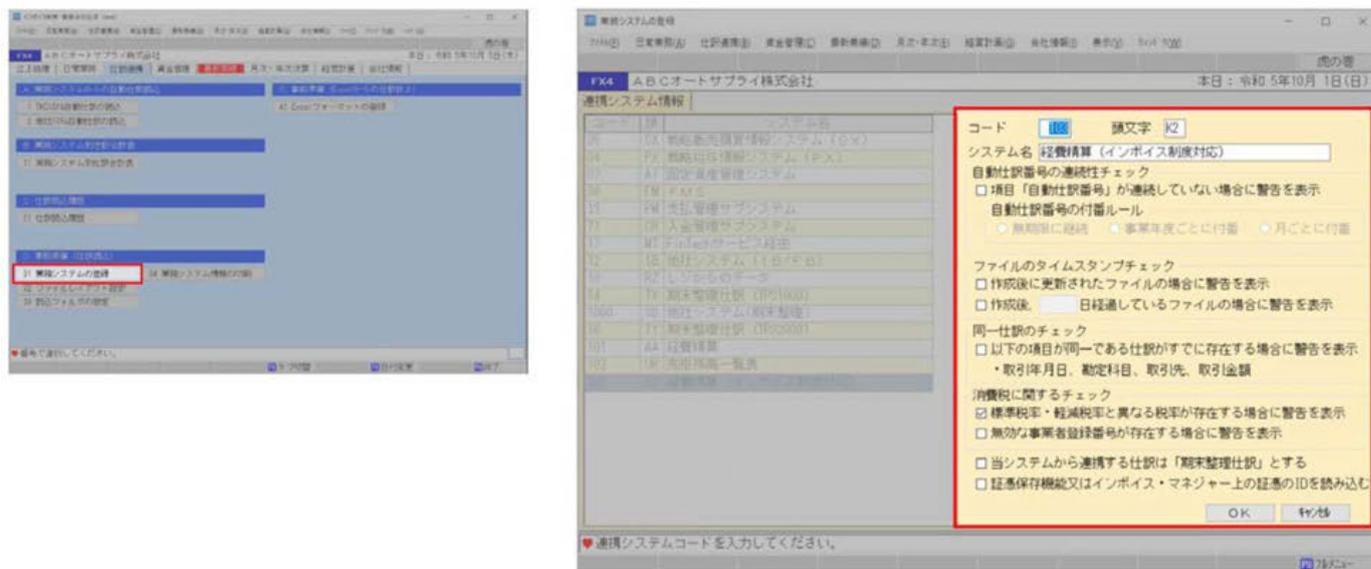
(1) 読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる場合



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

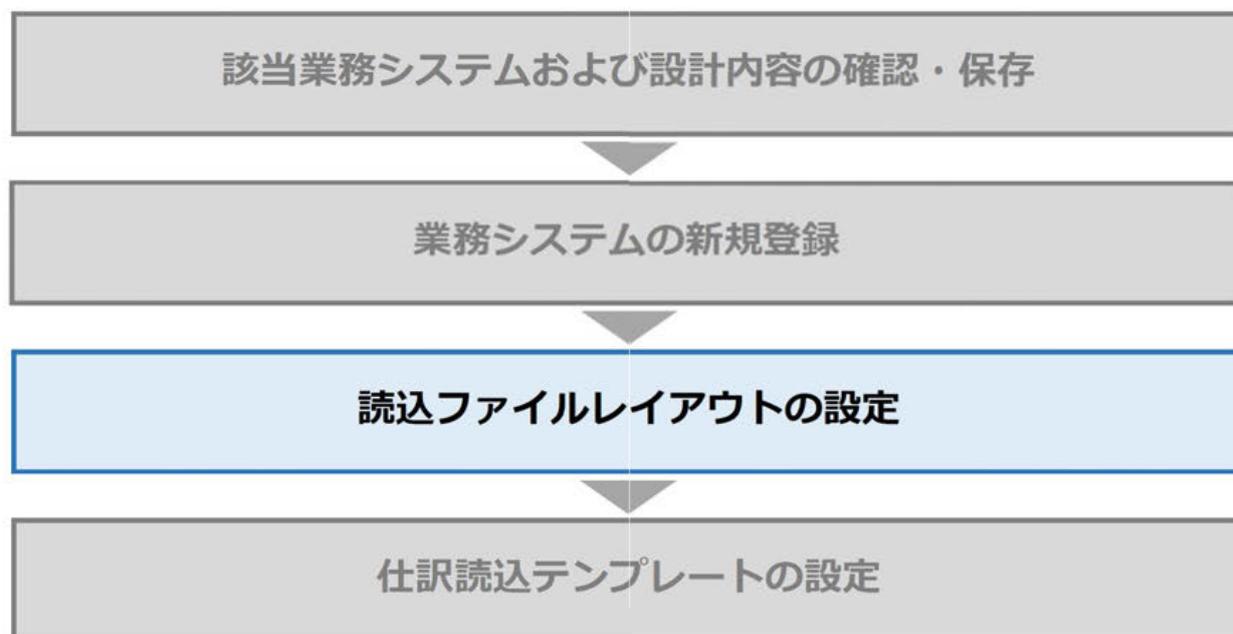
③ 業務システムの新規登録

- FX4クラウドに**新しい業務システム名**を登録します。
コード、頭文字、システム名は任意です。
※システム名は、新旧がわかる名称にすることを推奨します。



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(1) 読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる場合

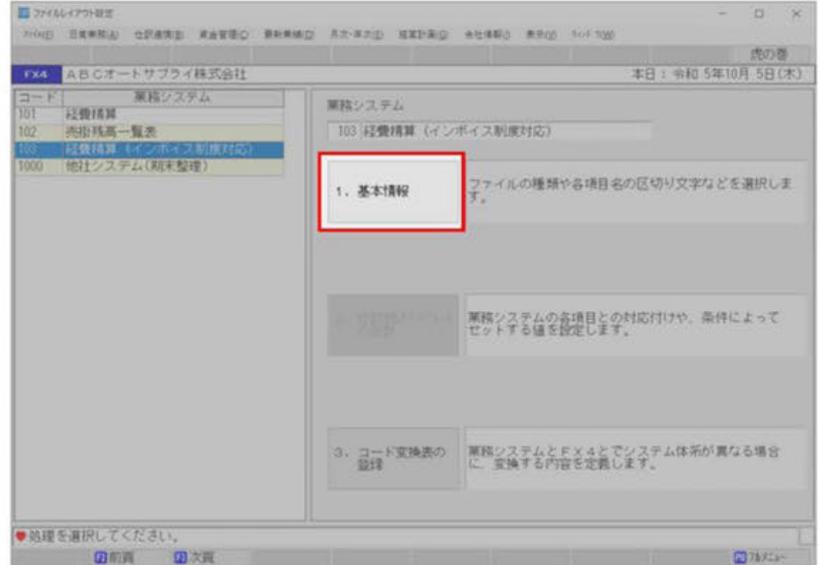


3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

④ファイルレイアウト設定

基本情報を設定します。

保存した「基本情報」を用意します。



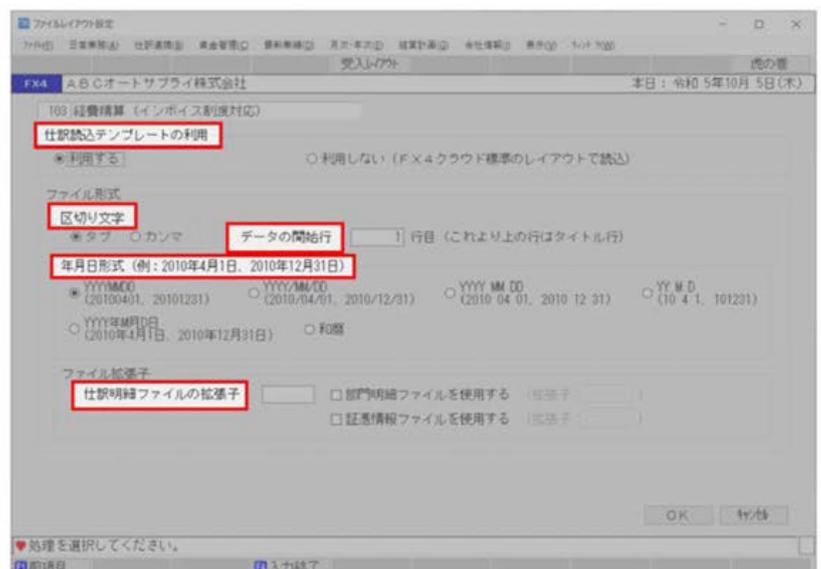
3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

④ファイルレイアウト設定

保存した「基本情報」の記載内容を確認しながら設定します。

新旧の読込ファイルで異なる項目がある場合は、新しい読込ファイルに合わせて設定してください。

【基本情報】	
仕訳読込テンプレートの利用	利用する
ファイル形式	
区切り文字	カンマ
データの開始行	2行目
年月日形式	YYYY/MM/DD
ファイル拡張子	
仕訳明細ファイルの拡張子	csv
部門明細ファイルを使用する	しない

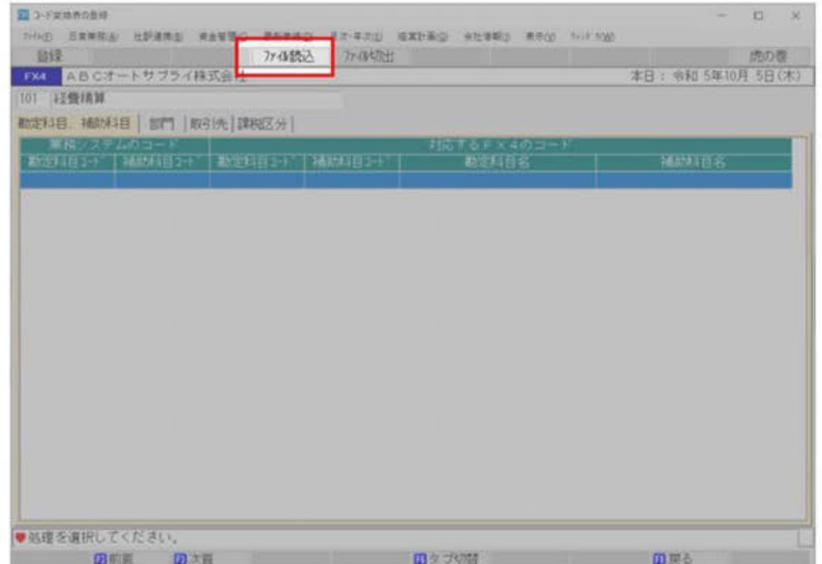
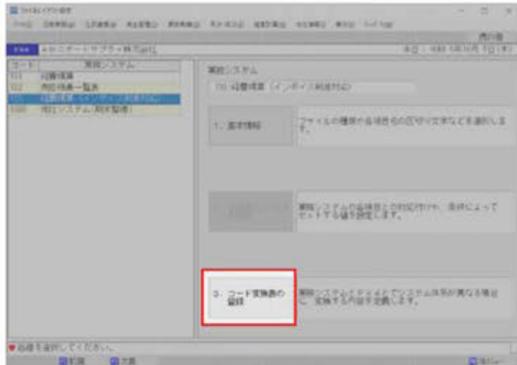


3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

④ファイルレイアウト設定

コード変換表を登録します。

保存した全ての変換表を「ファイル読込」で登録します。

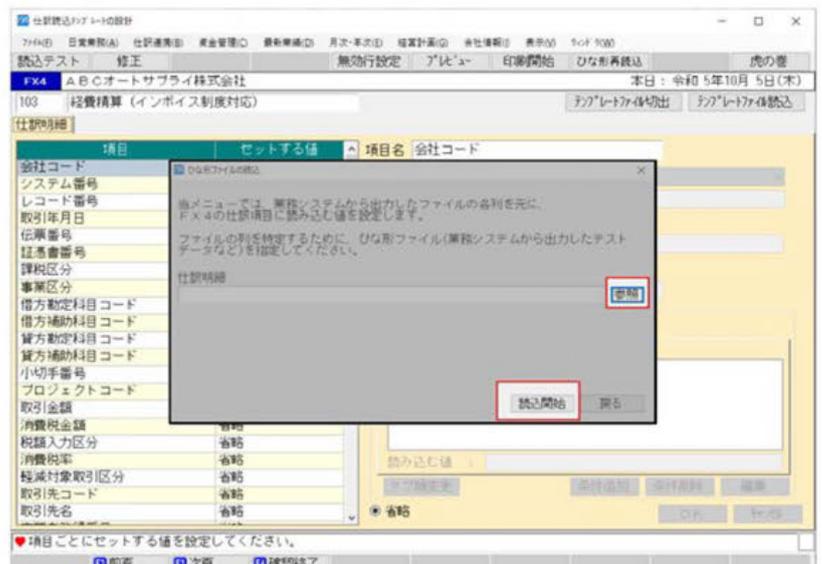
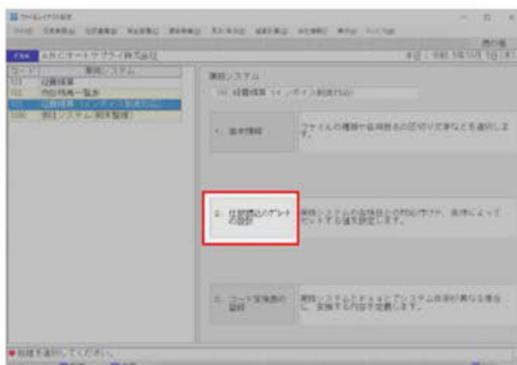


3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

④ファイルレイアウト設定

新しい読込ファイル（ひな形）を登録します。

基本情報で登録した拡張子に変換した読込ファイル（ひな形）を「参照」から選択し、読み込みます。

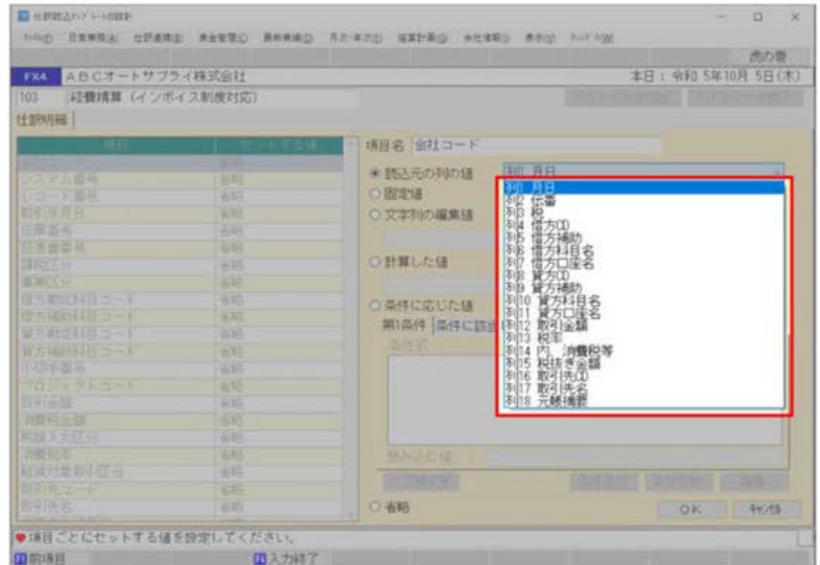
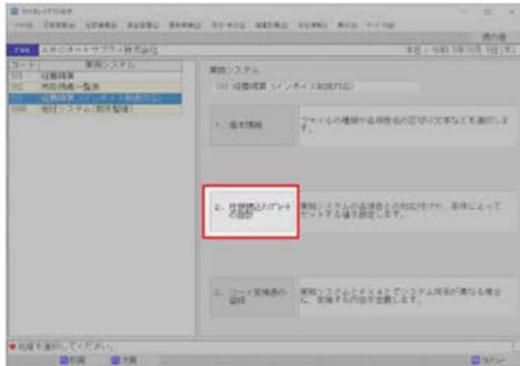


3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

④ ファイルレイアウト設定

基本情報の「データの開始行」で入力した**1つ上の行**が列のタイトルとして反映されていることを確認してください。

以上で新しい読込ファイルのレイアウトが登録されました。



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

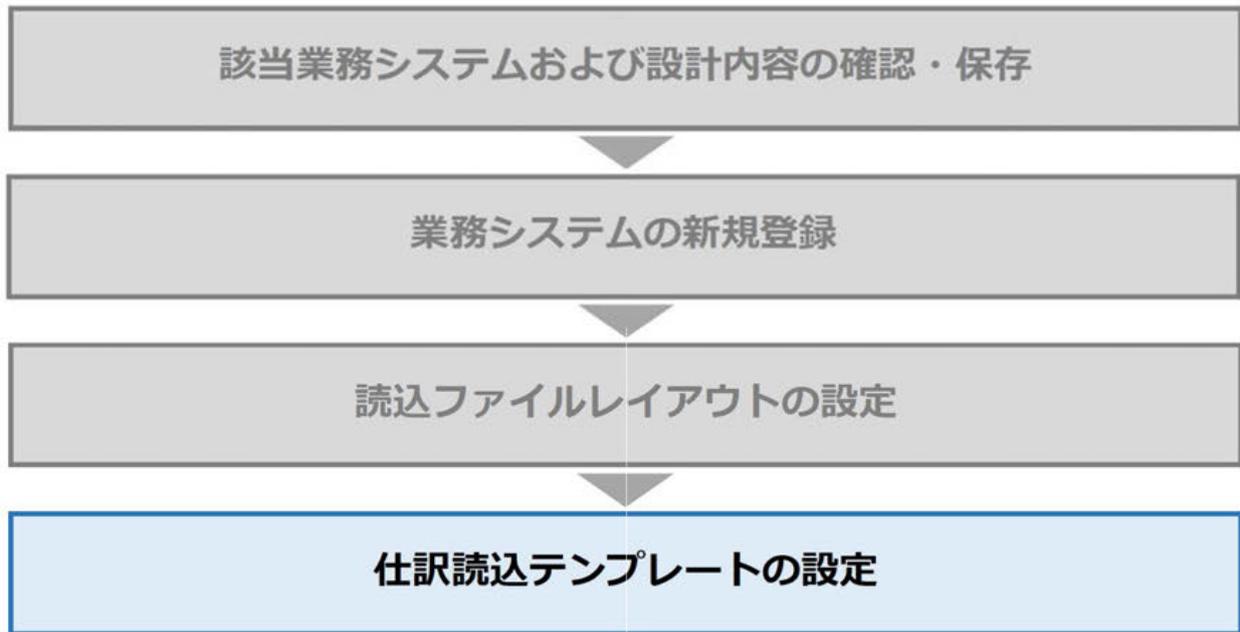
(1) 読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる場合



デモンストレーション

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(1) 読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる場合

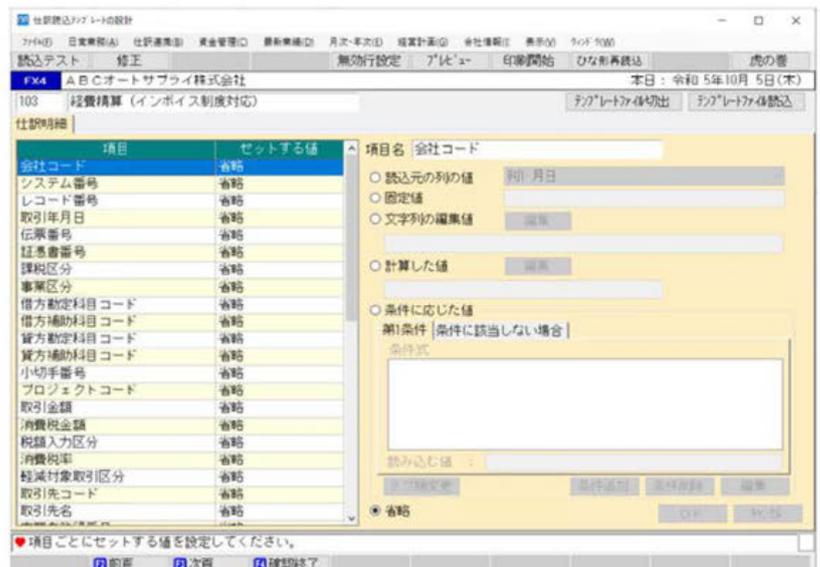
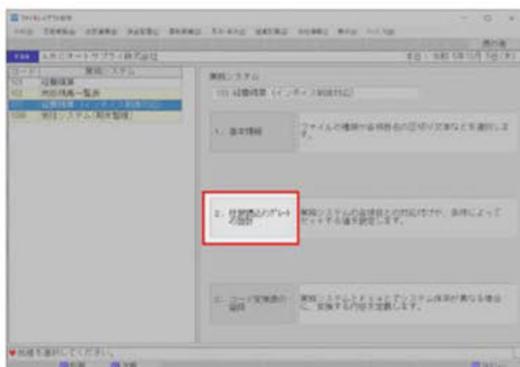


3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

⑤ 仕訳読込テンプレートの設計

仕訳連携項目を設定します。

保存した「仕訳読込テンプレート設計確認表」を用意します。

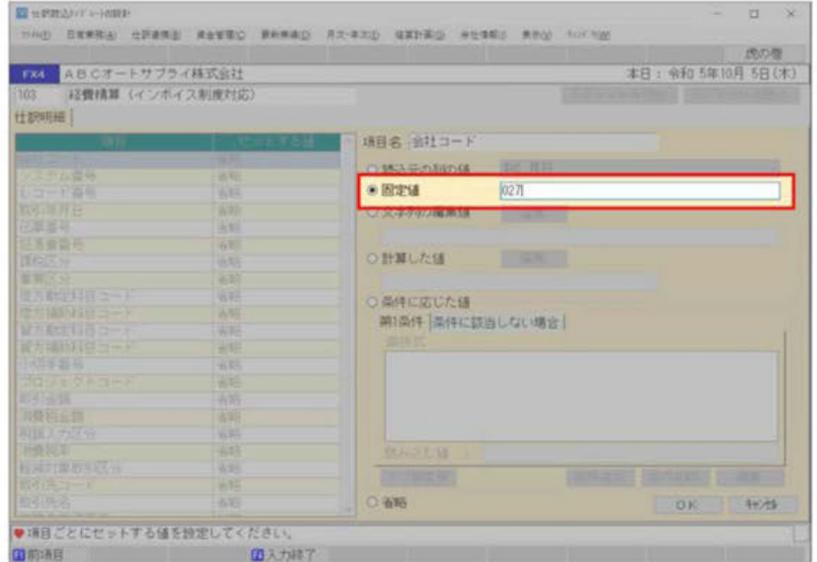


3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

⑤仕訳読込テンプレートの設定

「仕訳読込テンプレート設計確認表」の記載内容を確認しながら、各仕訳連携項目を設定します。

行	項目	セットする値	詳細
1	会社コード	固定値	027
2	システム番号	固定値	101
3	シコード番号	省略	
4	取引年月日	列1 年月日	
5	伝票番号	省略	
6	伝票番号	省略	
7	課税区分	固定値	5
8	事業区分	省略	
9	簿方勘定科目コード	列3 簿方CD	
10	借方補助科目コード	列4 借方補助	
11	貸方勘定科目コード	列7 貸方CD	
12	貸方補助科目コード	列8 貸方補助	
13	小切手番号	省略	
14	プロジェクトコード	省略	
15	取引金額	列11 取引金額	
16	消費税金額	列12 内、消費税等	
17	税額入力区分	固定値	1
18	消費税率	計算した値	列13 税率 × 100 端数処理：小数第1位を四捨五入
19	軽減対象取引区分	省略	
20	取引先コード	列15 取引先CD	
21	取引先名	省略	
22	事業者登録番号	省略	
23	課税の仕入れ目入力バターン	省略	

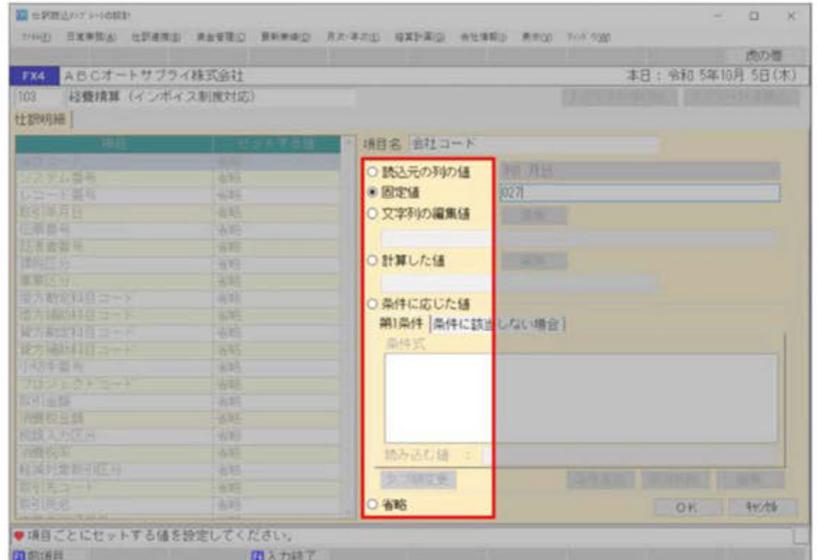


3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

⑤仕訳読込テンプレートの設定

設定方法は、「読込元の列の値」「固定値」「文字列の編集値」「計算した値」「条件に応じた値」「省略」があります。

行	項目	セットする値	詳細
1	会社コード	固定値	027
2	システム番号	固定値	101
3	シコード番号	省略	
4	取引年月日	列1 年月日	
5	伝票番号	省略	
6	伝票番号	省略	
7	課税区分	固定値	5
8	事業区分	省略	
9	簿方勘定科目コード	列3 簿方CD	
10	借方補助科目コード	列4 借方補助	
11	貸方勘定科目コード	列7 貸方CD	
12	貸方補助科目コード	列8 貸方補助	
13	小切手番号	省略	
14	プロジェクトコード	省略	
15	取引金額	列11 取引金額	
16	消費税金額	列12 内、消費税等	
17	税額入力区分	固定値	1
18	消費税率	計算した値	列13 税率 × 100 端数処理：小数第1位を四捨五入
19	軽減対象取引区分	省略	
20	取引先コード	列15 取引先CD	
21	取引先名	省略	
22	事業者登録番号	省略	
23	課税の仕入れ目入力バターン	省略	



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

A

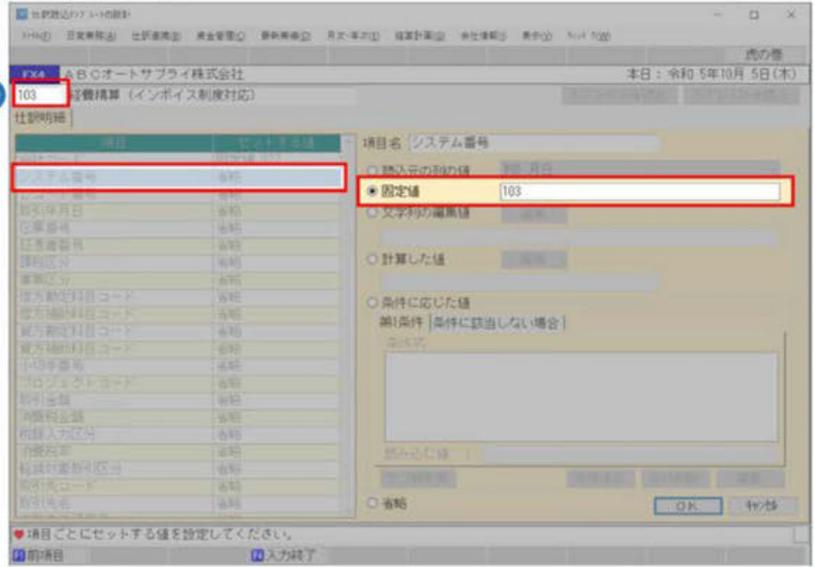
⑤仕訳読込テンプレートの設定

【ご注意ください】

仕訳連携項目（システム番号）は、新しく設定した業務システムコード（画面左上に記載）をセットしてください。

例) システム番号101ではなく、103をセットする

行	項目	セットする値	詳細
1	会社コード	固定値	027
2	システム番号	固定値	101
3	レコード番号	省略	
4	取引年月日	列1 月日	
5	伝票番号	省略	
6	証券番号	省略	
7	課税区分	固定値	5
8	事業区分	省略	
9	借方勘定科目コード	列3 借方CD	
10	借方補助科目コード	列4 借方補助	
11	貸方勘定科目コード	列7 貸方CD	
12	貸方補助科目コード	列8 貸方補助	
13	小切手番号	省略	
14	プロジェクトコード	省略	
15	取引金額	列11 取引金額	
16	消費税金額	列13 内、消費税等	
17	税額入力区分	固定値	1
18	消費税率	計算した値	列12 税率 × 100 端数処理：小数第1位を四捨五入
19	軽減対象取引区分	省略	
20	取引先コード	列15 取引先CD	
21	取引先名	省略	
22	事業所登録番号	省略	
23	同等の仕入れ日入力パターン	省略	



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

A

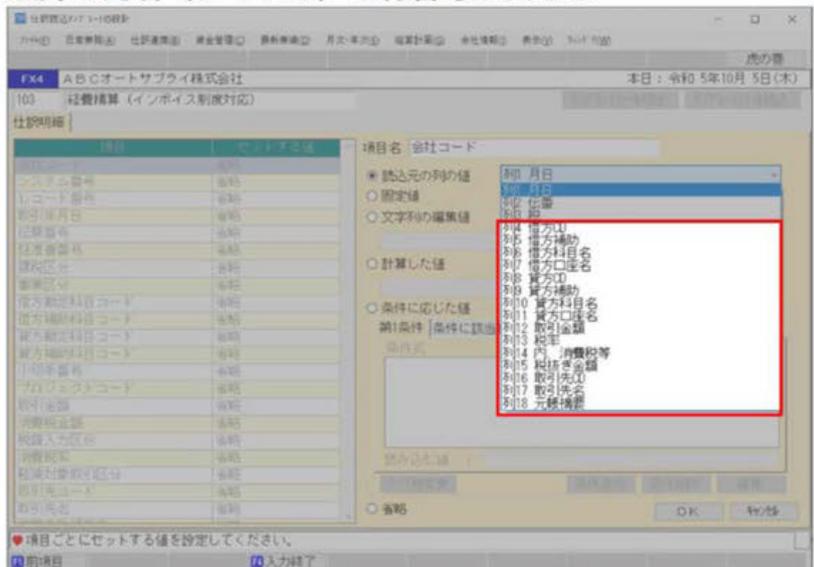
⑤仕訳読込テンプレートの設定

【ご注意ください】

レイアウト変更に伴い、同じ列名（タイトル）でも列番号が異なる箇所があります。そのため、列番号ではなく列名を確認しながら設定ください。

例) 3列目に項目追加したため、列4以降の列名（タイトル）と行番号が異なる

行	項目	セットする値	詳細
1	会社コード	固定値	027
2	システム番号	固定値	101
3	レコード番号	省略	
4	取引年月日	列1 月日	
5	伝票番号	省略	
6	証券番号	省略	
7	課税区分	固定値	5
8	事業区分	省略	
9	借方勘定科目コード	列3 借方CD	
10	借方補助科目コード	列4 借方補助	
11	貸方勘定科目コード	列7 貸方CD	
12	貸方補助科目コード	列8 借方補助	
13	小切手番号	省略	
14	プロジェクトコード	省略	
15	取引金額	列11 取引金額	
16	消費税金額	列13 内、消費税等	
17	税額入力区分	固定値	1
18	消費税率	計算した値	列12 税率 × 100 端数処理：小数第1位を四捨五入
19	軽減対象取引区分	省略	
20	取引先コード	列15 取引先CD	
21	取引先名	省略	
22	事業所登録番号	省略	
23	同等の仕入れ日入力パターン	省略	



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(1) 読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる場合



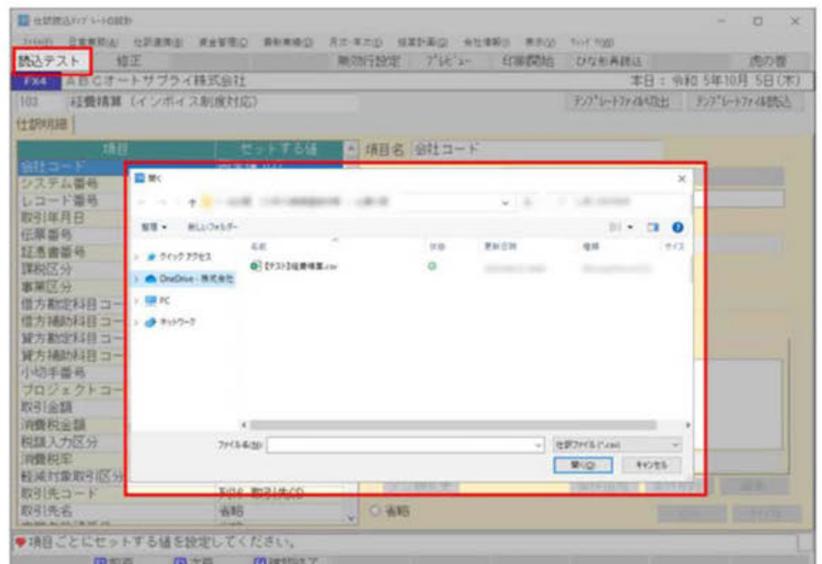
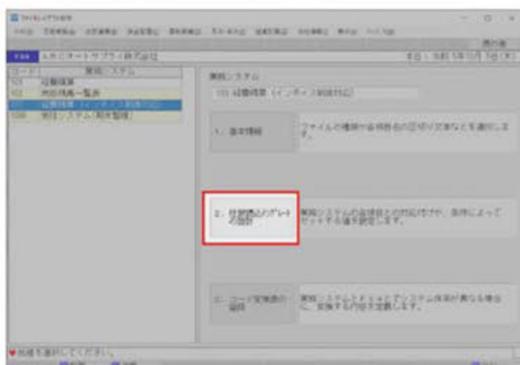
デモンストレーション

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

⑥ 読込テスト

業務システム等から**新しいレイアウトの読込ファイル（テスト用）**を出力し、**読込テスト**を行います。これまでと同じ仕訳がエラーなく表示されることを確認できましたら、読込レイアウトの再登録は完了です。

※仕訳は計上されません



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(1) 読込ファイルのレイアウト（項目の並び）が変更になる場合



デモンストレーション

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(2) インボイス制度開始後から積上げ計算を採用する場合

読込ファイルの消費税金額を確認



仕訳読込テンプレートの設定

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(2) インボイス制度開始後から積上げ計算を採用する場合

読込ファイルの消費税金額を確認

仕訳読込テンプレートの設定

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

① 読込ファイルの消費税金額を確認

1) 売上

読込ファイルの仮受消費税等が請求書に記載した仮受消費税等と同額かご確認ください。

2) 仕入

請求書等積上げ計算を採用される場合は、読込ファイルの仮払消費税等が受領した請求書に記載された仮払消費税等と同額かご確認ください。

売上インボイス

(株)〇〇御中

¥

消費税額等

XXX円

	A	B	C	D	E	F	G	H
	年月日	請求先コード	請求先名称	前月売掛残高	入金額	税抜売上金額	消費税	税込売上金額
1	20231031	1	株式会社TKC	70103	70103	0	0	0
2	20231031	2	株式会社TKCサポート	0	0	272200	272200	2994200
3	20231031	100001	北海道商事株式会社	0	0	0	0	0
4	20231031	100002	株式会社青森物産	0	0	172000	172000	1892000
5	20231031	100003	株式会社岩手電気	0	0	0	0	0
6	20231031	100004	株式会社宮城機械工業	538472	538472	0	0	0
7	20231031	100005	秋田工業株式会社	0	0	0	0	0
8	20231031	100006	株式会社山形通信工業	0	0	0	0	0
9	20231031	100007	福島産業株式会社	229557	229557	3520	3520	38720
10	20231031	100008	株式会社茨城県店	24255	24255	0	0	0

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

B

(2) インボイス制度開始後から積上げ計算を採用する場合

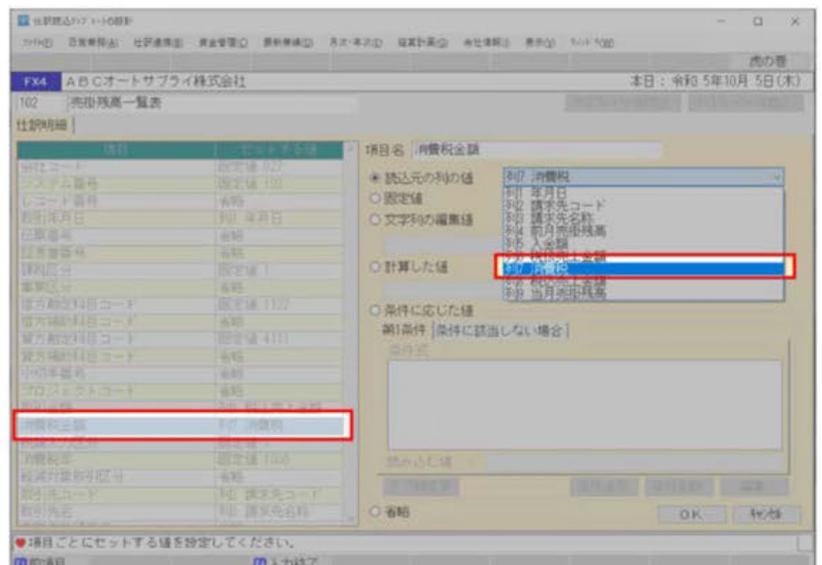
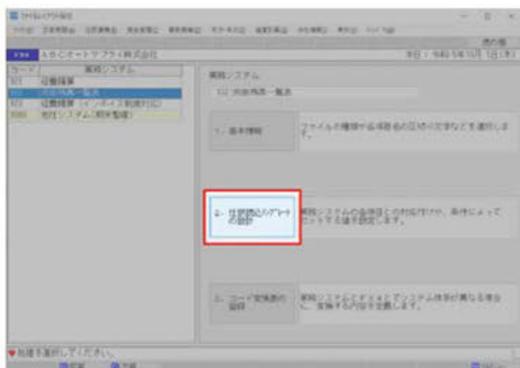


3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

B

② 読込テンプレートの設定

仕訳連携項目「消費税金額」を「読込元の列の値」で読込ファイルの消費税金額列を参照する設定にしてください。



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

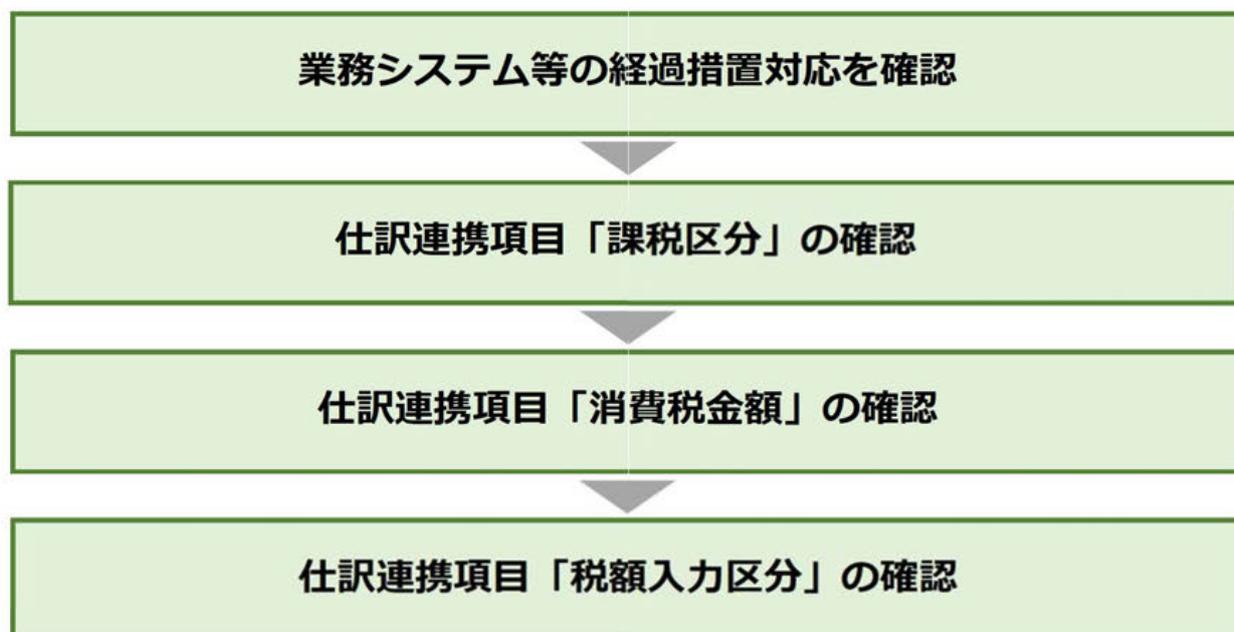
(2) インボイス制度開始後から積上げ計算を採用する場合



デモンストレーション

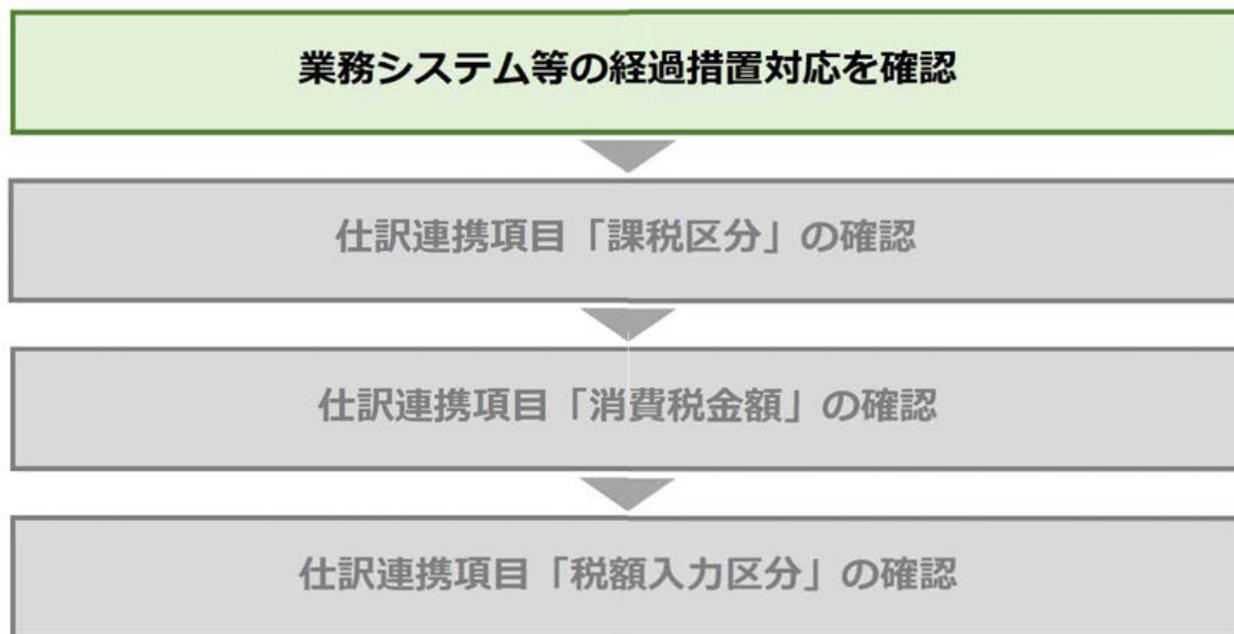
3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(3) 免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む場合



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(3) 免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む場合



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

① 業務システム等の経過措置対応を確認

仕入・経費など課税仕入れを管理するシステムを対象に、「免税事業者等からの課税仕入れに係る経過措置」に対応しているか、対応内容が読込ファイルに反映されているかご確認ください。

(ご参考) 経過措置への対応

- ・ 免税事業者等と適格請求書発行事業者との区分
- ・ 控除割合による仮払消費税等の計算

業務システム等で対応していない場合の修正手順は、

スライド50「FX4クラウドで対応」でご説明します。

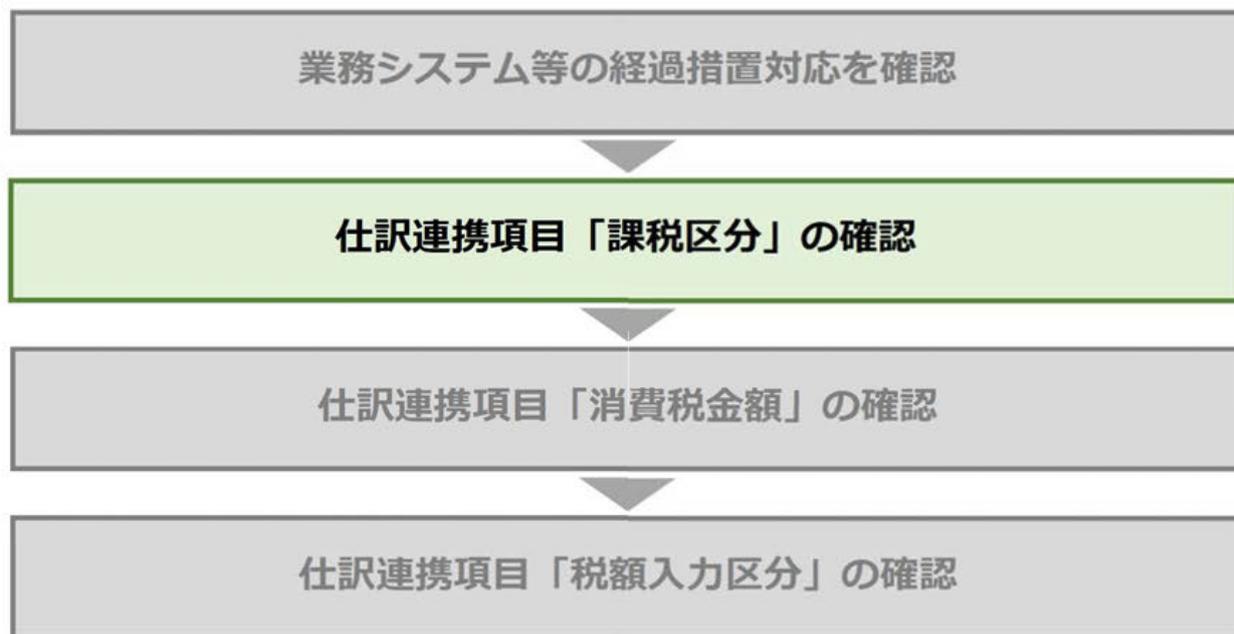
業務システム等で対応している場合の修正手順は、

スライド56「業務システム等で対応」でご説明します。

スライド48～49の確認後、該当するスライドをご覧ください。

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(3) 免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む場合



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

② 仕訳連携項目「課税区分」の確認

現在の仕訳連携項目「課税区分」の設定を確認し、
免税事業者等からの課税仕入れの課税区分は[52]等を設定してください。

1) 固定値が設定されている場合

適格請求書発行事業者と免税事業者等を判別できる情報を基に課税区分
[5]等と[52]等を設定してください。

※設定には、「条件に応じた値」または「コード変換表」を利用します

2) 条件に応じた値やコード変換表が設定されている場合

取引先名や取引種別など適格請求書発行事業者と免税事業者等の判別が
できる情報で課税区分を設定している場合は、内容を修正してください。

【会計事務所にご相談ください】

「免税事業者等の判別ができない情報で条件に応じた値やコード変換表を設定している」場合や
「免税事業者等を判別する情報がない」場合は、読込ファイルの変更や連携後の伝票訂正を検討
する必要があります。

この検討には、**会計・税務的な判断を要するため、顧問する会計事務所にご相談**ください。

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

F X 4クラウドで対応する場合は、「課税区分」「消費税金額」「税額入力区分」の設定変更が必要です。

F X 4クラウドで対応

<仕訳連携項目の設定>

- ・課税区分 [52]等
- ・消費税金額 0
- ・税額入力区分 1

↓

自動計算あり

取引金額 × 10(8) ÷ 110(108) × 控除割合
※端数は四捨五入

【例】
課税区分52、税率10%、税額入力区分1
取引金額1,100円 消費税金額0円

↓

取引金額1,100 消費税金額80

業務システム等で対応

<仕訳連携項目の設定>

- ・課税区分 [52]等
- ・消費税金額 業務システムで計算した値
- ・税額入力区分 1 または 0

↓

自動計算なし

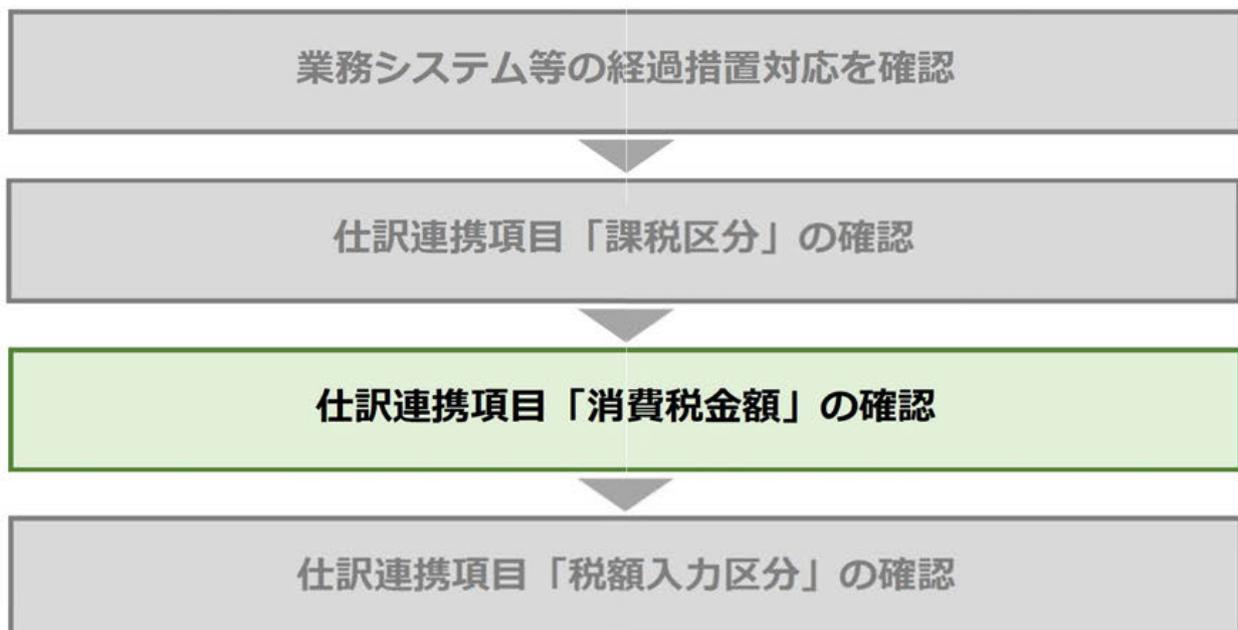
【例】
課税区分52、税率10%、税額入力区分0
取引金額1,100円 消費税金額80円

↓

取引金額1,100 消費税金額80

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(3) 免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む場合



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

③仕訳連携項目「消費税金額」の確認

現在の仕訳連携項目「消費税金額」の設定を確認し、**免税事業者等からの課税仕入れの消費税は0を設定**してください。

1) 読込元の列の値が設定されている場合

適格請求書発行事業者と免税事業者等を判別できる情報を基に、消費税金額0を設定してください。

※設定には、「条件に応じた値」を利用します

2) 計算した値が設定されている場合

上記1)と同様にご対応ください

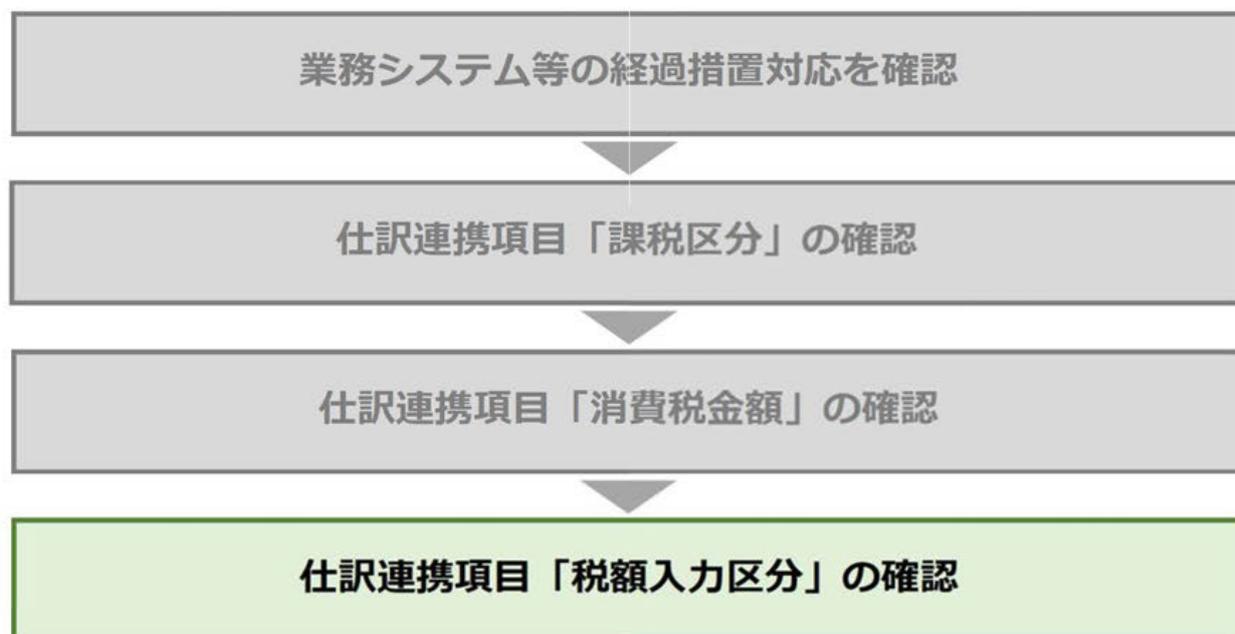
【会計事務所にご相談ください】

「免税事業者等を判別する情報が無い」場合、読込ファイルの変更や連携後の伝票訂正を検討する必要があります。

この検討には、**会計・税務的な判断を要するため、顧問する会計事務所にご相談**ください。

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(3) 免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む場合



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

④ 仕訳連携項目「税額入力区分」の確認

現在の仕訳連携項目「税額入力区分」の設定をご確認ください。

固定値で**1**としてください。

取引金額から控除割合により仮払消費税等を自動計算します。

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(3) 免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む場合



デモンストレーション

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

業務システム等に対応する場合は、
「課税区分」「税額入力区分」の設定変更が必要です。

FX4クラウドで対応

<仕訳連携項目の設定>

- ・課税区分 [52]等
- ・消費税金額 0
- ・税額入力区分 1

↓

自動計算あり

取引金額×10(8)÷110(108)×控除割合
 ※端数は四捨五入

【例】
 課税区分52、税率10%、税額入力区分1
 取引金額1,100円 消費税金額0円

↓

取引金額1,100 消費税金額80

業務システム等で対応

<仕訳連携項目の設定>

- ・課税区分 [52]等
- ・消費税金額 **業務システムで計算した値**
- ・税額入力区分 **1または0**

↓

自動計算なし

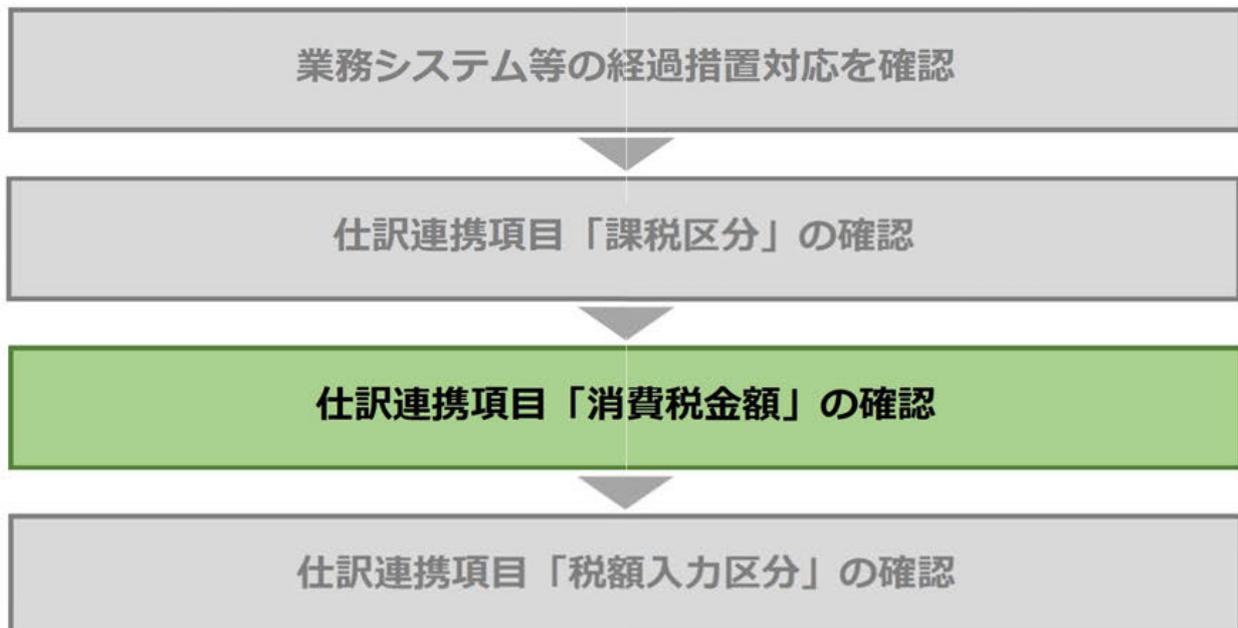
【例】
 課税区分52、税率10%、税額入力区分0
 取引金額1,100円 消費税金額80円

↓

取引金額1,100 消費税金額**80**

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(3) 免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む場合



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

③ 仕訳連携項目「消費税金額」の確認

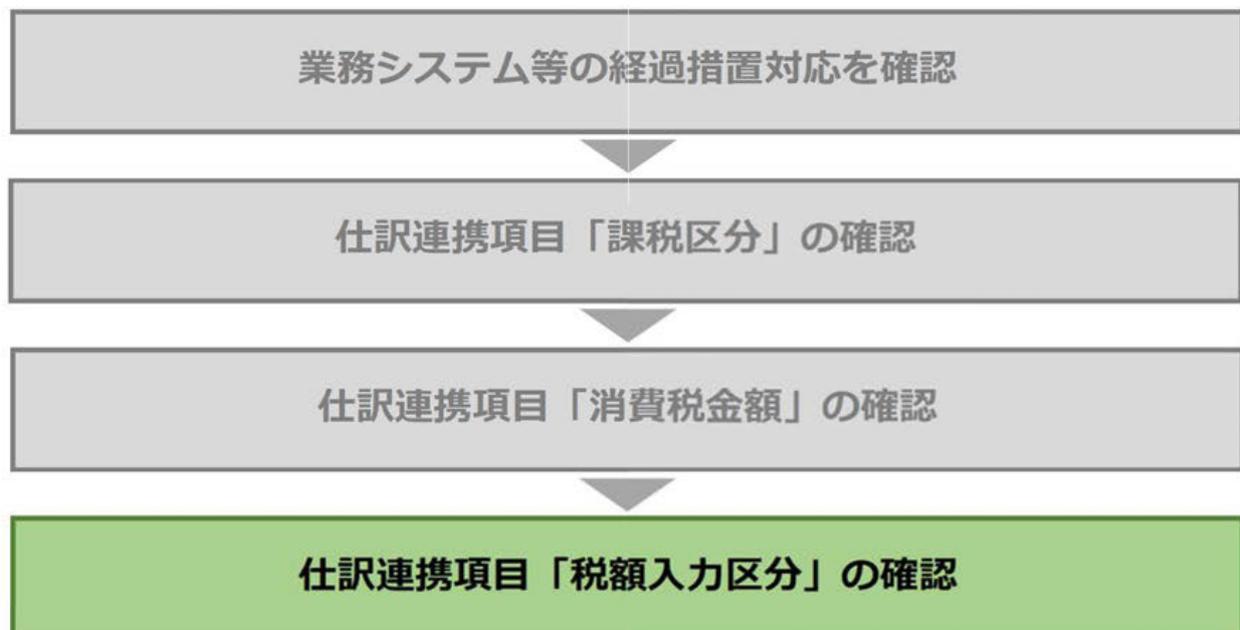
現在の仕訳連携項目「消費税金額」の設定を確認し、
業務システム等で計算した仮払消費税等を計上する設定に修正ください。

「読込元の列の値」で読込ファイルの消費税金額列を選択します。

項目	セットする値	項目名: 消費税金額
会社コード	固定値 027	<input checked="" type="radio"/> 読込元の列の値 <input type="radio"/> 固定値 <input type="radio"/> 文字列の羅列値 <input type="radio"/> 計算した値 <input type="radio"/> 条件に応じた値
システム番号	固定値 103	列14 内、消費税等
レコード番号	省略	
取引年月日	列1 月日	
伝票番号	省略	
経書番号	省略	
課税区分	固定値 5	
事業区分	省略	
借方勘定科目コード	列4 借方00	
借方補助科目コード	列5 借方補助	
貸方勘定科目コード	列8 貸方00	
貸方補助科目コード	列9 貸方補助	
小切手番号	省略	
プロジェクトコード	省略	
取引金額	列2 取引金額	
消費税額	列4 内、消費税等	
消費税率	固定値 1000	
軽減対象取引区分	省略	
取引先コード	列16 取引先00	
取引先名	省略	

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(3) 免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む場合



3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

④ 仕訳連携項目「税額入力区分」の確認

現在の仕訳連携項目「税額入力区分」の設定を確認し、固定値で0*を設定します。

※固定値で1とした場合でも、仕訳連携項目「消費税金額」に業務システム等で計算した仮払消費税等を参照させていけばF X 4クラウドでの自動計算は行いません。
ただし、業務システム等で消費税金額0円が出力された場合は、F X 4クラウドで自動計算されるため、業務システム等の仮払消費税等と異なることになります。
上記のようなケースを防ぐため、固定値で0を推奨します。

【例】免税事業者等からの買掛仕入（課税）

・ 税額入力区分が0の場合

課税区分	52
税込金額	11,000円
消費税金額	0円

仕入高/買掛金 11,000円 (0円)

・ 税額入力区分が1の場合

課税区分	52
税込金額	11,000円
消費税金額	0円

仕入高/買掛金 11,000円 (800円)

自動計算

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

(3) 免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む場合



デモンストレーション

3. 仕訳読込テンプレート設計機能の修正手順

ワンポイント

仕訳連携時に「事業者登録番号」を仕訳にセットすることで、取引先が**適格請求書発行事業者かどうか**を**チェック**します。

事業者登録番号を仕訳にセットする方法は、次の2とおりです。

(1) 業務システム等で事業者登録番号を管理している場合

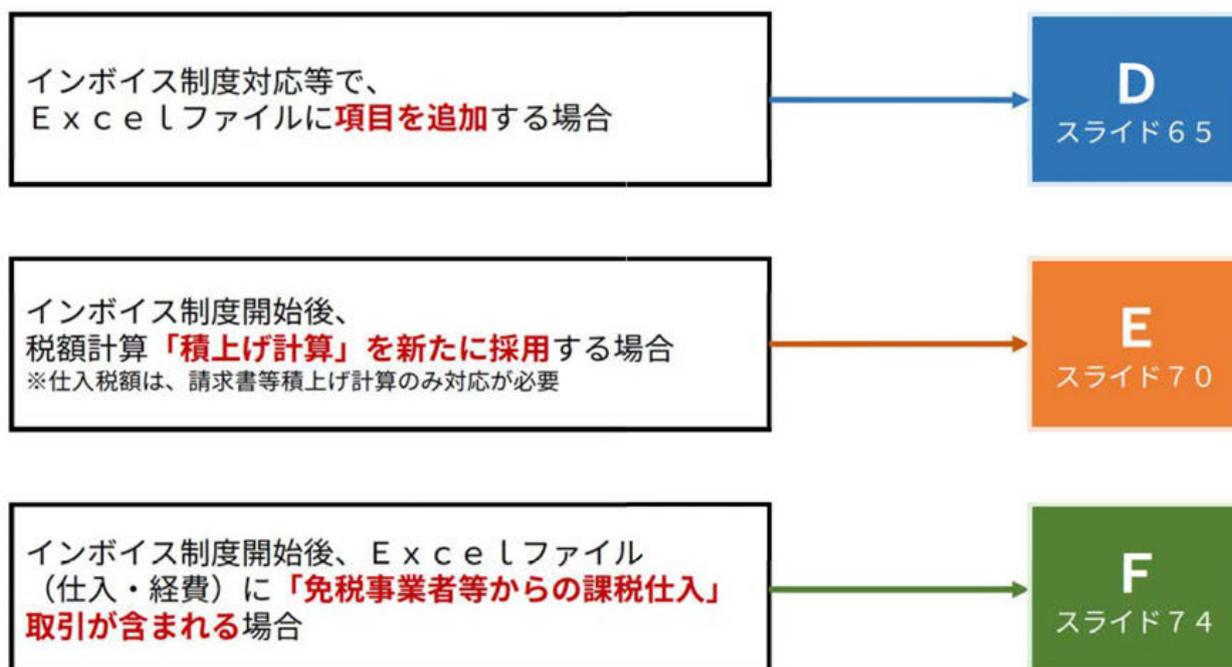
読込ファイルに事業者登録番号を出力し、仕訳連携項目「事業者登録番号」にセットする。

(2) 業務システム等で事業者登録番号を管理しない場合

F X 4クラウドの取引先マスターを整備し、仕訳連携項目「取引先コード」に読込ファイルの取引先コードをセットする。

※ F X 4クラウドとコード体系が異なる場合は、コード変換表を用います。

4. Excelからの仕訳計上機能の修正手順



例) 仕入データ(免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む)のExcelファイルレイアウトを変更する場合「**D**」と「**F**」の対応パターンをご確認ください。

4. Excelからの仕訳計上機能の修正手順

- (1) インボイス制度対応等で、Excelファイルに項目を追加する場合
当仕訳連携機能は、Excelから直接仕訳を計上する機能です。
そのため、「事業者登録番号」などの項目は列挿入で簡単に追加できます。

しかし、
項目の追加方法によっては **FX4クラウドの修正手順** は異なります。

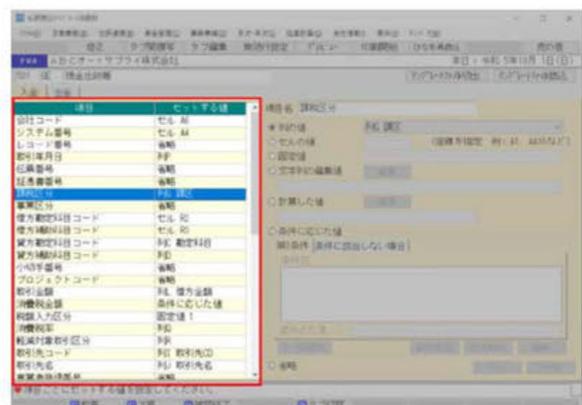
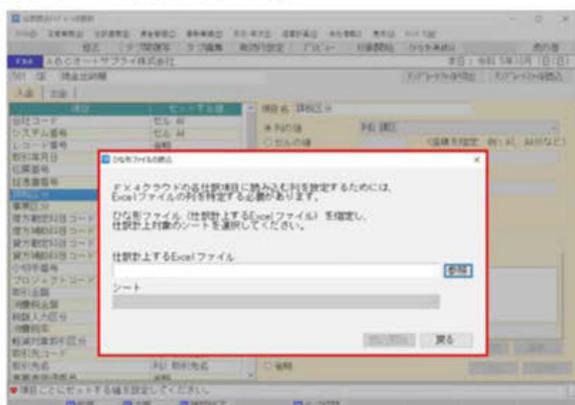
月	日	勘定科目 コード 補助	科目名	税率	課区	摘要	取引先CD	取引先	入金	出金	差引残高
10	10	11113 A	普通預金 常陽/宇都宮	0	5	小口補充	100001	北海道商事	50,000		100,00
10	10	20225	備品・消耗品費	10%	5	備品購入	100002	株式会社青		1,100	98,90
10	10	30219	水道光熱費	10%	5	12月分	100004	株式会社青		5,500	93,40
10	10	40223 C	接待交際費 其他の交際費	10%	5	手土産代	100002	株式会社青		10,800	82,60

4. Excelからの仕訳計上機能の修正手順

- (1) インボイス制度対応等で、Excelファイルに項目を追加する場合

- ① 途中に列を挿入する (列番号が変更になる項目あり)
- 1) FX4クラウドに登録されているレイアウトの再登録が必要
 - 2) **すべての仕訳連携項目**において読込テンプレートの設定が必要

修正に多くの時間を要するため、可能であれば途中に列を挿入することは避けてください。



4. Excelからの仕訳計上機能の修正手順

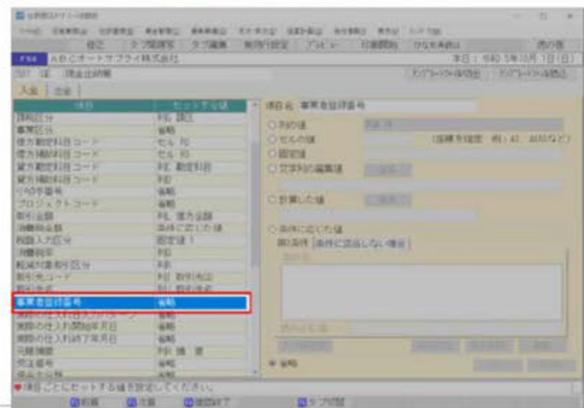
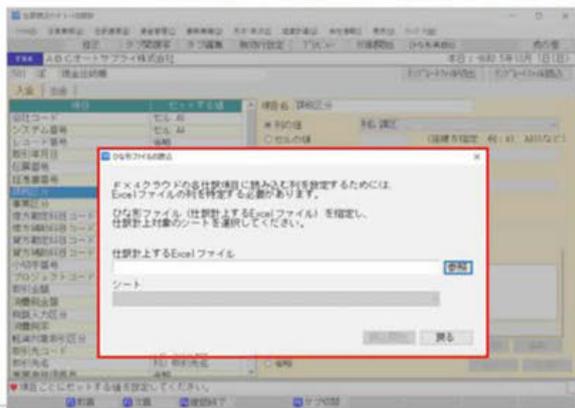
(1) インボイス制度対応等で、Excelファイルに項目を追加する場合

② 最後列に列を挿入（列番号が変更になる項目なし）

- 1) F X 4クラウドに登録されているレイアウトの再登録が必要
- 2) 追加した仕訳連携項目のみ 読込テンプレートの設定が必要



途中に列を挿入する項目追加に比べると、短時間で対応が可能です。そのため、**項目を追加する場合は、最後列への追加を推奨**します。



4. Excelからの仕訳計上機能の修正手順

(1) インボイス制度対応等で、Excelファイルに項目を追加する場合

③ 未利用の列を活用（列番号が変更になる項目なし）

追加した仕訳連携項目のみ 読込テンプレートの設定が必要



仕訳連携項目に**未利用の列を参照させるだけ**で対応が完了します。未利用の列がある場合は、この項目を利用してください。

科目	摘要	取引先CD	取引先	入金	出金	差引残高
0	小口補充	100001	宝来商事様	50,000		50,000
5	備品購入	100002	株式会社		1,100	1,100
5	12月分	100004	株式会社		5,500	5,500
5	手付					5,500

未利用列の列幅を拡げて追加項目に活用する

4. Excelからの仕訳計上機能の修正手順

(1) インボイス制度対応等で、Excelファイルに項目を追加する場合



デモンストレーション

4. Excelからの仕訳計上機能の修正手順

(2) インボイス制度開始後、税額計算「積上げ計算」を新たに採用する場合

※仕入税額は、請求書等積上げ計算のみ対応が必要

Excelファイルにインボイスに記載された消費税金額を入力してください。
また、仕訳連携項目「消費税金額」はExcelファイルの消費税金額列を参照する設定に変更してください。

仕入インボイス

(株)〇〇御中

¥

消費税額等
X X X 円

品名	税率	課税	単 位	数量	取引先CO	取引先名	入 金	出 金	消費税
手数料	0		小口補充	100001	北海道株式会社	30,000			
	10%	5	備品購入	100002	株式会社株式会社		1,500		100
	10%	5	12月分	100004	株式会社株式会社			500	500
他の応答費	5%		半土庫仕	100006	株式会社株式会社	10,800			900

消費税金額
列N 消費税

4. Excelからの仕訳計上機能の修正手順

(2) インボイス制度開始後、税額計算「積上げ計算」を新たに採用する場合



デモンストレーション

4. Excelからの仕訳計上機能の修正手順

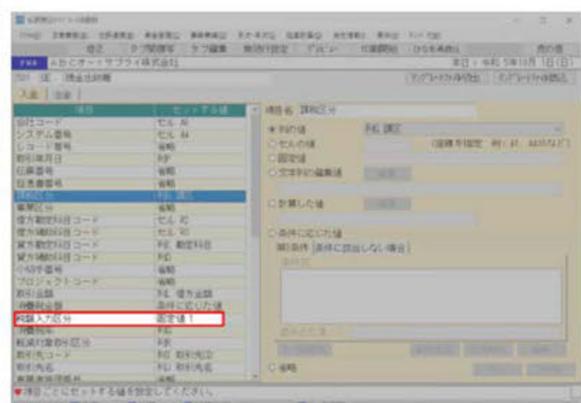
(3) インボイス制度開始後、Excelファイル（仕入・経費）に「免税事業者等からの課税仕入れ」取引が含まれる場合

当該取引については、次のとおり入力してください。

- ・取引金額：税込金額
- ・課税区分：[52]等
- ・消費税金額：0

また、仕訳連携項目「税額入力区分」は固定値で1としてください。

科目名	種別	課税	摘要	取引NO	取引先名	入金	出金	消費税
手元 支取 手数料	0	0	小口振込	000001	当座振替預金	50,000		
送料 品費	1	52	商品購入	000002	株式会社〇〇〇〇	1,000		0
燃料費	1	52	12月分	000004	株式会社〇〇〇〇	3,000		0
消費税 受取 消費税	0	0	手土産代	000003	株式会社〇〇〇〇		10,000	0



4. Excelからの仕訳計上機能の修正手順

- (3) インボイス制度開始後、Excelファイル（仕入・経費）に「免税事業者等からの課税仕入」取引が含まれる場合



デモンストレーション

5. TKC標準読込レイアウトの修正手順

- (1) 47列目（最後列）に「事業者登録番号」を追加
業務システム等に事業者登録番号が登録されている場合は、**47列目**に出力してください。

TYPE : 文字列

有効値 : 半角14文字の英数字

以下の両方の条件を満たす場合のみ有効とする。

・課税区分に[5][6][7]のいずれかをセットした場合

・消費税情報で、課税仕入れの仕訳チェック（~~免税~~制度）を行う設定した場合

説明 : 仕入先に該当する取引先の事業者登録番号をセットする。

- (2) インボイス制度開始後から積上げ計算を採用する場合

発行（受領）**インボイスに記載された消費税金額と同額の消費税金額を**
読込ファイルに出力してください。

5. TKC標準読込レイアウトの修正手順

【再確認】「免税事業者等からの課税仕入れ取引を含む」場合

「免税事業者等からの課税仕入れに係る経過措置」をFX4クラウドまたは業務システム等のどちらで対応するかによって設定内容が異なります。

FX4クラウドで対応

<仕訳連携項目の設定>

- ・課税区分 [52]等
- ・消費税金額 0
- ・税額入力区分 1

自動計算あり

取引金額×10(8)÷110(108)×控除割合
※端数は四捨五入

【例】

課税区分52、税率10%、税額入力区分1
取引金額1,100円 消費税金額0円

↓
取引金額1,100 消費税金額80

業務システム等で対応

<仕訳連携項目の設定>

- ・課税区分 [52]等
- ・消費税金額 業務システムで計算した値
- ・税額入力区分 1または0

自動計算なし

【例】

課税区分52、税率10%、税額入力区分0
取引金額1,100円 消費税金額80円

↓
取引金額1,100 消費税金額80

5. TKC標準読込レイアウトの修正手順

(3) 「免税事業者等からの課税仕入れ」取引の場合

当該取引については、次のとおり出力してください。

- ①課税区分 [52]等
- ②仮払消費税等を「FX4クラウド」で計算する場合
 - 1)消費税金額 0
 - 2)税額入力区分 1
- ③仮払消費税等を「業務システム等」で計算する場合
 - 1)消費税金額 業務システム等で計算した値
 - 2)税額入力区分 0

5. TKC標準読込レイアウトの修正手順

(3) 「免税事業者等からの課税仕入れ」取引の場合

【補足】 F X 4クラウドで経過措置に対応する場合の 部門明細部データ (.cls) 作成方法

①仕訳明細部 (.slp)

- 1)課税区分 [52]等
- 2)取引金額 税込金額
- 3)消費税金額 0
- 4)税額入力区分 1

②部門明細部 (.cls)

部門ごとの金額は、**税込金額**をご入力ください。
税込金額から行単位（部門）で**税抜金額を自動計算**します。
※端数が発生した場合は、最終行（部門）に計上します

END

第3部

証憑保存機能の6月版レベルアップ

セミナー資料

2. レベルアップ内容 (2023年06月版)

証憑保存機能の活用により、

インボイス制度後の手間が軽減され**経理処理がラク**になります。

(1) メニュー画面の改訂

入り口(メニュー)が「売上関係の書類」「仕入・経費関係の書類」「その他の書類」に分かれたことで、書類の分類/種類が選択し易くなりました。

(2) 「事業者登録番号」を読取り、仕訳に連携

OCRで読み取った「事業者登録番号」から取引先名を検索して表示します。
また、「事業者登録番号」を仕訳に連携し、取引先マスターを更新します。

(3) 税率別に元帳摘要を入力、仕訳に連携

証憑保存機能側で税率別に元帳摘要を入力できるようになりました。
入力した元帳摘要は、F X 4クラウドに計上する仕訳に転記します。

(4) その他

- ①証憑保存機能で入力した「取引年月日」を仕訳の「年月日」にセットできます。
- ②「事業者登録番号」の有効性や取引金額等に基づき、課税区分を自動判定します。
- ③ペポル仕入インボイスを受信※できます。

※ペポルIDの登録が必要です。

©TKC 2023

3

2. レベルアップ内容 (2023年06月版)

仕入インボイスの「事業者登録番号」をOCR読み取り
= **適格請求書発行事業者かどうかのチェックが不要に**

事業者登録番号や元帳摘要を含め、読み取り内容から仕訳計上
= **証憑を見ながら仕訳の手入力(課税区分の判断)が不要に**

計上仕訳と証憑を横並びに表示
= **手元に証憑(紙や電子取引データ)の用意が不要に**

仕訳に貼付された証憑を見ながら最終チェック

証憑保存機能の活用により、

経理担当者の業務を**仕訳の入力**から**仕訳の確認**に効率化します

©TKC 2023

4

2. レベルアップ内容 (2023年06月版)



証憑保存機能でインボイス制度対応をもっとラクに

3. メニュー画面の改訂

4. 「記録項目」の追加

5. 「仕訳連携」機能の強化

3. メニュー画面の改訂



証憑保存機能でインボイス制度対応をもっとラクに

3. メニュー画面の改訂

4. 「記録項目」の追加

5. 「仕訳連携」機能の強化

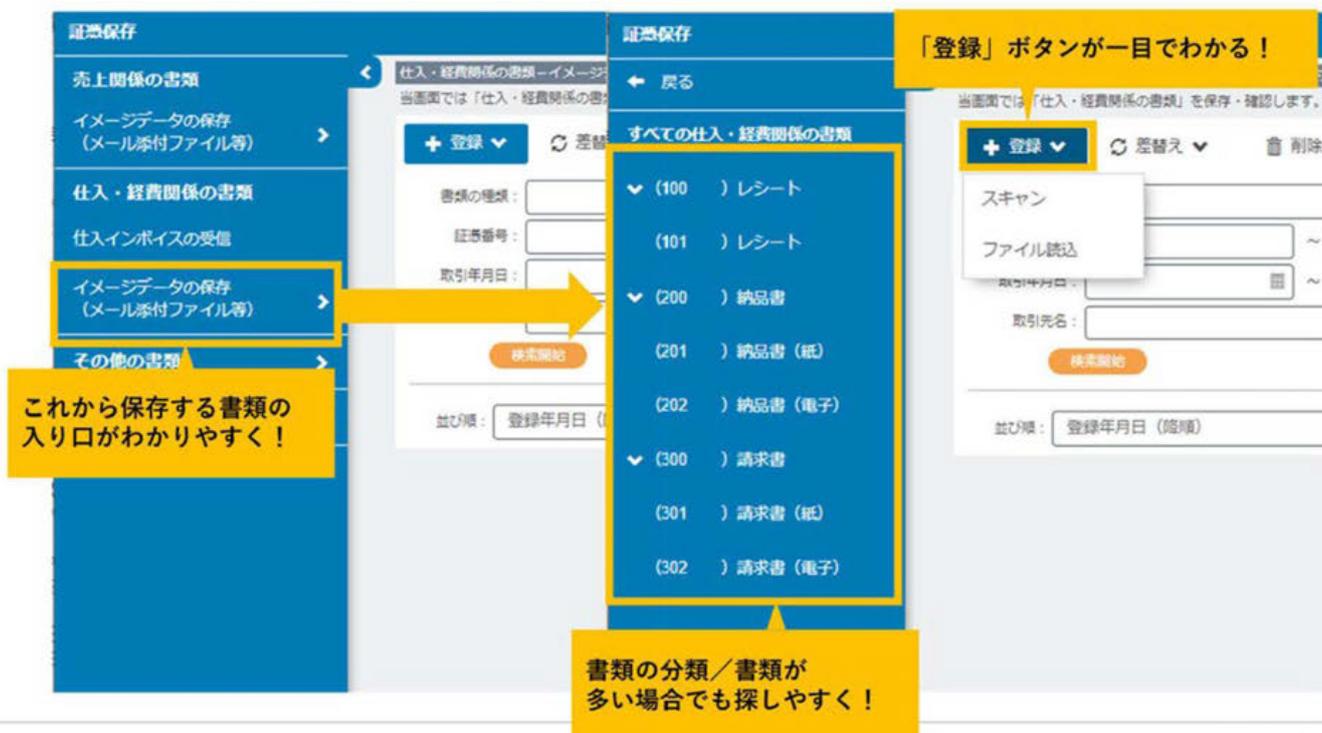
3. メニュー画面の改訂

Before



3. メニュー画面の改訂

After



3. メニュー画面の改訂

書類の取引内容に応じた「区分」を新たに追加し、その「区分」ごとにメニューを用意しました。

メニュー区分	保存する書類 (例)	メニュー	説明
売上関係の書類	自社が発行した納品書・請求書の控え	イメージデータの保存 (メール添付ファイル等)	書類の分類(区分)が「売上関係の書類」かつイメージデータである書類の登録・閲覧などを行えます。
仕入・経費関係の書類	仕入：納品書、請求書、領収書等 経費：レシート、領収書等	仕入インボイスの受信	受信した仕入インボイス(ペポルインボイス)の確認を行えます。
		イメージデータの保存 (メール添付ファイル等)	書類の分類(区分)が「仕入・経費関係の書類」かつイメージデータである書類の登録・閲覧などを行えます。
その他の書類	上記に該当しない書類(契約書等)	-	書類の分類(区分)が「その他の書類」かつイメージデータである書類の登録・閲覧などを行えます。
全種類	-	-	上記3つの区分の内容を確認できるメニューです。 ※当メニューは閲覧のみです。 ※スキャナ保存、電子取引データ保存は行えません。

3. メニュー画面の改訂

すでに登録されている「請求書」「領収書」「レシート」の文字列が含まれる書類の分類は、[仕入・経費関係の書類]へ自動的に分類※されています。

The screenshot illustrates the updated menu structure and document classification. On the left, the 'メニュー区分' (Menu Category) is shown with options like '売上関係の書類' (Sales-related documents) and '仕入・経費関係の書類' (Purchase/expense-related documents). The '仕入・経費関係の書類' category is expanded, showing a list of document types with their classification codes: (100) レシート, (101) レシート, (300) 請求書, (301) 請求書 (紙), and (302) 請求書 (電子). A yellow arrow points from the 'イメージデータの保存 (メール添付ファイル等)' menu item to this list. The main area shows a document list with a dropdown menu for classification, currently set to '(302) 請求書 (電子)'. The document details show a transaction date of 2022年10月16日 and a transaction amount of 104円.

3. メニュー画面の改訂

それ以外の書類は、[その他の書類] に分類します。

[その他の書類] の中に [売上関係の書類] や [仕入・経費関係の書類] に該当する書類が表示されている場合は、「書類の区分」を変更します。

3. メニュー画面の改訂

「書類の区分」の変更手順



デモンストレーション

3. メニュー画面の改訂

〔仕入・経費関係の書類〕に設定した書類は、事業者登録番号をOCRで読み取ります。事業者登録番号のチェック機能や、仕訳連携にも影響するため、必ず設定を見直してください。

The screenshot displays the TKC system's menu and a sample invoice. The menu on the left is titled 'すべての仕入・経費関係の書類' and lists various document types. The main area shows a '請求書' (Invoice) for '株式会社TKC食品' with a total amount of ¥104,500. The right sidebar contains metadata for the document, including the business registration number (事業者登録番号) T3010001023392, which is highlighted in yellow.

日付	品名	数量	税率	単価	金額	税引
10月1日	商品A	1	10%	5,000	5,000	
10月5日	商品B	2	10%	20,000	40,000	
10月7日	商品C	1	10%	50,000	50,000	

※ [売上関係の書類] [その他の書類] は、事業者登録番号を読み取りません。

©TKC 2023

13

4. 「記録項目」の追加



証憑保存機能でインボイス制度対応をもっとラクに

3. メニュー画面の改訂

4. 「記録項目」の追加

5. 「仕訳連携」機能の強化

4. 「記録項目」の追加

記録項目に「事業者登録番号」と「税率別の元帳摘要」を追加しました。

① 事業者登録番号の読み取り

② 税率別に元帳摘要を入力

4. 「記録項目」の追加

(1) 事業者登録番号の追加

〔仕入・経費関係の書類〕に区分した書類の事業者登録番号を読み取り、事業者登録番号をセットします。

4. 「記録項目」の追加

(1) 事業者登録番号の追加

読み取りした事業者登録番号をTKCデータセンターに構築した独自のデータベースと照らし合わせます。



4. 「記録項目」の追加

(1) 事業者登録番号の追加

国税庁公表サイトの「氏名または名称」を「取引先名」にセットします。この時点で、**取引先が適格請求書発行事業者かどうか確認**できます。

証憑保存

会社 ユーザー システム設定 システムログ

戻る

戻る

すべての仕入・経費明細の分類

- (100) レシート
- (101) レシート
- (200) 納品書
 - (201) 納品書 (紙)
 - (202) 納品書 (電子)
- (300) 請求書
 - (301) 請求書 (紙)
 - (302) 請求書 (電子)
- (500) 領収書
 - (501) 領収書 (紙)
 - (502) 領収書 (電子)

管理番号 修正

保存 印刷

取引内容の編集

請求書の種類 (302) 請求書 (電子)

請求書の分類 (300) 請求書

取引年月日 2022年10月16日

電話番号 0332600541

事業登録番号

取引先名 株式会社TKC食品

904円

消費税額 9円

品名

請求書

2023年11月30日

株式会社TKC食品 御中

株式会社TKC食品

下記のとおりご請求申し上げます。

日付	品名	数量	単価	金額	合計
10月1日	商品A	1	5,000	5,000	
10月5日	商品B	2	20,000	40,000	
10月10日	商品C	3	10,000	30,000	75,000

※取引内容の編集から手入力することもできます。

4. 「記録項目」の追加

(2) 税率別の元帳摘要の追加

税率別に元帳摘要を入力できます。

取引年月日: 2023年12月16日
 電話番号: 0295482111
 事業者登録番号: T 5060001002844
 取引先名: T K C まーと
 取引金額: 12,000
 消費税等: 1,000
 10%対象金額(税込み): 5,400
 (内、消費税等 10%): 400
 10%対象元帳摘要: 雑貨購入
 軽8%対象金額(税込み): 6,600
 (内、消費税等 軽8%): 600
 軽8%対象元帳摘要: 食品購入

4. 「記録項目」の追加

(2) 税率別の元帳摘要の追加

税率別に入力した元帳摘要は、仕訳の元帳摘要にそれぞれ転記します。元帳摘要を税率別に入力するための設定を確認してください。

仕訳入力画面

年月日: 2023/12/26 伝票番号: 1 証憑番号: 46

行	借方				貸方				実際の仕入れ年月日	
	勘定科目	部門	税	取引金額	勘定科目	部門	税	取引金額	取引先名(仕入先の氏名又は名称)	元帳摘要(仕入れ資産等の総称)
	勘定科目名		業	(内、消費税等) 税抜き金額	勘定科目名		業	(内、消費税等) 税抜き金額		
1	6115	000 共通部門	5	5,400	2114		0	5,400	2023/12/16 ~	000386 T K C まーと
	発送配達費		10%A	491	未払金					雑貨購入
2	6117	000 共通部門	5	6,600	2114		0	6,600	2023/12/16 ~	000386 T K C まーと
	会議費		軽8%A	489	未払金					食品購入
				6,111						

4. 「記録項目」の追加

「税率別の元帳摘要」の入力設定



デモンストレーション

4. 「記録項目」の追加

(2) 税率別の元帳摘要の追加

また、取引金額や消費税等を手入力する手間や入力誤りを削減するため、**10%対象金額および消費税等を自動計算**します。

取引先名 TKCまーと		
取引金額	12,000	取引金額 (合計)
消費税等	1,000	消費税等 (合計)
10%対象金額(税込み)	5,400	10%対象金額 (税込み)
(内、消費税等 10%)	400	10%内、消費税等
10%対象元帳摘要 雑貨購入		
軽8%対象金額(税込み)	6,600	軽8%対象金額 (税込み)
(内、消費税等 軽8%)	600	軽8%内、消費税等

- 10%対象金額 (税込み)
= 取引金額 (合計) - 軽8%等の対象金額
- 10%内、消費税等
= 消費税等 (合計) - 軽8%等の消費税等

5. 「仕訳連携」機能の強化



証憑保存機能でインボイス制度対応をもっとラクに

3. メニュー画面の改訂

4. 「記録項目」の追加

5. 「仕訳連携」機能の強化

©TKC 2023

5. 「仕訳連携」機能の強化

(1) 証憑保存機能で読み取った（入力した）「事業者登録番号」の連携

※読み取った事業者登録番号を取引先マスターに転記・自動更新

(2) 証憑保存機能に入力した取引年月日を仕訳の年月日にセット

(3) 税率別の「元帳摘要」の連携

(4) 仕入取引の課税区分を自動でセット（経過措置への対応）

1	勘定科目名	部門	税	取引金額 (円)	勘定科目名	部門	税	取引金額 (円)	実際の仕入年月日 (取引先名(仕入先の会社名又は名称) 元帳摘要(仕入/確定簿の種別))
1	仕込配送料	000 共通部門	5	5,400	2114 手数料		0	5,400	2023/12/16 000386 TKCマート 荷運購入
			10%A	4,500				6,900	2023/12/16 000386 TKCマート 荷運購入
2	倉庫費	000 共通部門	5	6,000	2114 手数料		0	6,000	2023/12/16 000386 TKCマート 倉庫購入
			10%A	480				6,480	

©TKC 2023

24

5. 「仕訳連携」機能の強化

※読み取った事業者登録番号を取引先マスターに転記・自動更新
 新規の取引先の場合、書類から読み取った事業者登録番号と取引先名を取引先マスターに複写できるため、取引先を手入力する手間を削減できます。

取引先マスター未登録

年月日	部門	借方科目	貸方科目	税率	小切手番号	実際の仕入れ年月日	収支
伝番	課税	科目名	科目名			取引先名 (仕入先の氏名又は名称)	
証番	事業	口座名	口座名			元帳摘要 (仕入れ資産等の総称)	
10	1			10.0%		株式会社TKC	
金額							12,960

5. 「仕訳連携」機能の強化

(2) 証憑保存機能に入力した取引年月日を仕訳の年月日にセット
 証憑保存機能に入力した取引年月日を仕訳の「年月日」に初期表示します。
 「取引年月日」を仕訳の日付に初期表示※するためには、F X 4クラウドの「証憑からの仕訳計上準備」メニューで変更します。

証憑の取引内容の補正画面

仕訳入力画面

行	勘定科目	部門	税	取引金額	勘定科目
	勘定科目名		業	(内、消費税等)	勘定科目名
	口座名		税率	税抜き金額	口座名
1	6115	000 共通部門	5	5,400	2114
	発送配達費			491	未払金
			10%A	4,909	
2	6117	000 共通部門	5	6,600	2114
	会議費			489	未払金
			軽8%A	6,111	

※設定変更前は、「本日の日付」(最終処理年月日)が初期表示されています。

5. 「仕訳連携」機能の強化

仕訳の日付（初期表示）を「取引年月日」に変更



デモンストレーション

5. 「仕訳連携」機能の強化

(3) 税率別の「元帳摘要」の連携

税率別に入力した元帳摘要を仕訳の元帳摘要に転記※できるため、1つの書類に複数の税率が含まれる取引の仕訳入力がラクになります。

仕訳入力画面

年月日 2023/12/26 伝票番号 1 証憑番号 46										
行	借方				貸方				実際の仕入れ年月日	
	勘定科目	部門	税	取引金額	勘定科目	部門	税	取引金額	取引先名(仕入先の氏名又は名称)	
	勘定科目名		業	(内、消費税等)	勘定科目名		業	(内、消費税等)	元帳摘要(仕入れ資産等の総称)	
1	6115	000 共通部門	5	5,400	2114		0	5,400	2023/12/16	~
			税率	税抜き金額			税率	税抜き金額	元帳摘要(仕入れ資産等の総称)	
	発送配達費			491	未払金				000386 TKCまーと	雑貨購入
			10%A	4,909						
2	6117	000 共通部門	5	6,600	2114		0	6,600	2023/12/16	~
			税率	税抜き金額			税率	税抜き金額	元帳摘要(仕入れ資産等の総称)	
	会議費			489	未払金				000386 TKCまーと	食品購入
			軽8%A	6,111						

(内、消費税等 10%)	400
10%対象元帳摘要	
雑貨購入	
軽8%対象金額(税込)	6,600
(内、消費税等 軽8%)	600
軽8%対象元帳摘要	
食品購入	

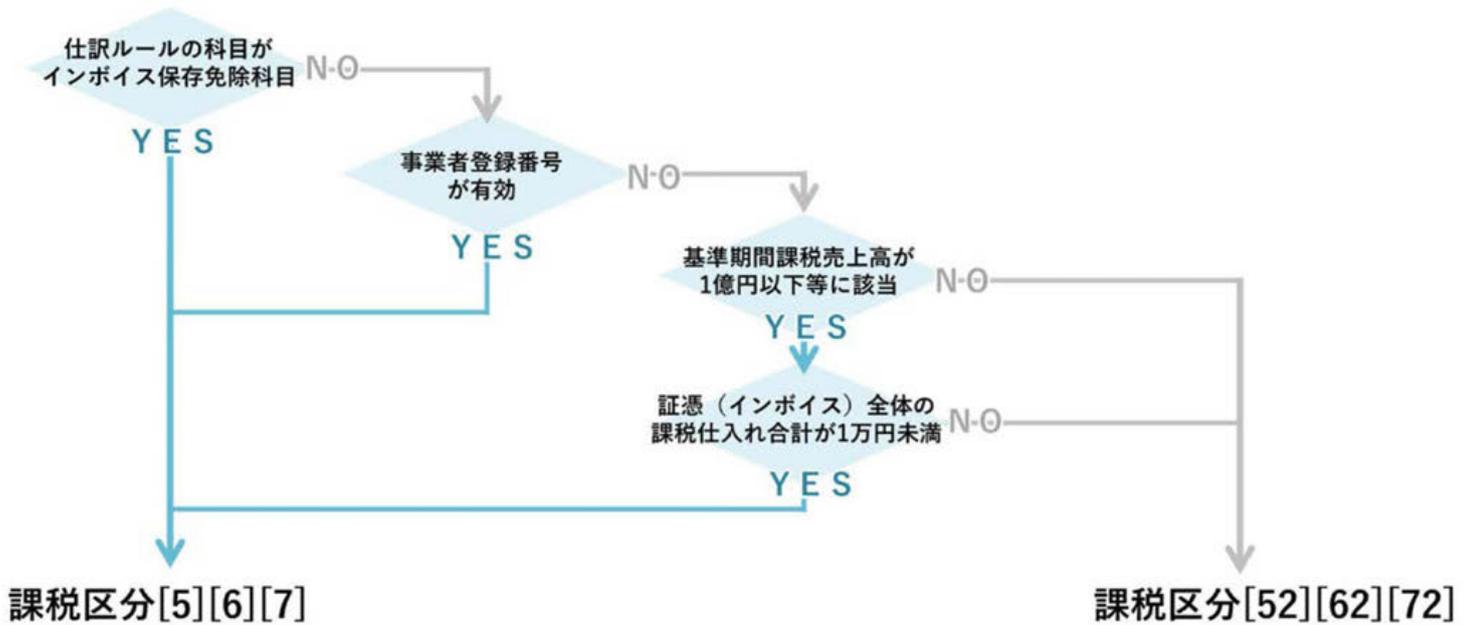
手修正 OK

※証憑保存機能で入力した「元帳摘要」は、仕訳入力時に修正が可能です

5. 「仕訳連携」機能の強化

(4) 仕入取引の課税区分を自動でセット（経過措置への対応）

「事業者登録番号の有効性」や「取引金額」などで課税区分を自動判定（セット）するので、経理担当者の確認作業の負担を軽減します。



5. 「仕訳連携」機能の強化

(4) 仕入取引の課税区分を自動でセット（経過措置への対応）

例えば、免税事業者等から取引金額1万円より大きい書類を受け取った場合は、課税区分[52]等を自動でセットします。

適格請求書発行事業者登録番号の記載なし、取引金額1万円以上

仕訳計上	証憑の情報				計上する仕訳					
	月日	取引先名	税率	取引金額	月日	証番	税率	借方科目	貸方科目	取引先名
要確認	10.1	TKC商店	10.0%	12,960	10.1	386 52	10.0%	消耗品費	未払金	TKC商店
要確認	10.1	TKC商店	10.0%	9,720	10.1	387 5	10.0%	消耗品費	未払金	TKC商店

課税区分 52 (免税事業者等からの課税仕入れ (課税売上げ))

☑️ 行を選択し補正後に [F4 可仕訳計上] をクリックしてください。既に仕訳入力済みの場合は[F9 計上対象外] をクリックしてください。



レベルアップした「証憑保存機能」の活用により、
インボイス制度後の手間が軽減され、**経理処理がラク**になります。



- 受領した請求書や領収書を簡単操作取込
 電子取引データ：ドラッグ＆ドロップ
 紙：スキャンorスマホ撮影

- 適格請求書発行事業者かどうか確認
- 事業者登録番を取引先マスターに自動更新
- 税率別に元帳摘要を入力
- 課税区分の自動判定（経過措置への対応）
- 電子帳簿保存法に完全準拠した保存

- F X 4クラウドに仕訳を計上
- 計上した仕訳と証憑を横並びで表示

「証憑保存機能」は、
 経理担当者の業務を**仕訳の入力**から**仕訳の確認**に効率化します。

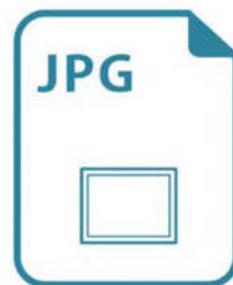
(ご案内) 電子取引データ保存義務化対応



証憑保存機能で電子取引データ保存義務化対応も安心



令和6年1月 電子取引データ保存義務化



(ご案内) 電子取引データ保存義務化対応



証憑保存機能で電子取引データ保存義務化対応も安心

○ 令和5年6月 TKCシステムインボイス制度対応

○ 令和5年7月

3. メニュー画面の改訂

○ 令和5年8月

4. 「記録項目」の追加

○ 令和5年9月

5. 「仕訳連携」機能の強化

● 令和5年10月1日
インボイス制度開始

○ 令和5年11月

○ 令和5年12月

● 令和6年1月1日
電子取引データ保存義務化

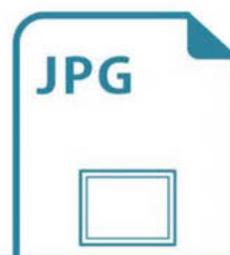
(ご案内) 電子取引データ保存義務化対応



証憑保存機能で電子取引データ保存義務化対応も安心



令和6年1月 電子取引データ保存義務化



今から「証憑保存機能」を利用することで、
令和6年1月から義務化される**電子取引データ保存への対応も安心**です。

6. インボイス・マネジャー (FX4クラウド)

証憑保存機能+ペポルインボイス送信機能



インボイス・マネジャー (FX4クラウド)

6. インボイス・マネジャー（FX4クラウド）

証憑保存機能との違いは？

FX4クラウドを利用していない担当者でも証憑保存機能（書類を読取り）を利用できます。

ペポルインボイス送信機能とは？

TKCシステム以外の販売管理システムから売上データを連携し、ペポルインボイスを発行できます。

そのため、「複数の販売管理システムを利用しており、統一した形式でペポルインボイスを発行したい」というニーズに対応します。

請求書（インボイス）の作成はできません。

FX4クラウドをご利用のお客様は、証憑保存機能（標準機能）に代えて「インボイス・マネジャー（FX4クラウド）※」を利用いただけます。

※「インボイス・マネジャー（FX4クラウド）」は、有償オプションです

©TKC 2023

39

6. インボイス・マネジャー（FX4クラウド）

2023年9月にインボイス・マネジャー（FX4クラウド）は、次のレベルアップを実施します。

-
- 令和5年6月
 - 令和5年7月
 - 令和5年8月
 - 令和5年9月
 - 証憑保存機能6月版の機能搭載
 - 仕訳生成機能の搭載
 - 証憑保存・売上インボイス送信に係る承認（多段階）機能の搭載
 - ペポル仕入明細書への対応
 - Webサイト上の請求書データを印刷感覚で保存する機能の搭載
 - マスター読込機能の拡充（ユーザ、書類の分類、書類の種類）
 - 令和5年10月1日
インボイス制度開始

©TKC 2023

40

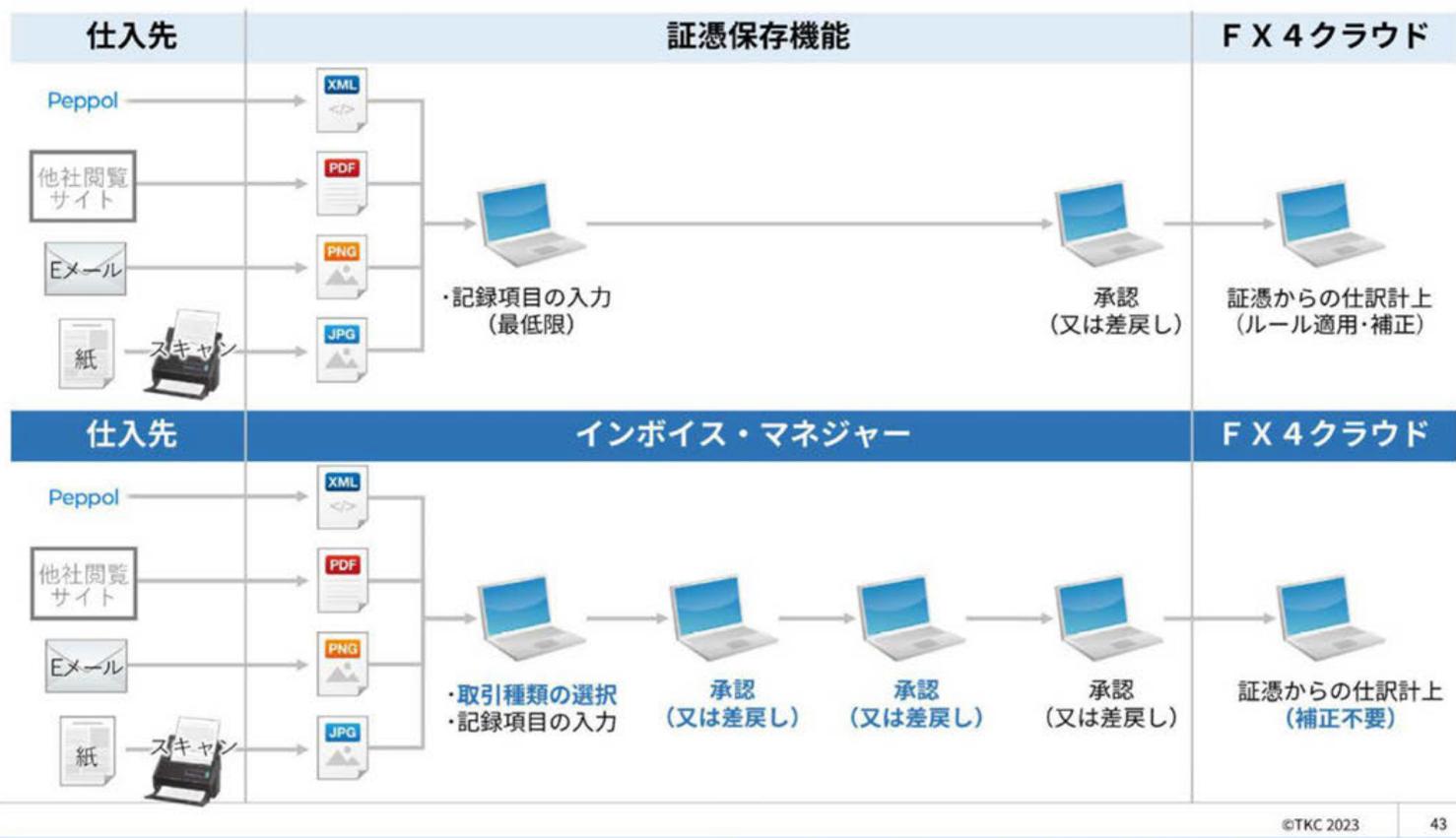
6. インボイス・マネジャー（FX4クラウド）

搭載（予定）機能	行	2023年6月		2023年9月	
		証憑保存	インボイス・マネジャー	証憑保存	インボイス・マネジャー
スキャナ保存	1	○	○	○	○
電子取引データ保存	2	○	○	○	○
書類の種類/read	3	○		○	○
事業者登録番号の読取	4	○		○	○
事業者登録番号の仕訳連携	5	○		○	○
元帳摘要の仕訳セット	6	○		○	○
売上インボイスの送信	7		○		○
仕入インボイスの受信	8	○	○	○	○
仕入明細書(自社発行)の送信	9				○
仕入明細書(他社発行)の受信	10			○	○
印刷感覚で保存できる機能	11			○	○
承認・確定機能	12			○（1段階）	○（多段階）
詳細な仕訳生成単位	13				○

6. インボイス・マネジャー（FX4クラウド）

項目	行	2023年9月	
		証憑保存機能	インボイス・マネジャー
売上インボイスの送信	1	×	○ 販売管理システムデータを変換し、 ペポルインボイスとして送信
仕入インボイスの受信	2	○	○
仕入明細書（自社発行）の送信	3	×	○ （データ変換を含む）
仕入明細書（他社発行）の受信	4	○	○
印刷感覚で保存できる機能	5	○	○
承認・確定機能	6	○ 1段階	○ 多段階
仕訳生成単位	7	○ 証憑別・税率別 （手作業で追加可能）	○ インボイスの明細別 （左記と同じ仕訳計上方法も選択可）

6. インボイス・マネジャー（FX4クラウド）



6. インボイス・マネジャー（FX4クラウド）

証憑保存機能+ペポルインボイス送信機能



インボイス・マネジャー（FX4クラウド）

インボイス・マネジャーは、「証憑保存機能」からの切り替えが可能です。
 そのため、9月のレベルアップまでに「証憑保存機能」でインボイスの受取・保存体制を構築いただくことをお勧めします。

6. インボイス・マネジャー（FX4クラウド）

ペポルインボイスについては、

経理業務 業務効率化セミナー2023春 第3部※をご視聴ください。
PDF等の電子インボイスとの違い、販売管理システムから売上データを連携し、ペポルインボイスを発行する流れなどを確認いただけます。



※戦略経営者システム>セミナー情報>過去開催セミナー>2023春 第3部

END

第4部
FX4クラウドの便利な機能

セミナー資料

第4部

FX4クラウドの便利な機能

■内容

1. FX4クラウドの機能一覧
2. 「経営者の経営判断」を支援
3. 「経理担当者の経理業務効率化」を支援
4. 「会社の内部統制構築」を支援
(ご案内) TKCシステムまいサポート

第4部 FX4クラウドの便利な機能

1. FX4クラウドの機能一覧



FX4クラウドは、
「経営者の経営判断」 「経理担当者の業務効率化」 「会社の内部統制構築」
 を支援します。

2. 「経営者の経営判断」を支援



2. 「経営者の経営判断」を支援

(1) 業績管理機能



月次決算、業績集計、
部門別管理

FX4クラウドは、「目標利益に対する必要な打ち手」「売上高の増減に関わらず一定額が必要となる費用」「経営資源を投下する部門」など、**経営者の経営判断をご支援**します。

・365日変動損益計算書

通常の損益計算書と異なり、経営者の感覚にフィットする粗利益（限界利益）を一目で確認できます。また、目標売上高、目標経常利益を入力することで、期末までに必要な売上高、戦略的に活用できる金額、圧縮が必要な固定費を確認できます。

・部門別業績管理

会社全体の数字だけでなく部門単位に確認することで、部門ごとの売上高、限界利益、固定費、経常利益等の状況をタイムリーかつランク形式で確認できます。

・得意先順位月報

売上金額の得意先順位表を把握できます。移動合計が直近2か月連続して減少した得意先を注意顧客として自動抽出します。部門長による利用を想定し、担当部門で最も売上が多かった得意先、取引が大幅に減少した得意先などを把握できます。



2. 「経営者の経営判断」を支援

(2) マネジメントレポート設計ツール

Excelに特有の関数をセットするだけで、FX4クラウドの最新データを取得することができます。さらに、Excel標準の機能も使えるため、**自社オリジナルの管理帳表（経営会議資料など）を作成**することができます。

・最新データの取得

Excelの操作だけで常にFX4クラウドの最新の実績や予算などを取得できるため、帳表作成時の工数や集計ミスなどのリスクを低減させることができます。

・FX4クラウドの起動は不要

特有の関数がセットされたExcelファイルは、FX4クラウドを起動することなく最新の実績や予算などを取得できます。

・報告用ファイルの作成

MR設計ツールを使ったExcelファイルは、FX4クラウドを利用許可されている方のみ閲覧できます。

FX4クラウドを利用されていない方には、特有の関数を除いた報告用ファイルを提供することで閲覧ができます。



2. 「経営者の経営判断」を支援

(3) スマート業績確認機能

経営者の皆様に**最新の全社業績を、お持ちのスマートフォンやタブレットにお届け**します。

・全社の業績が一瞬でわかる

速報性の高い情報を中心に、経営者が気になる数字をダッシュボード表示します。時間がない場合は、これだけを見れば業績の概要が把握できます。気になる数字をタップすれば、詳細も確認できます。

・キャッシュフローが見える

口座別の残高、さらに、各口座の取引明細まで確認できます。外出先でも預金の入出金を確認できるため、取引先への連絡が必要な場合など、スピーディに対応できます。

・当期決算の先行き管理ができる

売上高・限界利益・経常利益の実績など、経営者の知りたい数字を、「累計残高」「移動合計」「各月発生」の各グラフで確認できます。さらに「このままいったらどうなるか」という予測値と計画値を比較できます。

3. 「経理担当者の経理業務効率化」を支援



3. 「経理担当者の経理業務効率化」を支援

(1) 銀行信販データ受信機能

複数の金融機関（銀行や信販会社）からインターネットを利用して取引データを自動受信できます。

さらに、その取引データをもとに仕訳をかんたんに計上できます。

・仕訳ルールの学習

仕訳計上時に補正した内容をシステムに学習します。

次回以降、同種の取引データを読み込んだ際には、学習した仕訳が表示され入力を支援します。

・仕訳の二重計上防止

口座への預入、引出、振替取引など受信した取引データとシステムに計上済みの仕訳を突合し、仕訳の重複を自動チェックします。

・銀行口座の実際残高と帳簿残高の検証

銀行口座の実際の残高と、受信した取引データを全て計上した場合の帳簿残高が一致することを一目で確認できるので、二重仕訳を除外できます。



銀行預金・クレジットカードの明細データの自動受信

3. 「経理担当者の経理業務効率化」を支援



業務システムのデータ
(CSV等)から仕訳計上

(2) 仕訳読込テンプレートの設計機能

他社業務システムから切り出したデータを加工することなく容易にデータ連携ができます。

・整合性チェック

漏れや重複を防止するために、仕訳連携時に以下のチェックを行います。

- ✓自動仕訳番号の連続性チェック
- ✓ファイルのタイムスタンプのチェック
- ✓同一仕訳のチェック

・各種変換表

業務システムとF X 4クラウドでマスターコードなどが異なる場合でも、システム内でF X 4クラウドのコードに変換することができます。

(勘定科目・部門・取引先・課税区分)

・仕訳読込履歴と計上金額の確認

業務システムごとにカレンダー形式で読込履歴を確認できます。
また、取引年月日ごとに勘定科目別の集計結果も確認できます。

3. 「経理担当者の経理業務効率化」を支援



Excelで作成する
経理資料から仕訳計上

(3) Excelからの仕訳計上機能

Excelから直接F X 4クラウドに仕訳を計上できます。

・F X 4クラウドの起動は不要

Excelで作成した仕訳ファイルを、Excelが開いた状態でF X 4クラウドに仕訳を直接計上できます。その際、F X 4クラウドを起動する必要はありません。

・仕訳に計上元ファイルの画像を保存

計上元になったExcelの仕訳ファイルの画像が、計上した仕訳に自動で保存されます。これにより、仕訳の画面から当該仕訳の計上元ファイルを確認することができます。

・MR設計ツールと組み合わせて利用する

MR設計ツールにより取得したF X 4クラウドの残高や発生額をExcel内で計算させ、結果をそのまま仕訳計上することもできます。

部門配賦額をExcel内で計算させてそのまま計上する、など

取引先別の支払管理
(振込処理)

3. 「経理担当者の経理業務効率化」を支援

(4) 支払管理機能

全ての支払に関して、支払予定登録から支払の実行、仕訳計上まで、**支払管理業務の一元管理**ができます。

- **支払予定カレンダー**

買掛金等の支払予定は、仕訳計上時に支払予定日を入力することで、カレンダー形式の支払予定表に登録されます。

なお、取引先ごとに取引約定を事前に登録しておくことで、支払予定日を自動で表示させることができます。(取引先コードの入力が必要です)

- **定期支払の登録**

家賃等の定期的な支払と借入金の返済予定について、事前に支払条件等を登録しておくことで、契約全期間にわたる支払予定が自動で登録されます。

- **総合振込依頼データの作成**

承認された支払予定に従って、インターネットバンキング用の総合振込依頼データまたは総合振込依頼書の作成ができます。

総合振込依頼データの作成には、インターネットオプション（有償）が必要です。

©TKC 2023

11

証憑からの仕訳
確認・保管

3. 「経理担当者の経理業務効率化」を支援

(5) 証憑保存機能

電子取引データや紙の**証憑を読み込み、TKCのデータセンターに保存**
(電子帳簿保存法に完全準拠) できるFX4クラウドの標準機能です。

- **かんたんデータ保存**

紙で受け取った請求書や領収書等をスキャン、またはスマートフォンで撮影するだけで、かんたんに電子データとして保存できます。

- **仕訳をかんたん入力**

読み取った内容を仕訳入力時に初期表示します。不足する情報は、電子データを見ながら補正入力できるので、効率的です。

- **インボイス制度、電子取引データ保存義務化に対応**

事業者登録番号のOCR読み取り、事業者登録番号の有効性チェックなどインボイス制度後の手間が軽減され経理処理がラクになります。また、令和6年1月からの電子取引データの保存義務化対応も安心です。

詳しくは、**経理業務効率化セミナー2023夏 第3部**をご視聴ください。

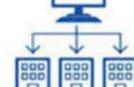
©TKC 2023

12

3. 「経理担当者の経理業務効率化」を支援



給与事務をスピーディー
かつ正確に



複数の市区町村へ
一括納税

(6) 戦略給与情報システム（PXシリーズ） 電子納税かんたんキット

・PXシリーズ

役員・正社員・パート等、異なる給与体系に柔軟に対応し、効率的な給与計算業務を実現します。毎月の給与・賞与の仕訳を自動生成し、FX4クラウドに連動します。

また、オプションシステム「PXまいポータル」を活用することで、給与明細書等のWeb配付、年末調整の電子化、マイナンバーの管理もできるので、給与事務にかかる負担を軽減します。

PXシリーズ・PXまいポータルは、コチラをご確認ください

PXシリーズ <https://www.tkc.jp/cc/system/px2/>

PXまいポータル <https://www.tkc.jp/pxmyportal/>

・電子納税かんたんキット

PXシリーズで計算した源泉所得税や個人住民税の納付税額を、金融機関の窓口に出向くことなく、職場や自宅のパソコンからインターネットを通じて一括して納税できます。

電子納税かんたんキットは、コチラをご確認ください<https://www.tkc.jp/cc/system/etaxpayment/>

4. 「会社の内部統制構築」を支援



FX4クラウドのIT全般統制・IT業務統制に対応する機能

(1) セキュリティポリシーの設定

企業のセキュリティポリシーに合わせ、利用者に定期的なパスワードの変更や質の高いパスワードを設定させることが可能です。

ユーザ認証を厳格化することにより、不正なアクセス・なりすましを防止できます。

(2) ユーザのアクセス権限

ユーザごとに利用できるシステム（FX4クラウド・PX4クラウド・SX4クラウド・固定資産システム）および利用可能な会社のアクセス権限を設定できます。

(3) 業務範囲の設計

メニューごとの利用権限を設計し、各ユーザIDに割り当てることにより、利用できるメニューや更新処理・出力処理の可否をユーザごとに設定できます。

さらに、勘定科目残高一覧からドリルダウンした会計伝票の伝票訂正・削除の可否など複数のメニューを横断するような権限設定も可能です。



4. 「会社の内部統制構築」を支援

FX4クラウドのIT全般統制・IT業務統制に対応する機能

(4) アクセスログの収集

システム管理者が、各ユーザのシステムへのログイン、ログアウト、メニュー選択、データ更新等の履歴を確認できます。これによりアクセスが社内で規定された権限通りに行われているかどうかを確認できます。操作ログは、TKCのデータセンターで半永久的に保存され、過去のログを消すことはできません。

(5) 仕訳の承認機能

FX4クラウドに入力された仕訳の承認ができます。当機能を使用する場合は、内部牽制の観点から、仕訳入力ユーザと承認ユーザを分けて運用することが望ましいです。承認済みの仕訳は、承認権のあるユーザのみ訂正・削除が可能です。当該月の全仕訳が承認済みでないと、その月の月次更新を行えません。

4. 「会社の内部統制構築」を支援

(ご参考) FX4クラウドはIPO(株式市場への上場)に対応

(1) IT全般統制への対応

- ①ユーザ認証の厳格化 ⇒ 他人になりすましたアクセスを防止
- ②詳細なアクセス権限の設定 ⇒ 権限を越えた処理を防止
- ③ログ情報の収集・モニタリング ⇒ 不正アクセスへの抑止力

(2) IT業務処理統制への対応

- ①仕訳入力、出納処理に対する承認 ⇒ 社内の業務手順・ルールのシステム化
- ②未処理データのチェック、伝票番号の自動付番 ⇒ 処理の漏れ・重複を防止
- ③仕訳辞書・過去仕訳DB入力 ⇒ 処理の誤り・不正を防止
- ④月次決算終了後の追加入力禁止、訂正削除履歴の保存 ⇒ データの改ざんを防止
- ⑤重要なデータへのアクセス権限 ⇒ データの紛失・漏えいを防止

(3) 3402監査報告書(年1回発行)

TKCデータセンターで提供するサービスに係る内部統制の評価報告書

(4) 内部統制有効性評価報告書(年4回発行)

3402監査報告書の評価期間以降の統制証明書

経理業務 効率化セミナーを機能活用にお役立てください

気になる機能・活用したい機能がありましたら、
ぜひ、過去に開催した「TKC経理業務 効率化セミナー」をご視聴ください。



「TKC経理業務 効率化セミナー」では、
これからも皆様に役立つ「FX4クラウドの最新情報や機能活用方法」をご紹介します。

(ご案内) TKCシステムまいサポート

TKCシステムまいサポートは、
TKCの専門スタッフがTKCシステム※をご利用のお客様の問い合わせに、
直接電話で回答するサービスです。 ※全ての自計化システム



- メール**
 ご利用中のシステムから質問を送信。
TKCより折り返しお電話します。
 - ご質問の受付：24時間365日
 - お電話での回答：平日10～16時
- IP電話**
 IP電話でのご質問に直接回答します。
 - サービス時間：平日9～18時



TKCヘルプデスクの委託先であるTKCカスタマーサポートサービス株式会社は、
HDI-Japan「クオリティ格付け」で2年連続**最高評価三つ星**を獲得しています。

TKCシステムまいサポートのご利用については、会計事務所にご相談ください

END

特別編

証憑保存機能とインボイス・マネジャーの新機能

セミナー資料

[2023年10月版]レベルアップ

1. 証憑保存機能

2. インボイス・マネジャー(FX4クラウド)

[2023年10月版]レベルアップ

1. 証憑保存機能

- TKC証憑保存ツール
- 承認機能
- 「書類の分類」「書類の種類」の表示順変更

2. インボイス・マネジャー(FX4クラウド)

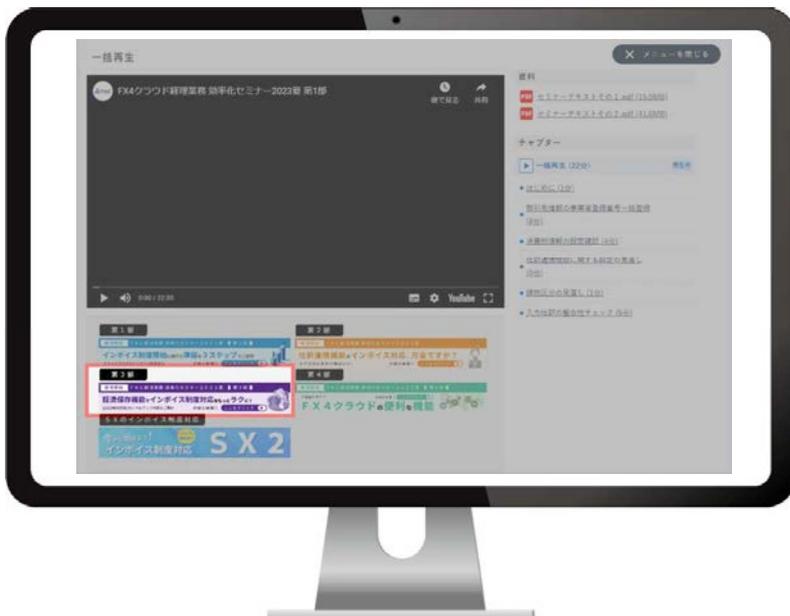
- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは
- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

[2023年10月版]レベルアップ

搭載機能	行	証憑保存機能	
		[2023年06月版]	[2023年10月版]
書類の種類を読込	1	○	○
事業者登録番号の読取	2	○	○
事業者登録番号の仕訳連携	3	○	○
税率別元帳摘要の仕訳連携	4	○	○
取引年月日の仕訳連携	5	○	○
TKC証憑保存ツール	6	-	○
承認機能	7	-	○
「書類の分類」「書類の種類」の表示順変更	8	-	○

証憑保存機能[2023年06月版]レベルアップについては、

TKC 経理業務 効率化セミナー 第3部をご視聴ください



証憑保存機能[2023年06月版]は、
TKC 経理業務 効率化セミナー
2023夏「第3部」で
詳しくご説明しています。



[2023年10月版]レベルアップ

1. 証憑保存機能

- TKC証憑保存ツール
- 承認機能
- 「書類の分類」「書類の種類」の表示順変更

2. インボイス・マネジャー(FX4クラウド)

- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは
- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

➤ TKC証憑保存ツール

電子取引データを印刷操作で保存！

経理担当者が受領した電子取引データを
「印刷」操作だけで証憑保存機能に直接保存※できます。

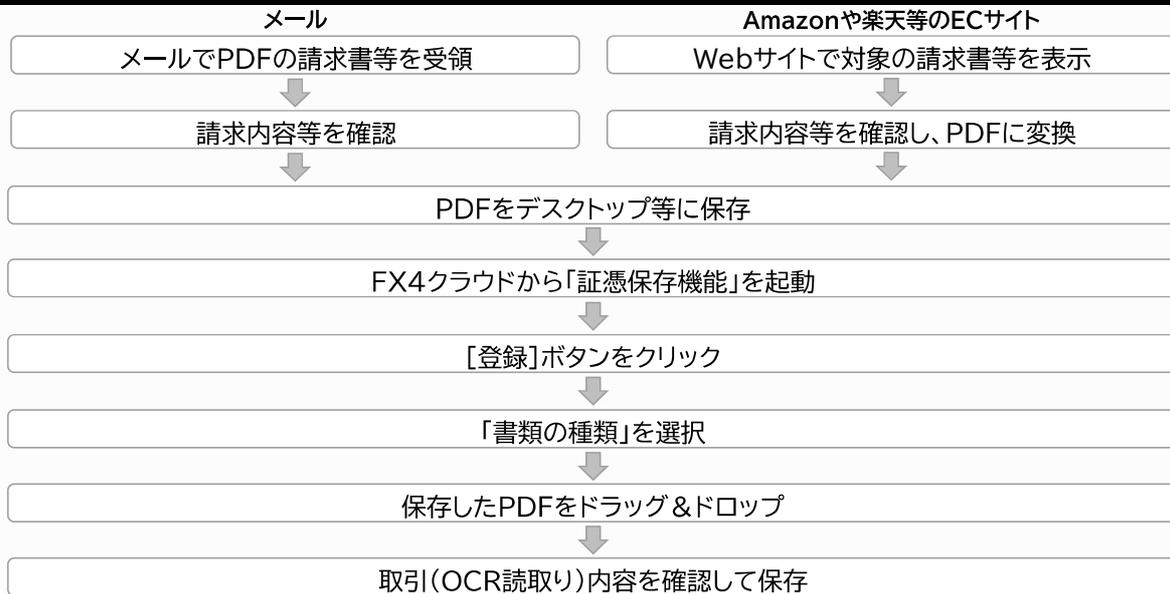


※当機能は、FX4クラウドが登録されているPCのみ利用いただけます

TKC証憑保存ツール

従来の電子取引データ保存

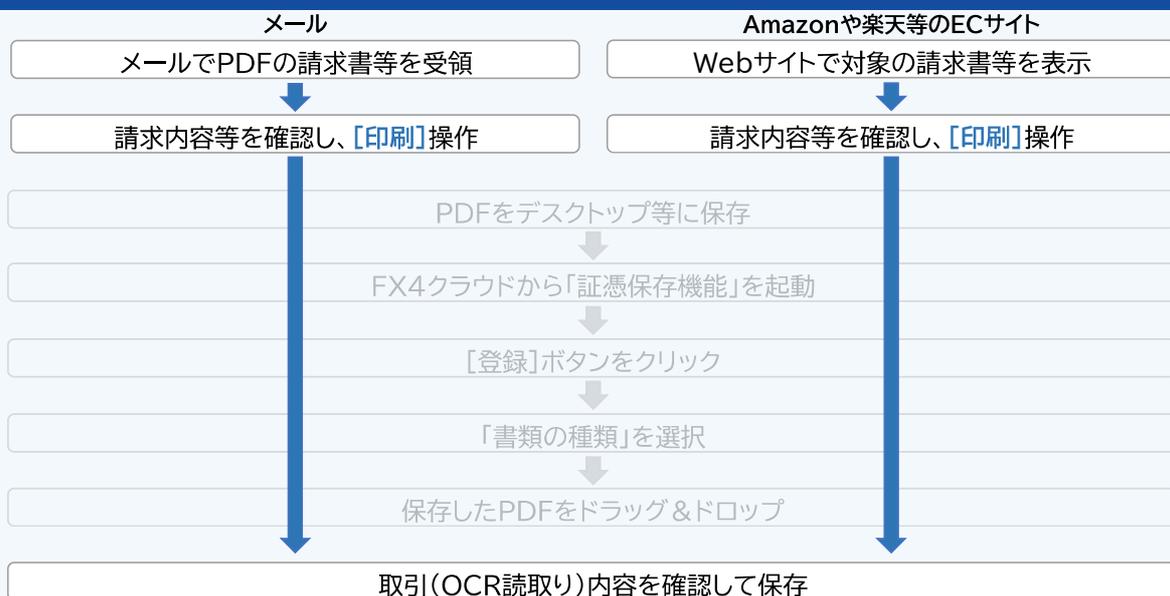
従来の保存



TKC証憑保存ツール

TKC証憑保存ツールによる電子取引データ保存

TKC証憑保存ツールによる保存



➤ TKC証憑保存ツール

デモ動画



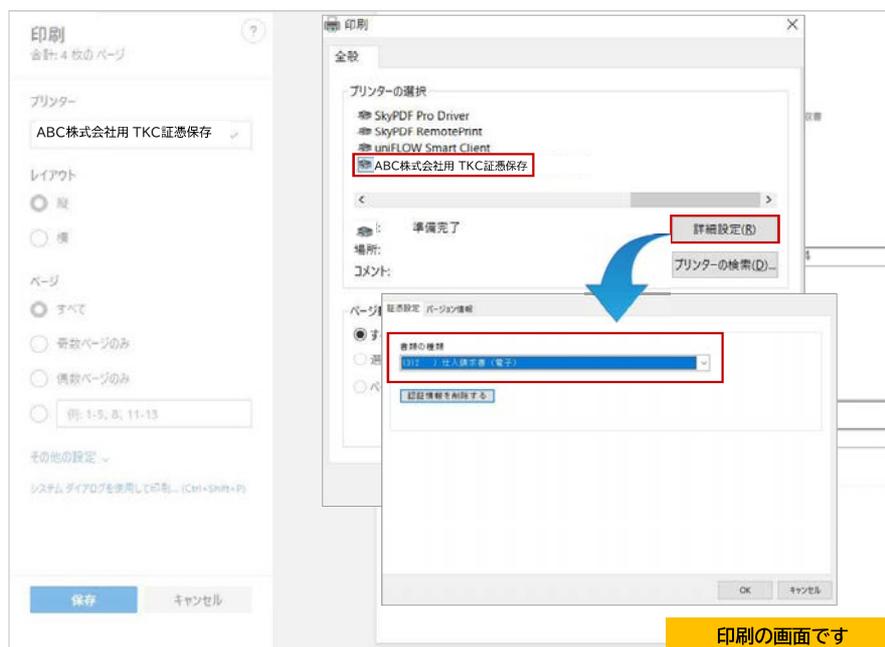
➤ TKC証憑保存ツール

利用設定



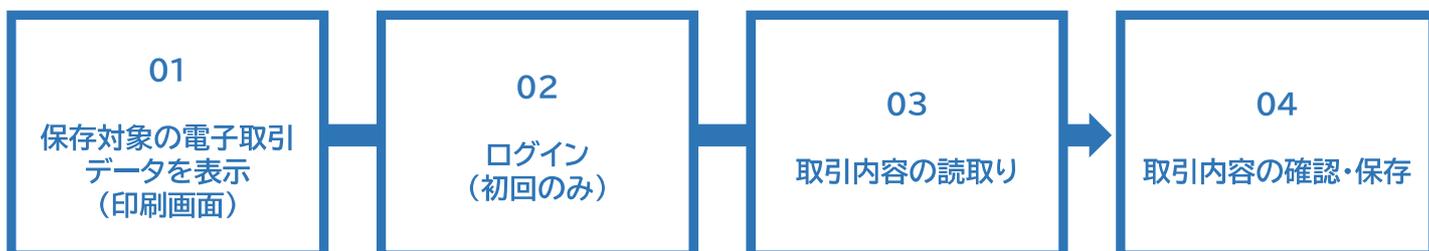
➤ TKC証憑保存ツール | 利用設定02 保存先(書類の種類)の初期設定

TKC証憑保存ツールの「印刷設定」画面から保存先の「書類の種類」(初期値)を設定します。



➤ TKC証憑保存ツール

保存手順



➤ TKC証憑保存ツール | 保存手順01 保存対象の電子取引データを表示(印刷画面)

保存対象の電子取引データ(印刷画面)を表示します。
プリンター一覧から「企業名+TKC証憑保存ツール」を選択します。



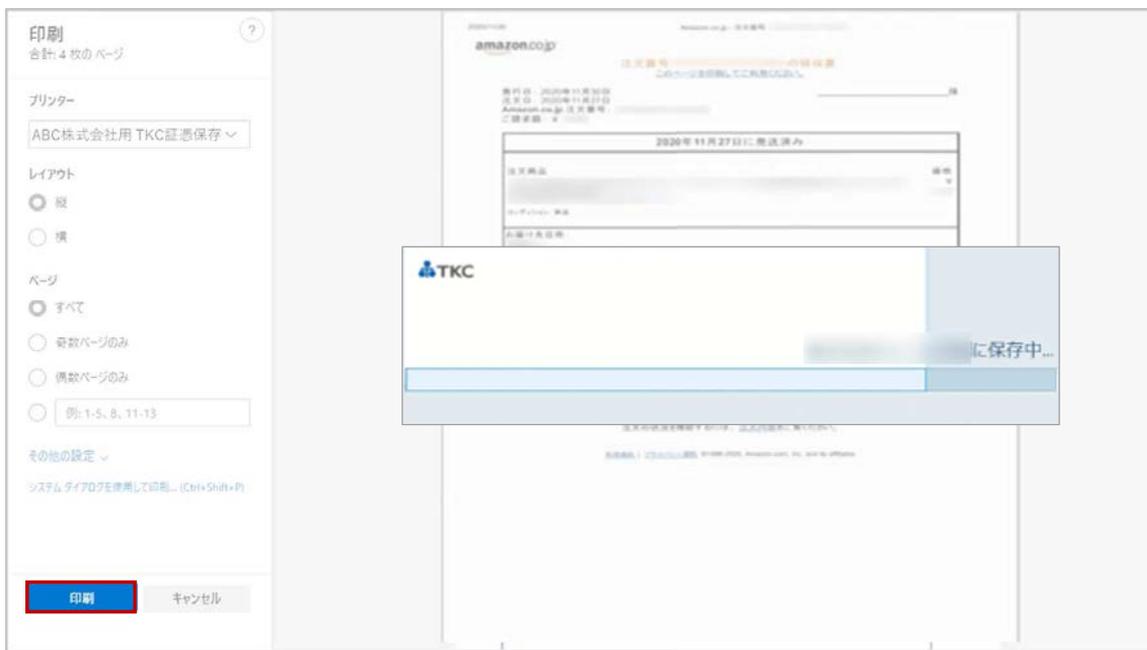
➤ TKC証憑保存ツール | 保存手順02 ログイン(初回のみ)

初回のみ証憑保存機能のユーザIDとパスワードを入力します。(次回以降は、表示されません)



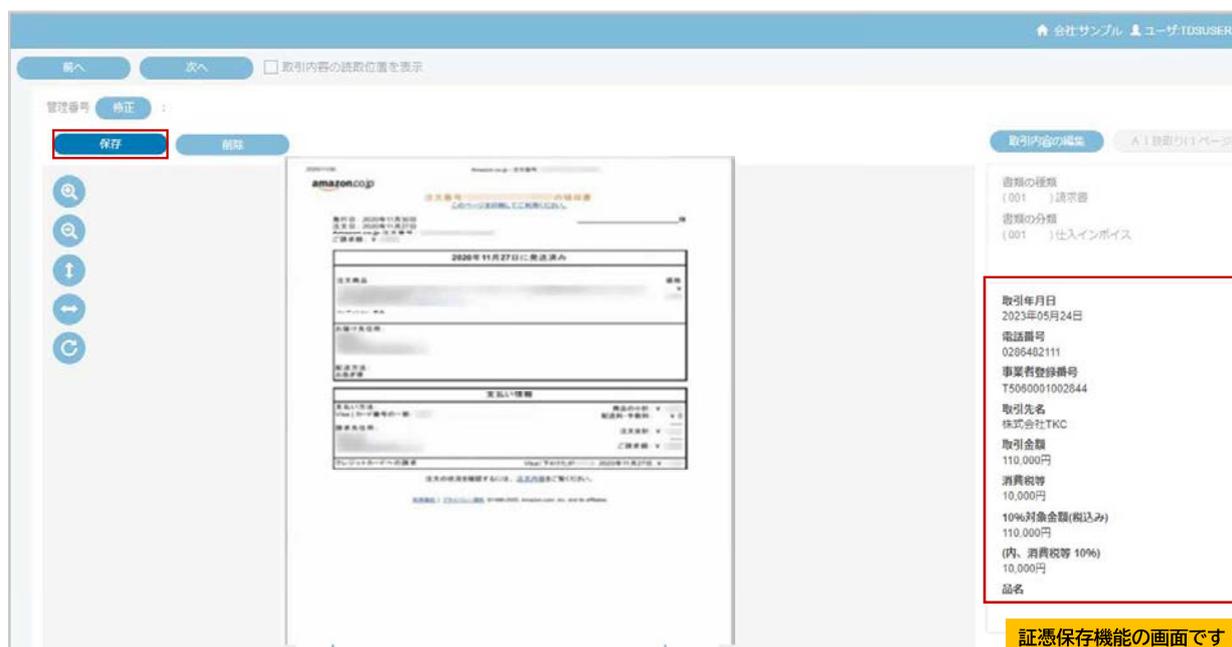
➤ TKC証憑保存ツール | 保存手順03 取引内容の読取り

[印刷]操作により、保存する証憑から「取引年月日、取引先名、取引金額」等を読取ります。

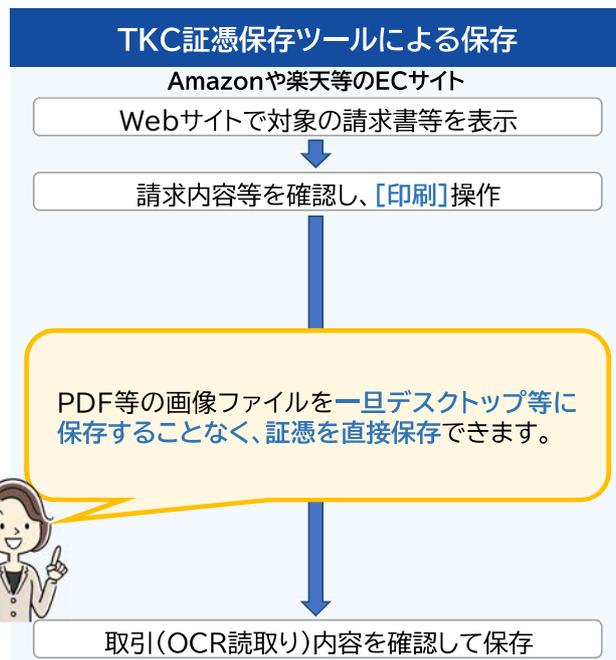
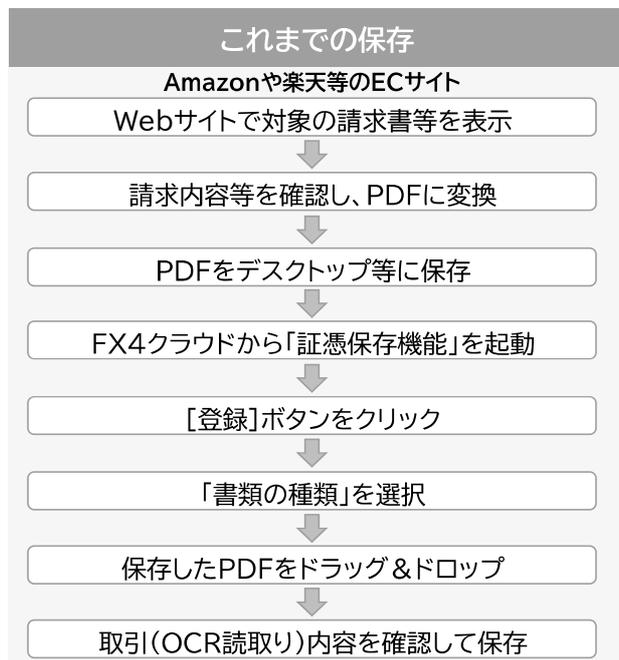


➤ TKC証憑保存ツール | 保存手順04 取引内容の確認・保存

確認画面で取引内容を確認後、保存します。(必要に応じて取引内容を修正します)



➤ TKC証憑保存ツール



[2023年10月版]レベルアップ

1. 証憑保存機能

- TKC証憑保存ツール
- 承認機能
- 「書類の分類」「書類の種類」の表示順変更

2. インボイス・マネジャー(FX4クラウド)

- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは
- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

➤ 承認機能

書類保存の申請と承認を電子化！

書類を保存する際、書類の保存を担当者の独断で行われること防止し、**内部牽制**を図れます。



※承認された書類にタイムスタンプが付与されます。また、仕訳計上の対象となります

➤ 承認機能

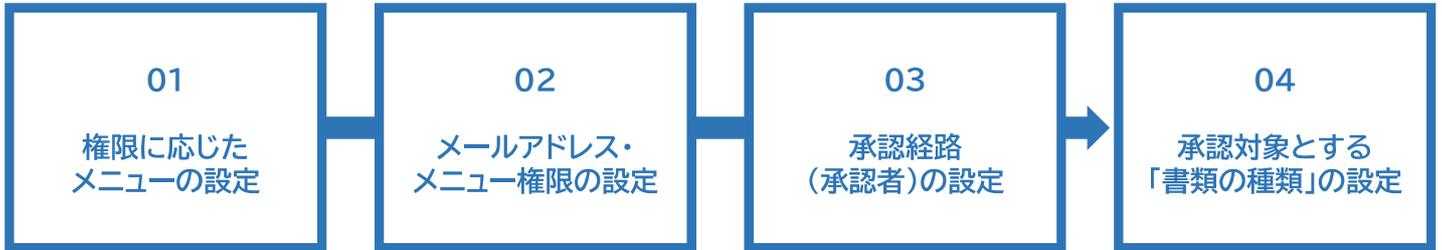
デモ動画

書類の保存時の承認機能
利用の流れ

[2023年10月版]では「書類の保存時の承認機能」を搭載します

➤ 承認機能

利用設定



➤ 承認機能 | 利用設定01 権限に応じたメニューの設定

設定画面

システム設定・運用管理 > ユーザ情報・端末管理 > メニュー権限

承認者および申請者のメニュー権限

「承認経路」「申請書類の確認」「申請書類の承認」を任意で設定します。

メニュー権限

登録 修正 削除

権限	メニュー	参照可	更新可
(1223) インボイス紛争台席	会社	✓	✓
(ADMIN) 管理者	取引内容の連携システム	✓	✓
	取引内容の読み取り/レイアウト	✓	✓
	売上インボイスの連携システム	✓	✓
	仕入明細書の連携システム	✓	✓
	汎用管理項目	✓	✓
	取引種類グループ	✓	✓
	取引種類	✓	✓
	承認経路	✓	✓
	書類の種類	✓	✓
	記録項目	✓	✓
	記録項目の選択 (書類の種類と記録項目の紐づけ)	✓	✓
	書類の種類	✓	✓
	業務分類 (書類の種類ごとの処理権限)	✓	✓
	メニュー権限	✓	✓
	ユーザ	✓	✓
	端末管理	✓	✓
	保存申請の確認	✓	✓
	書類の種類の変更	✓	✓
	不斉存の書類の確認	✓	✓
	取引内容の読み込み	✓	✓
	取引内容の印刷	✓	✓
	操作ログ	✓	✓
	保存申請中の書類の確認	✓	✓
	承認-書類の保存申請の承認	✓	✓
	承認-インボイス送達書の承認	✓	✓

検索欄

メニュー

会社	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
取引内容の連携システム	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
取引内容の読み取り/レイアウト	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
売上インボイスの連携システム	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
仕入明細書の連携システム	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
汎用管理項目	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
取引種類グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
取引種類	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
承認経路	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
書類の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
保存申請中の書類の確認	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可
書類の保存申請の承認	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可

更新 キャンセル

➤ 承認機能 | 利用設定02 メールアドレス・メニュー権限の設定

設定画面

システム設定・運用管理 > ユーザ情報・端末管理 > ユーザ

「申請者」「承認者」のユーザIDにメールアドレスを登録します。
また、承認または申請が可能なメニュー権限を選択します。

メニュー ユーザ

ユーザ

ユーザID
TDSUSER

メールアドレス

登録されたメールアドレスは次の用途で利用されます。

- 受信したペボラインボイスの宛先の特定
- 承認機能利用時の自動送信メールの宛先

パスワードを無期限で使えるようにする

業務分類
(001) 業務分類 1

メニュー権限
(ADMIN) 管理者

備考

スマートデバイスを利用する

更新 キャンセル

➤ 承認機能 | 利用設定03 承認経路(承認者)の設定

設定画面

システム設定・運用管理 > 書類の設定 > 承認経路

「コード」「承認経路名」「承認者とするユーザ」を設定します。
承認者を複数設定した場合、いずれかの承認者が承認すると「承認済」となります。

メニュー 承認経路

承認経路

コード
100

承認経路名
主たる承認経路

ユーザ

sasaki-hanako
suzuki-ichirou
yamada-jirou

tsutsumi-keishi
yamada-koutaro

>
<

更新 キャンセル

承認機能 | 利用設定04 承認対象とする「書類の種類」の設定

設定画面

システム設定・運用管理 > 書類の設定 > 書類の種類

承認対象とする「書類の種類」の「保存された書類を承認対象とする」にチェックを入れます。
承認対象とした場合、適用する承認経路を選択します。

書類の種類

コード
AS5

書類の種類名
仕入_スキャナ

レジペーパーに該当
・保存対象がすべてレジペーパーの場合にチェックを付けてください。
・チェックを付けたらスマホアプリで書類のサイズを簡単入力できます。また、レジペーパーに適したOCR読取りを実施します。

書類の分類
(AS2) 仕入

書類の保存方法
 電子取引データの要件を満たして保存
 スキャナ保存の要件を満たして保存

OCRの読取り設定
 管理番号をOCR読取りする
 取引内容（取引年月日、取引先名、取引金額等）をOCR読取りする

連携システム（注）「管理番号をOCR読取りする」にチェックを付けた場合は、必ず選択してください。

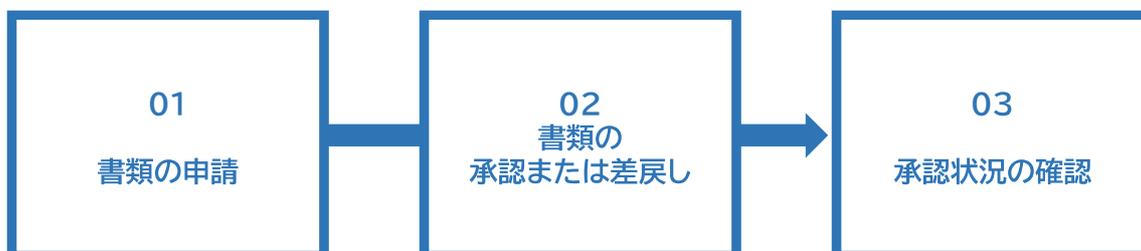
ScanSnap Cloudと連携する（「スキャナ保存の要件を満たして保存」かつ「取引内容をOCR読取りする」場合にチェックを付けることができます）

保存された書類を承認対象とする

承認経路
(100) 主たる承認経路

承認機能

承認手順



➤ 承認機能 | 承認手順01 書類の申請

申請者は、保存する書類と取引内容を確認して承認依頼(※)します。

書類の種類: (AS3) 仕入_電子

ファイル選択 詳細表示 全申請 全削除

申請 削除

記録項目
管理番号:
取引年月日: 2022年10月01日
取引先名: 株式会社TKC出版
取引金額: 12,960円

申請者



営業担当



承認者



営業担当

※承認依頼メールが承認者のメールアドレス宛に送信されます

➤ 承認機能 | 承認手順02 書類の承認または差戻し

承認者は、申請内容(書類と取引内容)を確認し、承認または差戻し(※)を行います。

詳細表示 全承認 詳細検索

書類の種類: 申請者:

口引き上げ分も表示

検索範囲

並び順: 登録年月日 (降順) 件数: 20件

承認 差戻し

TKC

TKCマート

2024年05月24日 栃木県宇都宮市鞍田町1758
電話: 028-648-2111
登録番号: 15060001002844

領収書

コピー用紙	500	2	¥1,100
ホールペン	800	5	¥4,400
合計			¥5,500

承認者



営業担当



申請者



営業担当

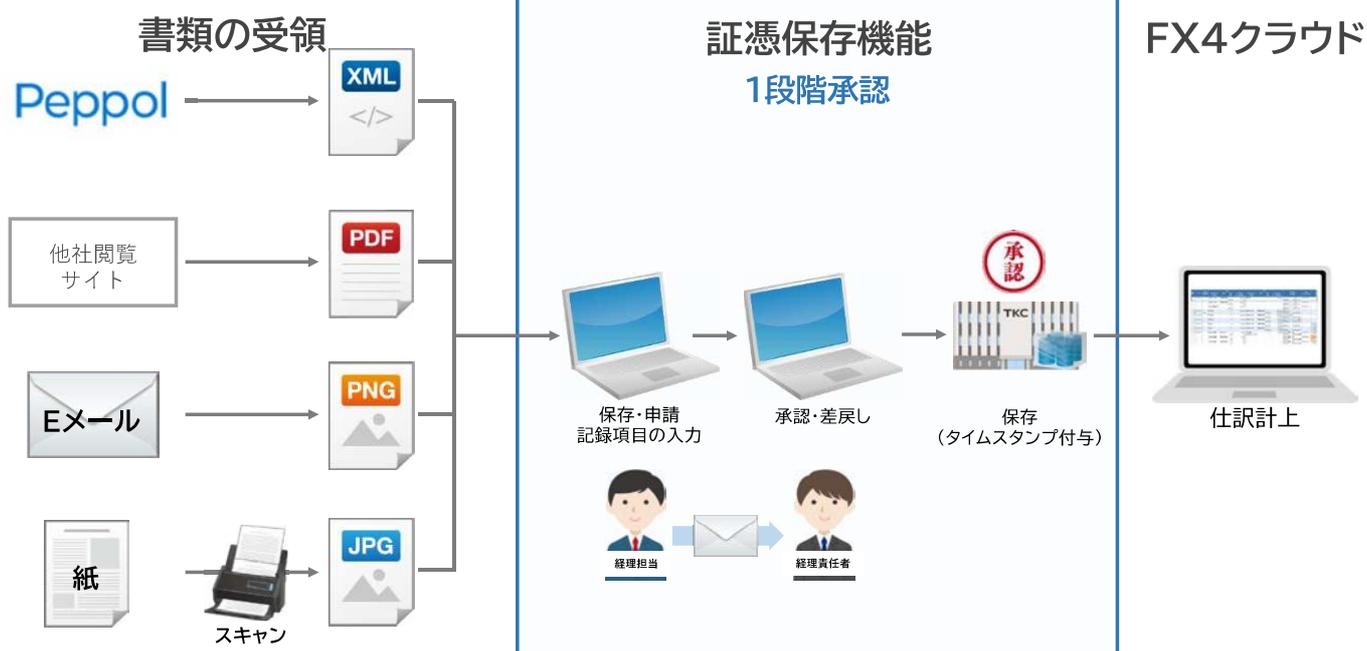
※承認結果(承認または差戻し)は、申請者のメールアドレス宛に送信されます

承認機能 | 承認手順03 承認状況の確認

申請者は、承認状況を「申請書類の確認」から確認します。承認の履歴は、「承認履歴」から確認できます。



承認機能



[2023年10月版]レベルアップ

1. 証憑保存機能

- TKC証憑保存ツール
- 承認機能
- 「書類の分類」「書類の種類」の表示順変更

2. インボイス・マネジャー(FX4クラウド)

- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは
- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

- 「書類の分類」「書類の種類」の表示順変更

■**自社独自の表示順に変更!**

コードの昇順で並んでいる

「書類の分類」「書類の種類」を

自社の運用に合わせた表示順に変更できます。

▶ 「書類の分類」「書類の種類」の表示順変更

設定画面

システム設定・運用管理 > 書類の設定 > 書類の分類
書類の種類

変更対象の「書類の種類」「書類の分類」を選択し易い表示順に変更します。

書類の分類	区分
(100) 請求書 (控)	売上関係の書類
(200) 請求書	仕入・経費関係の書類
(300) 納品書	その他の書類
(400) 領収書	仕入・経費関係の書類
(500) 請求書 (証券番号なし)	仕入・経費関係の書類
(700) 経費	仕入・経費関係の書類
(800) 納品	仕入・経費関係の書類
(990) その他の書類	その他の書類
(820) 仕訳生成テスト	仕入・経費関係の書類

書類の分類: (100) 請求書 (控)

登録年月日: [検索]

取引年月日: (100) 請求書 (控)

取引先名: (200) 請求書

品名: (300) 納品書
(400) 領収書

書類の種類	レシペーパー	書類の分類	保存方法
(900) 契約書		(990) その他の書類	スキャナ保存
(110) 請求書 (控)		(100) 請求書 (控)	電子取引データ
(100) 請求書 (電子)		(200) 請求書	電子取引データ
(101) レシート	✓	(200) 請求書	スキャナ保存
(102) 請求書 (紙)		(200) 請求書	スキャナ保存
(200) 納品書 (電子)		(300) 納品書	電子取引データ
(211) 請求書 (承認・社印生成)		(200) 請求書	電子取引データ
(212) 請求書 (スキャン・登録)		(200) 請求書	スキャナ保存
(213) 請求書 (電子・登録)		(200) 請求書	電子取引データ

すべての書類

- (100) 請求書 (控)
- (110) 請求書 (控)
- (200) 請求書
 - (100) 請求書 (電子)
 - (101) レシート
 - (102) 請求書 (紙)
 - (312) 仕入請求書 (電)

書類の種類: [選択]

証券番号: [検索]

取引年月日: [検索]

取引先名: [検索]

並び順: 登録年月日 (降順) 件数: 20件

[2023年10月版]レベルアップ

1. 証憑保存機能

- ▶ TKC証憑保存ツール
- ▶ 承認機能
- ▶ 「書類の分類」「書類の種類」の表示順変更

2. インボイス・マネジャー(FX4クラウド)

- ▶ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは
- ▶ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

▶ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは

インボイス・マネジャー(FX4クラウド)

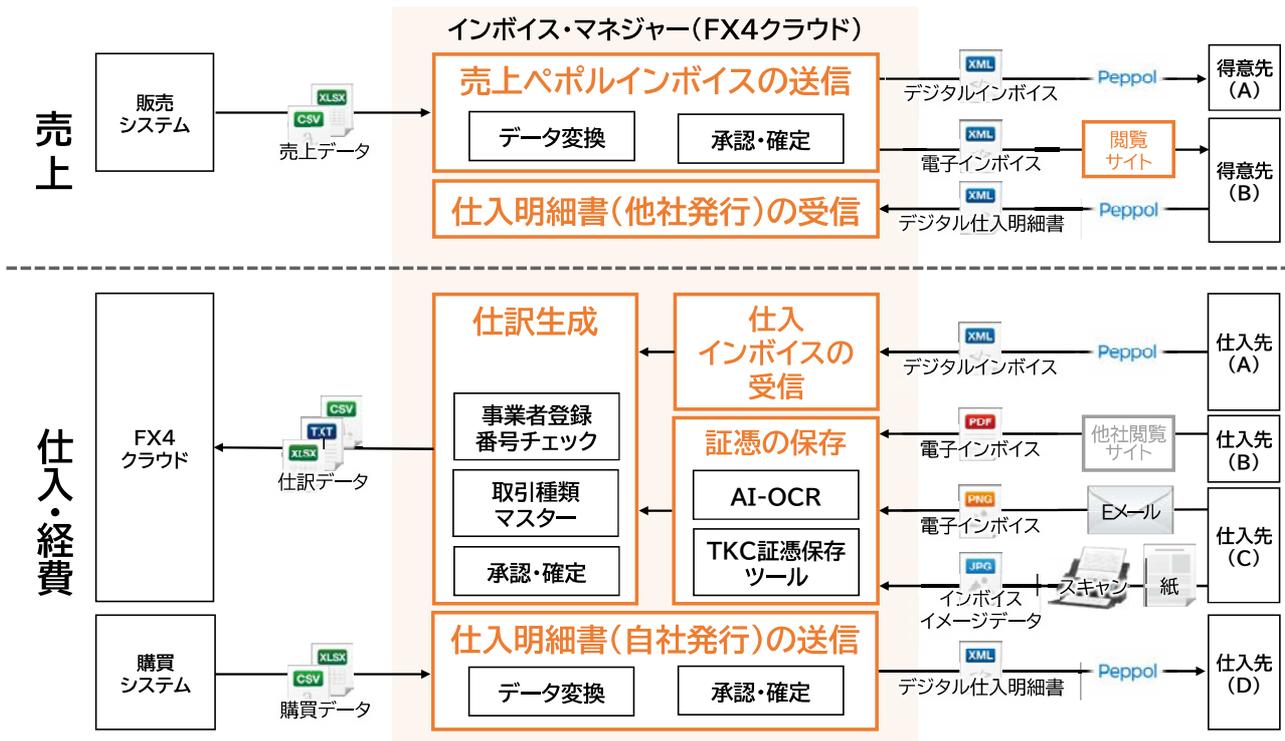
FX4クラウドに標準搭載している「証憑保存機能」をさらに機能強化したFX4クラウドのオプションシステム(有償)です。

利用開始後は、証憑保存機能に代わりインボイス・マネジャー(FX4クラウド)が起動します。

このような場合は、インボイス・マネジャー(FX4クラウド)をご利用ください。

- ▶ FX4クラウドを登録していないPCからも書類を保存したい
- ▶ 受領した証憑から詳細な仕訳(明細単位)を計上したい
- ▶ 多段階(最大5段階)の承認経路を設定したい
- ▶ ペポルインボイスを発行したい

▶ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは



(ご参考)ペポルインボイス

ペポルインボイスとは、

ペポルネットワークで送受信する**電子インボイス**のことです。

- ・アクセスポイントを経由して送受信を行います
- ・ペポルID(法人番号等の公的な番号)でやり取りします
- ・利用申請が必要です
- ・異なるシステム間でも送受信できます
- ・システムでデータを読み取り、仕訳を自動生成できます
- ・適格請求書の要件を満たしているか自動でチェックします
- ・郵便より安く、メールに埋もれることもありません



(ご参考)ペポルインボイス

アクセスポイントを経由して送受信を行います

紙の場合

売り手と買い手のそれぞれの郵便局を経由して送ります。



Eメールの場合

送信者と受信者のそれぞれのメールサーバーを経由して送ります。



ペポルインボイスの場合

売り手と買い手のそれぞれのアクセスポイントを経由して送ります。



TK Qは、国内初の「ペポルサービスプロバイダー」に認定されました
([ニュースリリース](#)は、[こちら](#))

(ご参考)ペポルインボイス

ペポルインボイスの送受信には**ペポル利用申請が必要**です

TKCのアクセスポイントを通して、ペポルネットワークに参加する他のユーザーと電子文書の送受信を行うためには、ペポルネットワーク上で各ユーザーを識別する「Peppol Participant ID(ペポルID)」の利用申請(取得)が必要です。

<ペポル利用申請方法>

・インボイス・マネジャー(FX4クラウド)を**利用**の場合は、

インボイス・マネジャーから利用申請します。

メニュー「会社」の「ペポル利用申請」ボタンから申請手続きに進みます。

・インボイス・マネジャー(FX4クラウド)を**未利用**の場合は、

証憑保存機能から利用申請します。

証憑保存機能のメニュー「会社」の「ペポル利用申請」ボタンから申請手続きに進みます。



※ペポル利用申請手順の詳細について、動画をご用意しています。
「ペポル利用申請」ボタンから進んだ画面にある、「Peppolとは？」
からご視聴ください。

(ご参考)ペポルインボイス

送信者と受信者のメリット

送信者としてのメリット

- ・発行に係るコストと手間の削減
- ・「控え」のデータ保存容量の削減
- ・送信先のIDの管理が容易
- ・(担当者の異動等に伴うメンテナンスが不要)

受信者としてのメリット

- ・受信したデータには、インボイスの記載事項が完全網羅
- ・受信と同時に自動で保存
- ・本社での集中管理
- ・インボイスのデータ保存容量の削減
- ・正確な仕訳生成による、業務効率(生産性)の向上
- ・詳細な仕訳生成による、業績把握の際の詳細な原因分析

[2023年10月版]レベルアップ

1. 証憑保存機能

- TKC証憑保存ツール
- 承認機能
- 「書類の分類」「書類の種類」の表示順変更

2. インボイス・マネジャー(FX4クラウド)

- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは
- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

- インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

項目	行	証憑保存機能	インボイス・マネジャー
利用可能PC数	1	FX4クラウドの 同時接続数	制限なし FX4クラウドを登録していない PCでも利用可能
承認段階	2	1段階	最大5段階
仕訳生成単位	3	証憑単位	証憑単位・明細単位
売上ペポルインボイスの送信	4	—	○

➤ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

経理担当者以外でも証憑の保存が可能！

営業担当者など**FX4クラウドを登録していない社員のPC**からも証憑の保存ができます。



➤ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

承認経路は最大5段階！

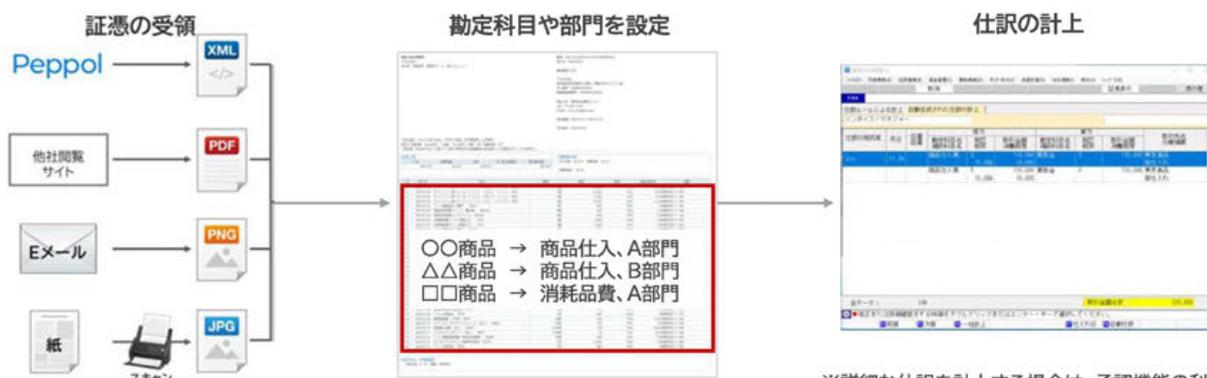
「書類の種類」に応じて、営業担当者－営業責任者－経理担当者－経理責任者など、**最大5段階の承認経路**が設定できます。



▶ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

取引明細から詳細な仕訳を計上！

**取引明細ごとに勘定科目や計上部門を設定することで、証憑単位だけでなく、明細単位で詳細な仕訳を計上※
できます。**



▶ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

取引明細から詳細な仕訳を計上！

インボイス・マネジャーは、「書類の種類」ごとに仕訳計上パターンを選択できます。

仕訳計上パターン	行	証憑保存機能	インボイス・マネジャー
「証憑単位」 で仕訳計上 FX4クラウドに記憶した仕訳ルールを利用し、必要に応じて計上時に補正	1	○	○
「明細単位」 で仕訳計上 インボイス・マネジャーで勘定科目等を設定し、FX4クラウドにそのまま計上	2	—	○

➤ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

取引明細から詳細な仕訳を計上!

日付	品名	数量	金額	税別金額	税額	仕訳
2023/07/01	商品仕入	10	10,000	9,090.91	909.09	部門A
2023/07/01	商品仕入	5	5,000	4,545.45	454.55	部門A
2023/07/01	商品仕入	3	3,000	2,727.27	272.73	部門B
2023/07/01	消耗品費	2	2,000	1,818.18	181.82	部門A

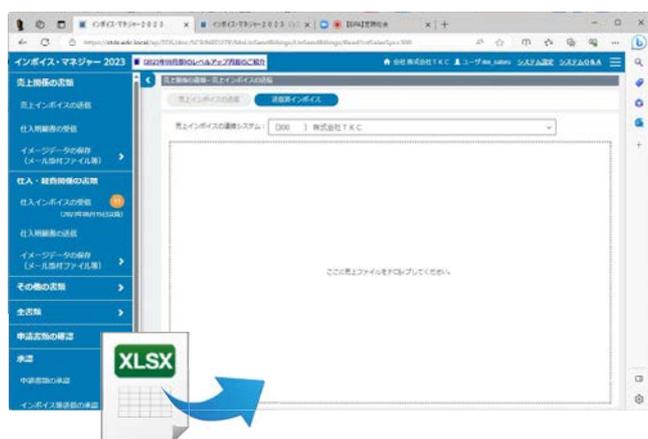
証憑単位
「鑑部(消費税内訳)」から仕訳を計上
例) 商品仕入/買掛金 10,000 部門A

または
明細単位
「明細部」から詳細な仕訳を計上
例) 商品仕入/買掛金 5,000 部門A
商品仕入/買掛金 3,000 部門B
消耗品費/買掛金 2,000 部門A

➤ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

販売管理システムデータを活用してペポルインボイスを送信!

販売管理システムの売上データを変換して、取引先に
ペポルインボイスを送信※できます。



発行方法	インバ番号	発行年月日	取引先名	品名	明細数	税込金額計
ペポル	000-103-202300-14-2023079999-90022	2023年08月07日	現物士会計事務所	ESPRIMO D6011G Core i3-10105 (Win10 Pro 製造No R2500075	1件	9,900円
ペポル	000-103-202300-14-2023079999-90021	2023年08月07日	現物士会計事務所	LIFEBOOK U9311H Core i5-1145G7 [WAN] (W 製造No R2506449	1件	9,900円
ペポル	000-103-202300-14-2023079999-90020	2023年08月07日	現物士会計事務所	LIFEBOOK U9311H Core i5-1145G7 [WAN] (W 製造No R2505899	1件	9,900円
ペポル	000-103-202300-14-2023079999-90019	2023年08月07日	現物士会計事務所	LIFEBOOK A5511H Core i5-1135G7(Win11 Pro 製造No R.2505275	1件	9,900円
ペポル	000-103-202300-14-2023079999-90015	2023年08月07日	現物士会計事務所	LIFEBOOK U9311H Core i5-1145G7 [WAN] (W 製造No R1614386	1件	9,900円
ペポル	000-103-202300-14-2023079999	2023年08月07日	現物士会計事務所	ESPRIMO D582V Core i7-8700(Win10 Pro) 型	2件	19,800円

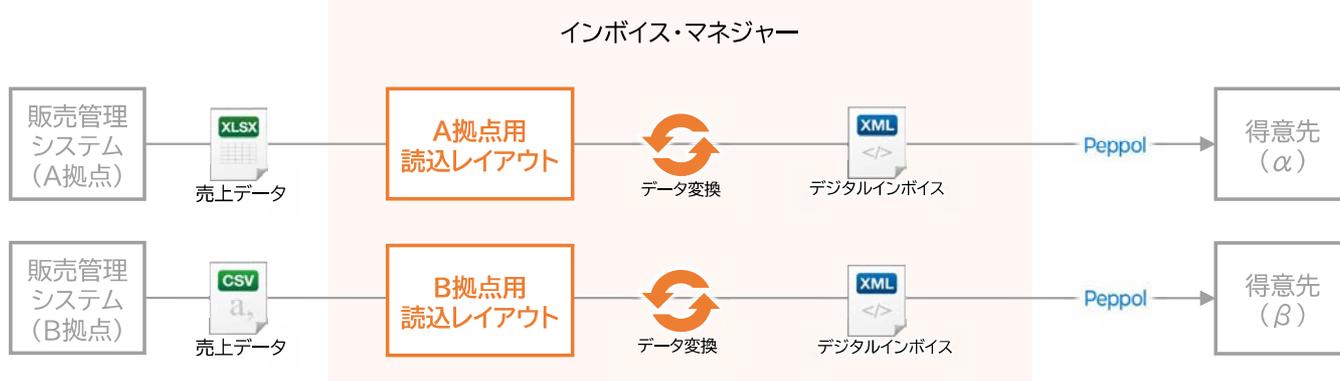
※SXシリーズをご利用の場合、SXシリーズからペポルインボイスを送信できます

➤ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

販売管理システムデータを活用してペポルインボイスを送信！

読込レイアウト設計機能により、「部門や拠点ごとに異なる販売管理システム」を利用している場合にも対応できます。

なお、読込レイアウトは、ドラッグ&ドロップの操作で簡単に設計できます。



➤ インボイス・マネジャー(FX4クラウド)でできること～証憑保存機能と比較～

デモ動画



[2023年10月版]レベルアップ

証憑保存機能とインボイス・マネジャー(FX4クラウド)は、
電子取引データの電子保存義務化対応だけでなく、
経理業務の省力化を実現します。

証憑保存機能とインボイス・マネジャー(FX4クラウド)の利用は、
顧問のTKC会計事務所にご相談ください。

END